令和８年度

芦屋市総合公園（ミラタップパーク芦屋）

事業計画書



ミズノ・芦屋市スポーツ協会・理研グリーン共同体

代表企業　美津濃株式会社

構成企業　ミズノスポーツサービス株式会社

構成企業　特定非営利活動法人芦屋市スポーツ協会

構成企業　株式会社理研グリーン

令和8年3月

資料１０

目次

項　目	ページ
（1）法人等の概要説明書	P. 1～ 4
（2）管理運営に当たっての基本方針について	P. 5～12
（3）公園全体の管理体制について	P.13～26
（4）公園施設の維持管理について	P.27～46
（5）有料公園施設の管理運営について	P.47～55
（6）運営の取組について	P.56～69
（7）自主事業への取組について	P.70～82
（8）芦屋市総合公園管理運営費	P.83～85
（9）管理運営費の内訳について	P.86～88

（1）法人等の概要説明書

事業体名　:ミズノ・芦屋市スポーツ協会・理研グリーン共同体

代表団体:　美津濃株式会社　（以下:ミズノ）

法人等名称	美津濃株式会社
代表者氏名	代表取締役社長　水野　明人
主たる事務所の所在地	大阪府大阪市中央区北浜四丁目1番23号
設立年月日	1906 年 4 月 1 日
設立目的	より良いスポーツ品とスポーツの振興を通じて社会に貢献するため。
役員構成	役員数　8名
会員又は構成団体等	—
従業員数	3,649 名(2025年3月 31 日現在)連結
活動内容	・スポーツグッズ、スポーツウェア等のスポーツに関わる製品の製造及び卸売、販売 ・各種スクール事業、施設運営
担当者名	[redacted]
電話番号	06-6614-8187
FAX番号	06-6614-8384
e-mail	[redacted]

（1）法人等の概要説明書

事業体名　:ミズノ・芦屋市スポーツ協会・理研グリーン共同体

構成団体:　ミズノスポーツサービス株式会社　（以下、ミズノスポーツサービス）

法人等名称	ミズノスポーツサービス株式会社
代表者氏名	代表取締役　薬師寺　洋彰
主たる事務所の所在地	大阪府大阪市中央区北浜四丁目1番23号
設立年月日	1989 年 4 月 1 日
設立目的	公共スポーツ施設および直営施設の管理運営を事業とし、各種教室、イベント等の企画運営事業に取り組むため。 より良い『機会・場・サービス』づくりと、地域の活性化を提供。
役員構成	役員数　6名
会員又は構成団体等	—
従業員数	2,766名（2023年3月 31 日現在）
活動内容	・施設運営管理事業（運営受託施設・指定管理施設・直営施設等各種施設） ・各種スポーツ教室事業 ・健康関連商品、運動プログラム開発販売事業 ・会員サービス事業
担当者名	[redacted]
電話番号	06-6614-8136
FAX番号	06-6614-8381
e-mail	[redacted]

（1）法人等の概要説明書

事業体名　:ミズノ・芦屋市スポーツ協会・理研グリーン共同体

構成団体:　特定非営利活動法人芦屋市スポーツ協会（以下、芦屋市スポーツ協会）

法人等名称	特定非営利活動法人芦屋市スポーツ協会
代表者氏名	会長　西田　俊一
主たる事務所の所在地	兵庫県芦屋市山芦屋町28番4号
設立年月日	1948 年 11 月 1 日
設立目的	地域住民を中心にスポーツ及び文化の指導・講習会・協議会等を行い、芦屋市におけるスポーツ及び文化の普及・進行に寄与すること
役員構成	理事 25 名 監事 1 名
会員又は構成団体等	加盟団体 22
従業員数	23 名(2026年2月末現在)
活動内容	・市民スポーツ・文化の指導、奨励と指導者の養成事業 ・スポーツ・文化施設管理運営事業 ・市民スポーツ・文化の振興のための宣伝、啓発事業 ・競技、講習会等市民スポーツ振興事業 ・各競技力の強化、発展促進事業 ・体育功労者ならびに優秀選手の表彰事業　等
担当者名	[redacted]
電話番号	0797-38-3989
FAX番号	0797-38-3989
e-mail	[redacted]

（1）法人等の概要説明書

事業体名　:ミズノ・芦屋市スポーツ協会・理研グリーン共同体

構成団体:　株式会社 理研グリーン（以下、理研グリーン）

法人等名称	株式会社 理研グリーン
代表者氏名	代表取締役社長　篠原　卓朗
主たる事務所の所在地	東京都台東区東上野4丁目8番1号　TIXTOWER UENO8階
設立年月日	1957年6月1日
設立目的	『緑をつくり、育て、守る』ことをモットーに、環境関連事業を通じて、人と自然が調和した豊かな社会の実現に貢献します。
役員構成	役員数　5名
会員又は構成団体等	—
従業員数	162名(2025年10月31日現在)
活動内容	・緑化関連薬剤・資材事業(ゴルフ場、道路、鉄道など、非農耕地用薬剤・肥料資材等の販売) ・産業用薬品事業(製紙用薬品の技術提供・工程助剤・機能性添加薬品の販売) ・土木緑化工事事業(公園・道路・グランド・ゴルフ場・造園土木工事、芝生・緑地の維持管理)
担当者名	[redacted]
電話番号	06-6871-1695
FAX番号	06-6871-0034
e-mail	[redacted]

（2）管理運営に当たっての基本方針について

（1）管理運営を行うに当たっての基本方針について

はじめに（前期指定管理の成果について）

当グループの取組みの成果

- 当グループの管理期間中、以下のような取組みを実施し、来園者数の増加と利用者満足度の向上を図ってきました。そして、以下の成果を上げています。

成果：多世代、多志向のスポーツ教室により27,500人の参加を獲得

●幼児から高齢者まで対応した様々なスポーツ教室を展開し、2023年時点で10種類15コースを展開しています。
●2019年からの５年間で、27,500人以上の参加がありました。
●コロナ禍の３年間も大きく参加数が下がることなく幅広い年代の方に参加いただいています。
●また、参加者の多いA&C ASHIYA陸上教室から、2022年度に100m走の兵庫県代表選手（5年生男子）も輩出しています。



A&C ASHIYA陸上教室

成果：園芸講習会の入会者を継続的に増加

●園芸講習会は、市民から大変ご好評をいただき、年々参加者数が増加しています。
●当初128名だった参加者は、現在、年間80回近く開催し、毎年700人以上の方に参加いただく、人気教室となっています。
●当グループが運営を始めた2014年度と比較すると、参加者が5.6倍にも増えています。

園芸講習会の参加者数推移

2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
128人	213人	314人	228人	399人	456人	588人	717人	720人



※2019年度はコロナ影響で3月は、開催中止
※2020年度はコロナ影響で4月及び5月は、開催中止



園芸講習会の様子



施設内に作品展示も行い参加者のモチベーション維持にも配慮

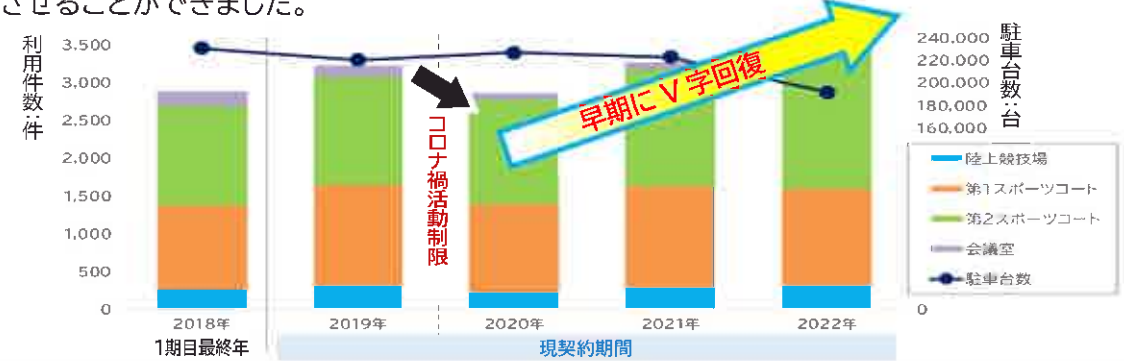
成果：コロナ禍でも来園者数を大幅減少させることなく、早期に回復

●公園全体の利用については、コロナ禍の影響により、2020年度に一時的に、来園者数は減少しましたが、緊急事態宣言後のアウトドア需要も取り込み、利用件数を増加させることができました。

有料公園施設の利用件数及び駐車台数の推移

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
利用件数	3,236件	2,866件	3,273件	3,589件	3,355件
駐車台数	22.1万台	22.7万台	22.4万台	19.2万台	19.9万台

※駐車台数は2022年護岸工事による影響で減少



（2）管理運営に当たっての基本方針について

（1）管理運営を行うに当たっての基本方針について

はじめに（前期指定管理の成果について）

当グループの取組みの成果

当グループの管理運営に関して、利用者や貴市からの評価も頂戴しています。

成果：来園者の総合満足度毎年85%以上を獲得

●利用者アンケートでは、来園者の総合満足度評価について直近３年の平均で**平均85%以上を獲得**しています。

直近3カ年の総合満足度評価

2021年	2022年	2023年
85%	87%	84%



その他個別の項目でも
・職員の接し方　：92%
・維持管理・清掃　：90%
・安全対策　：86%
という高評価を頂戴しております。（2023 年度評価）

成果：モニタリング評価でA評価獲得

●2021年度に実施された行政モニタリングの**第三者評価でA評価**を獲得し、当グループが適正な管理運営を行っているとの評価をいただいたものと自負しています。
●また、貴市の**年度評価でも6年連続 A 評価**を獲得しています。

モニタリング（第三者評価）
A 評価を獲得

成果：芦屋オープンガーデン上位入賞による価値向上

●市が毎年開催されている庭園都市実現に向けた取組み『第18回芦屋オープンガーデン2023』において、花壇演出を協働している「PMO あしや」が、本公園の花壇をエントリーされ、コミュニティ花壇（グループ）部門で見事2位を受賞されました。

●また、本公園の「園芸講習会」講師は、「R43号　芦屋川橋上花壇（芦屋市総合公園グループ）」として、3位を受賞されました。そのため、コンクールで入賞した花壇を鑑賞することのできる公園として、園芸講習会で、受賞者から直接学ぶことのできる公園として、本公園の認知度や価値の向上に貢献いただいています。


PMOあしや演出の花壇


芦屋オープンガーデン表彰式の様子

成果：スタッフ教育に対する成果（お褒めの言葉やリスク対応事例）

●当グループは、2017年度よりミズノを中心に、利用者の CS 向上に重点をおき、本部やエリアの専門スタッフによる教育・研修を強化しています。
●また、リスクマネジメント教育は、運営開始（2014年度）より継続し、事故や事件等の対応や未然防止にも積極的に取り組んでいます。
●結果、下表のように市民からいただくお褒めの言葉や、重大事故の未然防止など、成果につながった取組みは、全スタッフに共有し、更なる運営品質向上に活かしています。

スタッフ教育・研修の成果（一例）

成果	起因したもの	内容
市民からお褒めの言葉（市にメール投稿）	スタッフの柔軟な対応	市主催イベントの星空映画会の際に豪雨があり、利用者の依頼で自家用車を取りに行かれる間、お子様が濡れないよう、一時的に事務所でお預かりしたことに対する感謝のお言葉を頂戴。
市民から感謝のお言葉やお葉書	スタッフの接客姿勢	従前から来園される方に対する接客姿勢に対して、ご本人から、感謝のお言葉やお葉書を頂戴。
リスクの拡大防止	臨機応変なリスク対応とアドバイス	来園中に倒れられた利用者にクラブハウスで休んでいただいた際に「大丈夫」と仰られるも、受診を強く勧め、スタッフも病院に同行。検査の結果、疾患が見つかり、早期の治療に貢献できた。


利用者から頂戴したお葉書

（2） 管理運営に当たっての基本方針について

（1） 管理運営を行うに当たっての基本方針について

はじめに（前期、前々期指定管理の成果について）

当グループの具体的な取組み実績

- 当グループは、前項で記載した成果を得るために、様々な努力を行ってきました。その取組みを以下に記載します。

実績： 利用促進の具体的な取組み

第2スポーツコート人工芝化提案により活性化を実現

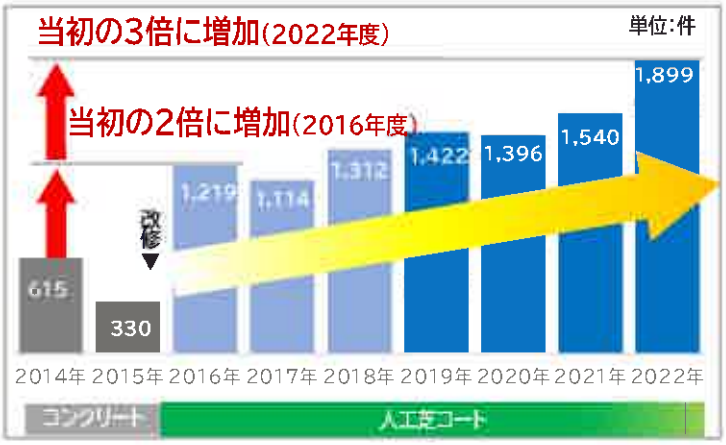
●スポーツコートは、高速道路の高架下で天候に左右されない好立地として、貴市にコンクリートコートから人工芝コートへの改修を提案したところ、実現していただけました。

●その結果、改修前（2014年度）は615件だった利用が、改修後（2016年度）には、約2倍の1,219 件となりました。

●また、その後も利用が増え続け、直近の2022年度では、1,899 件の利用があり、当初との比較で3倍の利用促進効果が得られています。



利用が増加している第2スポーツコート



公園草花の積極的な紹介

●公園内に咲くバラやロウバイなどの開花や見ごろの時期に合わせ、神戸新聞社様や、読売新聞様に取り上げてもらい、来場促進を図る取組みを継続しています。





新聞記事に取り上げられた公園の開花情報

実績： サービス向上の具体的な取組み

公園内のガーデンライトをLED化し視認性向上

●開園から20年以上が経過し、ガーデンライトが劣化。配線故障・照明故障が増加しているため、2022年から2023年にかけて、20基をLEDタイプのローポールライトに交換しました。

●LED化により照度が上がったことで、視認性や安全性の向上が図られるとともに、今後、節電にも効果を期待しています。



LED化したガーデンライト

独自に仕様書以上のグラウンドメンテナンスを実施し良好なフィールドを提供

●約10年間の管理から、陸上競技場グラウンドの特性を理解し、現在、週2日の保守メンテナンス及び、年2回のオーバーシード・トランジションを行う事で良好な状態を保っています。

●青々とした天然芝グラウンドの提供は、サッカー協会や、利用者からも高い評価をいただいています。





仕様書以上の作業で良好な状態を維持

（2）管理運営に当たっての基本方針について

（1）管理運営を行うに当たっての基本方針について

はじめに（前期、前々期指定管理の成果について）

当グループの具体的な取組み実績

実績：地域と連携した事業積極実施・協力

防災公園として芦屋市消防本部と協働

●芦屋市総合公園は広域避難場所であり、防災倉庫・ヘリコプター離着陸場所の役割のある防災公園としても位置付けられています。
●緊急時にスムーズな対応を行えるよう、消防本部の防災訓練に参画するなど、連携体制を築いています。
●また、園遊会・オータムフェスタの際には関係部署と協力し、防犯・防災のアピールも常に実施しています。



芦屋市消防本部の防災訓練の様子

市民行事に積極的に参画し公園をアピール

●公園を活用した市民企画 ヤーンボミング（公園樹木に毛糸モチーフで彩りをつける）や、クリスマスワンダーランドに積極的に参画しています。
●ヤーンボミングには、当時の市長も参加いただき、市民が憩える公園をアピールしました（神戸新聞に掲載）。


ヤーンボミング

住民と連携したビーチクリーン運動を実施

●海岸の清掃活動を地域住民にもご協力いただき施設周辺の景観美化と地域交流を図っています。


ビーチクリーン運動

サマーカーニバルの警備体制に協力

●7万人以上の来場実績があるため、警察との警備体制を強化し、監視等での警察への全面協力を行っています。


サマーカーニバル

運営協議会で地域の意見を運営に反映

●本公園利用者・近隣自治会・福祉団体・PMOあしや等の協力を得て、本公園の運営協議会を年2回実施し、総合運動公園のより良い管理運営に協力をいただいています。

地域との協働により園遊会やオータムフェスタを毎年開催

●警察、消防、PMO あしやとの協働で、スポーツ体験やフリーマーケット、音楽、飲食が楽しめる、イベントを毎年開催し、好評をいただいています。


オータムフェスタ

警察と連携し日常の安全管理を強化

●日常の巡回を徹底するとともに、芦屋警察と連携し、夜間でも駐車台数の多い北駐車場は巡回を随時行ってもらっています。


巡回点検

地域と協働し魅力的なバラ園を整備

●芝生化実行委員会の協力で、約600本のバラ園が整備され、来園者の憩いの場所となり、人気の撮影スポットとなっています。


バラ園

近隣自治会・教育機関と連携した出張事業の実施

●これまで、海岸通り・涼風町自治会の運動会において、ミズノオリジナルプログラムや、関西アメリカンフットボール協会、関学大 Fighters の協力で、朝日ヶ丘小学校にて出前フラッグフットボール教室を実施した実績があります。
●コロナ禍の影響で、近年は実施されていませんが、地域のイベントも増えていることから、次期は、このような取り組みを復活させ、当グループのノウハウやネットワークを活用して、地域に貢献していく考えです。


地域イベントへの協力

（2） 管理運営に当たっての基本方針について

（1） 管理運営を行うに当たっての基本方針について

はじめに（前期、前々期指定管理の成果について）

当グループの具体的な取組実績

実績： 強みやネットワークを活かしたスポーツ・健康事業の実施

スポーツ協会ネットワークによる事業展開

●芦屋市スポーツ協会の協力により、東日本地震支援及び難民支援事業（UMHCR）として、リレーマラソンを毎年実施しています。



リレーマラソン

トップアスリート発掘事業への協力

●芦屋市スポーツ協会の協力により、日本での選手発掘のためのレアルマドリードサッカー教室を誘致開催しました。



アスリート発掘

公園環境を活かした健康プログラム実施

●公園の開放的な天然芝を活かした、屋外ヨガや子ども向けの運動遊びプログラムを開催しています。



屋外ヨガ

県・市・民間連携の健康増進事業へ協力

●兵庫県主催で、芦屋市及びミズノグループ施設、近隣商業施設との協働で、年2回のウォークラリーを開催しました。



ウォークラリー

実績： 緑化推進事業を積極推進

緑化推進事業の内容充実の取組みを継続

●緑化推進事業については、緑の相談窓口運営、花壇の季節演出をはじめとした植栽の維持管理、また前述した園芸講習会など、いずれも重要な取り組みとして改善を図り実施しています。

●緑の相談窓口は、毎週確実に実施することに加え、多くの市民にガーデニング等に親しんでいただけるよう、関連雑誌を毎号購入し、いつでも閲覧できるように常設しています。

●花壇管理等は、構成企業の理研グリーンを中心に PMO あしやと密に連携して、年間計画を立て四季折々の見どころを演出し来園促進を図っています。

●好調な園芸講習会は、講師との協議を重ね、ニーズを捉えた内容充実を図るとともに、市広報誌や掲示板の活用等により参加者は大幅に増加中です。参加者の作品をパネルにした展示も大変好評です。



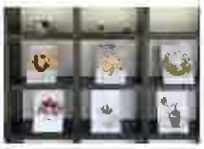


緑の相談窓口



四季折々の花壇演出





園芸講習会

実績： 子ども向けカルチャーイベントの展開

親子アート工作教室を定期開催

●段ボールや牛乳パック等を使用した工作や、アルマ・スバル望遠鏡技術者の福寿喜寿郎さんによる、集光機を作り、太陽エネルギーで湯沸しや、ゆで卵を作るなど、子ども向けの実験イベントを年４回実施しています。



段ボールハウスづくり



ソーラープロジェクト

独自のスポーツ学童で子ども育成支援

●夏休み期間中に、ミズノオリジナルのスポーツ学童事業を毎年開催しています。

●本施設スタッフによる運動遊びプログラムや、アウトドア体験、釣り体験、はんごう体験などを5日間にわたり実施するイベントです。



学童事業の様子

（2）管理運営に当たっての基本方針について

（1）管理運営を行うに当たっての基本方針ついて

指定管理者として踏まえるべき事項

本公園の基本方針及び芦屋市方針の理解

公園の基本方針を理解した管理運営

- 当グループは市が示す公園の基本方針を十分に理解した上で、市民に心と身体の健康や、豊かさを実感いただける管理運営に努めます。
- 質の高い施設環境、自然、植栽環境を提供し、市民とのパートナーシップによる管理運営に取り組みます。様々な取り組み効果が地域に波及し、利用者や地域住民と情報交換し、信頼関係を築きながら、安全安心の向上に取り組みます。

[貴市が示される本公園の基本方針]
芦屋市総合公園は公共の資産である公園として、市民の平等、公平な利用を基本とし、子供から大人高齢者、障害者まですべての市民が、レクリエーション利用等を通じて、分け隔てなく生活や暮らしの質を高め、健康と心の豊かさを実感してもらうものとする。

第5次芦屋市総合計画を踏まえた事業展開

- 当グループは、指定管理業務を通じて、市政の基本方針である第5次芦屋市総合計画に寄与したい考えです。
- 本公園の管理運営は、総合計画に挙げられる施策分野1から6のいずれにも関連することから、総合計画の各基本施策と連動した事業展開により、施策目標の達成、並びに市の課題解決の一翼を担えるよう努めます。





第5次芦屋市総合計画（将来像・方針・視点）

施策分野	施策目標	基本施策
施策分野1 子育て・教育	施策目標1　誰もが安心して生み育てられる環境が充実している	1-1　仕事と子育てを両立できる環境整備を進めます 1-2　子どもの命と健康が守られ、安心して子育てできる環境をつくります
	施策目標2　未来への道を切り拓く力が育っている	2-1　子どもや若者の健全な成長を支えます 2-2　[illegible]
	施策目標3　生涯を通じた学びの文化が醸成されている	3-1　文化の継承と活用に努めます 3-2　市民による学びの仕組みづくりを進めます
施策分野2 福祉健康	施策目標4　あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる	4-1　地域共生社会の実現に向けた取組を推進します 4-2　誰もが地域で暮らしやすいまちづくりを進めます 4-3　平和と人権が尊重され、誰もが活躍できる社会の実現を目指します
	施策目標5　健康になるまちづくりが進んでいる	5-1　市民の健康づくりを図り、いつまでも自分らしく生き生きと過ごすことができる環境を進めます
施策分野3 市民生活	施策目標6　良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている	6-1　清潔なまちを協働で維持する取組を進めます 6-2　環境へ配慮した都市生活の仕組みを築き、意識を高めます 6-3　本市の特性に合った商業の活性化を目指します 6-4　行政サービスの利便性を高めます
施策分野4 安全安心	施策目標7　災害に強いまちづくりが進んでいる	7-1　まちの防災機能を高めます 7-2　自助、共助、公助の連携により、災害に備えます
	施策目標8　日常の安全安心が確保されている	8-1　地域などと連携し防犯の向上に取り組みます 8-2　交通ルールを守る意識を高め、歩きやすいまちとなるよう取り組みます 8-3　誰もが安心して適切な医療を受けられる地域を目指します
施策分野5 都市基盤	施策目標9　住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている	9-1　まちなかの緑の持続可能な整備に努めます 9-2　良好な景観を守り、魅力を伝えます 9-3　地域の価値を高める公共空間の活用を進めます 9-4　良質な住環境を維持し、住宅ストックを活用します
	施策目標10　持続可能なインフラ整備が進んでいる	10-1　持続可能な交通インフラを確保します（道路・橋梁） 10-2　持続可能な生活インフラを確保します（上下水道・ごみ処理施設） 10-3　市内交通の円滑化に向けて取り組みます
施策分野6 行政経営	施策目標11　協働の意欲が高まり市民主体のまちづくりが進んでいる	11-1　地域が主体となってまちづくりを行う仕組みを構築します 11-2　効果的・効率的な情報共有に努めます
	施策目標12　人口減少社会に対応した健全で効果的な行政経営が行われている	12-1　長期的視点に立った行財政改革を行います 12-2　持続可能な行政サービスの提供に向け、[illegible]
	施策目標13　急速な社会変化に対応できる組織になっている	13-1　不確実性が高まる社会に適応できる行政運営を行います 13-2　職員が能力を発揮し、効率的な行政運営を行えるよう、「働き方改革」を進めます

新たなスポーツ推進計画・スポーツ推進実施計画に沿った利用促進策で市民へ貢献

- 新たに次期指定期間と並行し推進される第3期芦屋市スポーツ推進計画（2024年度から10年間）、伴って示される第2期芦屋市スポーツ推進実施計画（2024年度から5年間）に沿い、本公園をスポーツ・健康活動に最大活用いただける利用促進策を講じ、貴市及び市民への貢献をしたい考えです。

第3期芦屋市スポーツ推進計画（2024年度～2033年度10年間）

[基本理念（ヴィジョン）]
“するスポーツ”“みるスポーツ”“ささえるスポーツ”を推進し、すべての市民がスポーツを楽しむことができる環境を創る。

[使命（ミッション）]
スポーツ団体、教育機関、民間事業者、行政が補い合いながら連携・協働することによって、すべての市民が楽しむことができるスポーツ環境を創り出す。

[基本目標]
“するスポーツ”の推進　“みるスポーツ”の推進　“ささえるスポーツ”の推進

（2）管理運営に当たっての基本方針について

（1）管理運営を行うに当たっての基本方針について

1. 基本方針、目標設定

指定管理に向けた私たちの想い

- 当グループは本公園の管理運営を通じて、来園者や貴市及び地域の方々と様々な取組みを行うと共に、課題にも直面し、都度、解決策や改善策に取り組んできました。
- 市民の方々のため、公園のために私たちが取組むべき事項を現場・本部スタッフ全員で意見を出し合った内容を令和6年度の更新時から計画書に盛り込んでいます。
- 令和8年度も公園活性化に向けた新たな施策を実施し、市民や地域の皆様、また貴市に更なる貢献ができるよう全力で取り組んでいきます。



当グループの基本方針と管理運営コンセプト

- 市の定める管理運営方針や、第5次芦屋市総合計画等を踏まえ、本公園の次期の基本方針及び管理運営コンセプトを設定し、事業計画に基づく管理運営を行います。

基本方針：

海を臨む開放的な公園（開かれた公園）が、
人と人、人と自然をつなぎ、芦屋市民の未来を紡ぐ

管理運営コンセプト：

OPEN PARK ～芦屋市総合公園～

目標設定

- 当グループは、基本方針実現の指標として以下の目標を掲げ、様々な新しい施策を実行します。

目標1	利用件数 ： 年間 4,000 件獲得	［2023年実績:3,355件］
	・有料公園施設の利用促進を図り、年間を通じた利用を獲得	
目標2	利用者満足度 ： 年間90%以上獲得	［2023年実績:84%］
	・顧客満足度（CS）向上を追求する、どなたにも使いやすいサービス	
目標3	イベント事業 ： 年間25回以上実施	［2023年実績:18回］
	・市内外から誘客できる魅力的なイベント企画	
目標4	教室・講習 ： 年間7,000人以上参加	［2023年実績:6,299人］
	・「スポーツ」「自然」「カルチャー」による多世代市民の公園活用	
目標5	重大事故 ： ゼロ件	※指定管理者の瑕疵によらないもの
	・徹底したリスクマネジメントで安心・安全の公園	

令和8年度管理事務所スタッフ共有方針
‘ミラタップパーク芦屋でより多くの人に楽しんでいただこう！

（2）管理運営に当たっての基本方針について

（1）管理運営を行うに当たっての基本方針について

2.公園が魅力的になると感じられる方針

- 基本方針及び管理運営コンセプトに基づく、公園が魅力的になると感じられる方針として、当グループは、以下の4つの方針を掲げます。

健康スポーツ

① 子どもから高齢者までアクティブに過ごせる公園づくり

・園内スポーツ施設を活用した競技スポーツの利用促進を図ります。
・ウォーキングやランニングなど誰もが気軽に取組める健康運動を推進します。
・家族や仲間と楽しめるレクリエーションスポーツを推進します。

自然レジャー学び

② 四季折々の自然を感じ、触れ合える公園づくり

・四季折々の植物や動物など公園の魅力を積極発信し、多世代の来園を促進します。
・ビオトープ等園内資源を活用したイベントで、ふれあいや学びの場を創出します。
・地域住民やボランティアとともに公園の自然や緑を、守り、育みます。

憩い交流賑わい

③ 家族や仲間と楽しく過ごせる公園づくり

・地域と連携した取組やイベントを積極開催し仲間づくり、賑わいづくりを促進します。
・バーベキュー等家族や仲間とリラックスして過ごせるサービスを拡充します。
・ドッグランの運営等新たな取組で、市民や来園者同士の交流を促進します。

快適安全安心防災

④ 快適・安全に笑顔で過ごせる公園づくり

・ホスピタリティの気持ちをもち「また来たい」と感じてもらえる環境を整備します。
・周辺地域も含めたあらゆる方に配慮する維持管理とリスク対応を徹底します。
・広域避難所等の防災拠点として、市や地域と連携した防災対策に努めます。

3.理念及び運営方針

当グループの理念

- 本公園の指定管理者として、上記に掲げる魅力的な公園を実現するため、以下の理念を常に念頭におき、管理運営業務を実施します。

『市民のために常に誠実に全力で取組む』

当グループの運営方針

- 当グループは、以下の運営方針を定め、これまで以上に多くの市民に公園を活用いただき、いつも賑わいのある、そして多世代市民に、心と身体の健康を実行いただける運営を目指します。

運営方針①	魅力的な利用促進策を展開
運営方針②	誰でも利用しやすいサービスを導入
運営方針③	気軽に自然や緑に触れ合える場を演出
運営方針④	地域と連携し市民参画を促進
運営方針⑤	安全・安心・快適な利用環境を提供

（3） 公園全体の管理体制について

（1） 管理体制について

1 管理責任者及び管理体制

管理責任者の業務遂行能力について

総括責任者を中心としたマネジメント体制で高品質な運営管理を履行

- 総括責任者が業務全体を把握し、役割分担を明確にしたマネジメント体制で、質の高い運営に取り組みます。総括責任者不在の場合は、副責任者が業務を代行し、市や利用者からの要望に対し随時、的確な意思決定と、的確な対応を行います。
- また、継続して管理運営経験やスポーツレクリエーション活動に精通した者を専任させ、防火管理者、救急救命講習修了者を配置するとともに、本部の運営管理責任者と連携して業務に当たります。

総括責任者		
氏　　名	[redacted]（所属：ミズノ株式会社）	
主な経歴等	■経歴 ・ミズノ株式会社 ゴルフ事業部課長 通販・コーポレートアパレル営業部 専任次長 ライフスタイル営業本部 専任次長 現芦屋市総合公園総括責任者 ■保有資格 ・甲種防火管理者 ・救急救命講習修了	[redacted]

副責任者		
氏　　名	[redacted]（所属：特定非営利活動法人芦屋市スポーツ協会）	
主な経歴等	■経歴 ・キャノンマーケティングジャパン株式会社 近畿営業本部 営業課長 ・株式会社衣食住 セールスマネージャー ・芦屋市スポーツ協会 ■保有資格 ・救急救命講習修了	[redacted]

園地管理責任者		
氏　　名	[redacted]（所属：株式会社理研グリーン）	
主な経歴等	■経歴 ・株式会社理研グリーン 日本万国博覧会記念公園植物管理業務 緑地管理責任者 レークさがわ陸上競技場・メインスタジアム 天然芝維持管理業務 緑地管理責任者 ■保有資格 ・1級土木施工管理技士、1 級造園施工管理技士 ・樹木医	[redacted]

企画運営責任者		
氏　　名	[redacted]（所属：ミズノスポーツサービス株式会社）	
主な経歴等	■経歴 ・ミズノスポーツサービス株式会社 大阪市中央体育館勤務 現芦屋市総合公園企画運営担当 ■保有資格 ・中・高教諭第一種免許状（保健体育） ・JAAF 公認ジュニアコーチ ・救急救命講習修了	[redacted]

管理運営責任者		
氏　　名	[redacted]（所属：ミズノスポーツサービス株式会社）	
主な経歴等	■経歴 ・株式会社 JAL プラス（現 株式会社 JAL ナビア） 国内線予約サービス部 ・株式会社 神戸ポートピアホテル 宿泊部 フロント担当 ・ミズノスポーツサービス株式会社 現芦屋市総合公園管理運営担当 ■保有資格 ・実用英語技能検定2級 ・救急救命講習修了	[redacted]

（3） 公園全体の管理体制について

（1） 管理体制について

2 従業員の適切な配置

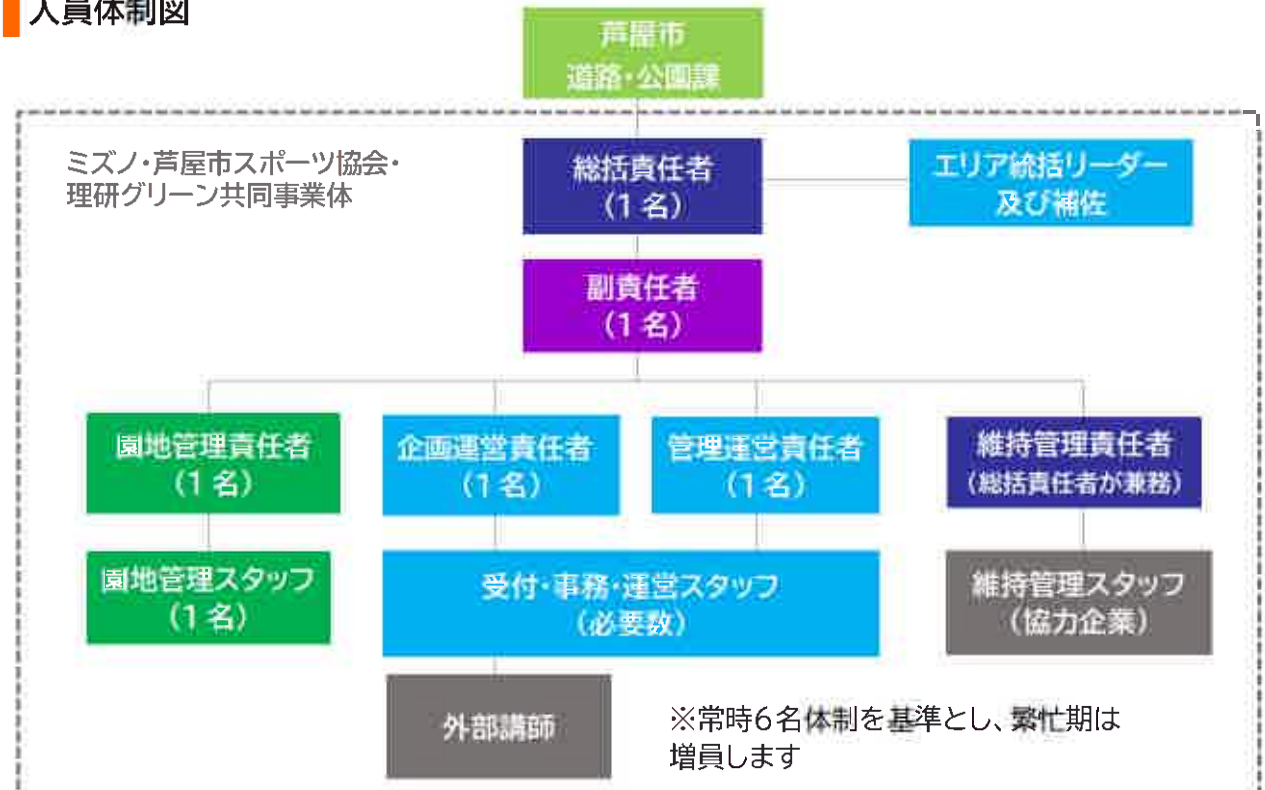
安全安心かつ適切な管理体制及びスタッフの責任分担について

経験豊富なスタッフによる継続運営

- 当グループは、現管理者として本公園を知り尽くした経験豊富なスタッフで引き続き運営を行います。
- 総括責任者を中心に効率的かつ効果的な人員配置による管理運営体制を構築します。
- 専門的なスキルが要求される業務には専任を配置し、マニュアル強化により対応可能な業務はマルチ化を図ります。
- また、現地・本部一体となった万全のバックアップ体制（リスクマネジメント委員会等）を構築し管理運営を行います。
- 当グループ内の「運営会議」を毎月1回実施。また、市民・学識者で構成する「管理運営協議会」を年2回以上開催します。



人員体制図





（3）公園全体の管理体制について

（1）管理体制について

2 従業員の適切な配置

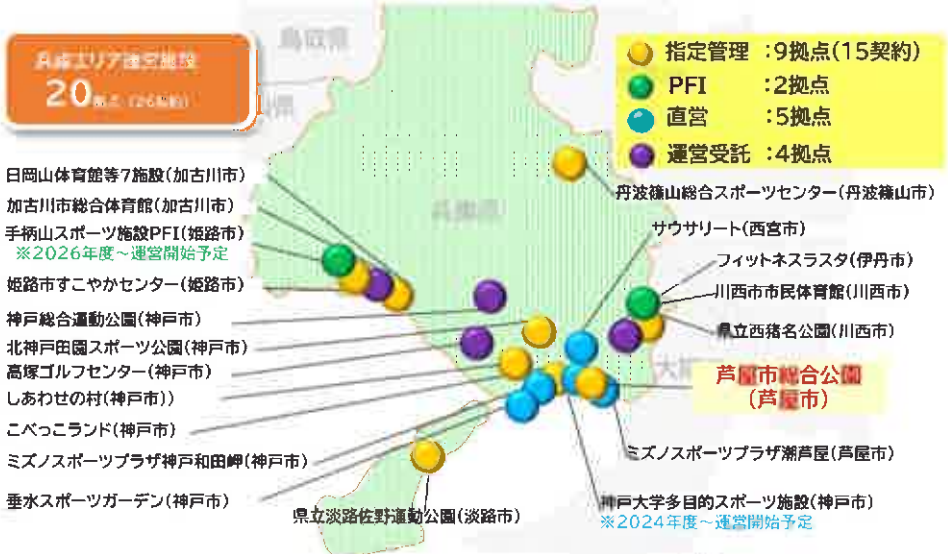
安全安心かつ適切な管理体制及びスタッフの責任分担について

配置人員

役職名	配置人数	主な役割	業務内容 事務	施設窓口	巡視点検
総括責任者 兼　維持管理責任者	1名	総括管理責任者(兼)維持管理責任者 個人情報管理責任者、行政対応、労務管理 連絡調整、予算管理等	○	○	○
副責任者	1名	窓口受付、事務処理、広報、イベント企画 地域団体との調整等、自主事業企画運営	○	○	○
園地管理責任者	1名	園地管理責任者(兼)陸上競技芝生専門職 植栽管理、緑化相談等緑に関する調整業務 園芸講習会企画業務及び運営補助	×	△	○
企画運営責任者	1名	自主事業企画運営、広報、イベント企画 事業関係者との調整、自主事業講師等	○	○	○
管理運営責任者	1名	窓口受付、事務処理、広報、自主事業講師、 清掃管理等	○	○	○
園地管理スタッフ	1名	陸上競技芝生管理、園内植栽管理、緑化相 談等緑に関する調整業務、園芸講習会企画 業務及び運営補助	△	△	△
受付・事務・運営 スタッフ	必要数	窓口受付、事務処理、園地管理作業、巡視点 検、清掃等	○	○	○
協力企業	業務内容 により 必要数	施設警備、設備保守点検管理、修繕、清掃 等業務 [委託予定] ・芦屋市シルバー人材センター ・芦屋みどり福祉会 ・ワークホームつつじ ・近藤建設 ・前忠工業 ・総合警備保障 ・ALSOK ファシリティーズ ・日信防災 ・丸与	—	—	○

県内20以上の拠点事業所からのバックアップ体制を構築しイベントや緊急時にサポート

- ミズノグループはは、県内で20拠点のスポーツ施設等の事業所を運営しており、実際にスタッフを配置していることから、事故や災害の影響のない施設から、人的・物的なサポートを実施することが可能です。



【ミズノグループにおける兵庫県内の管理運営施設】

（3）公園全体の管理体制について

（1）管理体制につい

2 従業員の適切な配置

構成各社のサポート人材について

構成各社の有資格者が本公園の管理運営を柔軟にサポート

- 構成各社のスタッフは、以下の通り、多数の資格者を有しており、本公園の管理運営や事業実施計画に応じて、柔軟にサポートできる体制を構築しています。

ミズノ　及び　ミズノスポーツサービス（2024 年 7 月現在）

資格名	保有者数
指導系	
健康運動指導士	76人
日本体育施設協会公認ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ指導士	3 人
JWA ウォーキング指導員	3人
初級障がい者スポーツ指導員	44人
中級障がい者スポーツ指導員	2 人
スポーツ指導員	1 人
日本ｽﾎﾟｰﾂ協会公認ｽﾎﾟｰﾂﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏｰ	8人
健康運動実践指導者	45人
日本スポーツ協会公認コーチ	24人
日本スポーツ協会スポーツリーダー	23人
日本陸上競技連盟公認審判員	4人
救命講習等修了者	77人
芦屋市スポーツリーダー修了者	2 人
ファシリティ系	
甲種消防設備士	2人
乙種消防設備士	3人
危険物取扱者（乙種）	17人
危険物取扱者（丙種）	3人

資格名	保有者数
管理系	
スポーツ施設管理士	59人
スポーツ施設運営士	27人
上級スポーツ施設管理士	20人
個人情報保護士	2 人
甲種防火管理者	155 人
公園管理運営士	7 人
施設・設備系	
フロン類取扱技術者	1人
2級造園施工管理技士	1人
2級土木施工管理技士	2人
2級建築施工管理技士	1人
第2種電気工事士	6人
安全系	
日赤水上救急法救急員	18人
日赤水上安全法救助員Ⅰ	23人
日赤水上安全法指導員	8人
プール衛生管理者	27 人
プール施設管理士	9人

芦屋市スポーツ協会

資格名	保有者数
ダンス介護予防指導員	1 人
介護予防運動トレーナー	1 人
レクリエーションインストラクター	1 人
スポーツ施設運営士	1 人
トレーニング指導士	1 人

資格名	保有者数
健康運動指導士	2人
チェアエクササイズインストラクター	1 人
看護師	2人
保健師	1 人
障がい者スポーツ初級指導員	1 人

理研グリーン

資格名	保有者数
一級造園施工管理技士	16人
二級造園施工管理技士	11人
一級土木施工管理技士	12人
二級土木施工管理技士	1 人
公園管理運営士	1 人
樹木医	3 人

資格名	保有者数
一級技能士	2 人
芝草管理技術者一級	1 人
芝草管理技術者二級	5 人
毒薬劇物取り扱い責任者	34 人
国際ツリーワーカー	1 人

（3） 公園全体の管理体制について

（1） 管理体制について

3 人材育成についての考え方

研修計画について

人材育成計画

- 施設運営は人材が第一の考え方から【人材】を【人財】と捉えて人材育成を実施します。
- 施設運営の基本的な姿勢は「運営施設心得」として定め、日常業務（ルーティン）の中で繰り返し実施するとともに、現地主導の研修、本部主導の研修、外部機関を利用した研修を組み合わせた教育研修を実施します。
- 人権、個人情報保護、緊急時対応等は全スタッフ必修項目としてコンプライアンスを徹底します。

研修の種類

- 当グループは現地・本部・外部による3つの研修に年度計画を作成し人材育成に取組みます。

1）現地主導による研修

●共通研修（全スタッフ）
・人権研修・障がい者対応　・個人情報保護研修
・救急救命（CPR・AED）研修　・接客接遇研修
・防災訓練　等
●業務別研修
・受付事務研修　・運動指導（トレーニングルーム・教室等）
・施設巡回点検・維持管理
・機械室管理　等

2）本部主導による研修

●年次別研修（年6～8回）
・1～3年次（若手）研修
・支配人候補研修
・新任支配人研修
・支配人研修
●運動プログラム・CS 推進研修（随時）
・指導ライセンス研修
（トレーニング指導、子ども・高齢者プログラム、等）
・CS 推進トレーナー研修
●テーマ別（随時）
・施設別勉強会
・ホームページ・SNS 勉強会
・トレーニング器具メンテナンス勉強会
・危機管理・リスクマネジメント研修



3）外部機関等による研修・講習会

・消防による防火管理者、救命講習会、合同訓練
・日本赤十字社による救急法救急員講習会
・日本スポーツ施設協会によるスポーツ施設管理士
・運営士講習会
・ミライロによるユニバーサルマナー検定　等

現地主導による研修計画

共通研修 研修名	内容
人権研修	平等利用を遵守するために全スタッフを対象に人権研修を実施します。また市主催の人権講座等が開催される場合には積極的に参加します。 ●対象：全スタッフ　●頻度：年 1～2 回（集合研修・外部研修）
接客研修	独自の「運営施設心得」や利用者からの意見を反映した接客姿勢を実践で習得します。 ●対象:全スタッフ　●頻度：年2回（集合研修）
個人情報取扱研修	各施設で取扱う個人情報およびその取扱いの重要性について知ることを集合及び個別研修（教育用 DVD）で実施します。 ●対象：全スタッフ　●頻度：年 1 回（集合研修）
CPR（心肺蘇生法） AED 研修	日赤救急法救急員、応急手当普及員等の有資格者による実践研修を実施します。 ●対象：全スタッフ　●頻度：年 1 回（個別参加研修）
消防訓練・ 避難訓練	消火、避難誘導、通報等の各役割の実践及び全体の「人」「連絡」の流れの把握を行います。運営施設のみでなく、複合施設での取組み、消防署立会い等による訓練も実施します。 ●対象：全スタッフ　●頻度：年 1 回（集合研修）
運動プログラム 研修	子どもへの教室指導や高齢者への教室指導における、座学や実技等の指導実習を行います。 ●対象：運動指導スタッフ　●頻度：年 2 回（集合研修）

（3） 公園全体の管理体制について

（1） 管理体制について

3 人材育成についての考え方

研修計画について

本部主導による研修計画

階層別研修 研修名	内容	
指定管理施設 定例責任者会議研修	オペレーション管理、クレーム対応事例研究、エリアマーケティング等をテーマに実施します。 ●対象：総括責任者、エリア統括責任者 ●頻度：年 12 回	
責任者集合研修	各スポーツ施設の責任者が集合して、法務、人事総務、経理財務担当者からリスク管理等をテーマに集中して実施します。 ●対象：当グループ運営施設責任者 ●頻度：年 1 回	
新任責任者研修	責任者として果たすべき役割について新任責任者を対象に研修（着任時・フォロー）を実施します。 ●対象：新任責任者 ●頻度：着任時随時	
社員研修（階層別）	入社年次に合わせた階層別の研修を実施します。社員としての心構え、業務への取組みについて実務レベルに合わせた研修を定期的に実施します。 ●対象：年次ごと社員 ●頻度：計画的に	
専門研修		
顧客満足向上研修 （CS推進）	ミズノでは、「安全・安心・信頼を全力でお届けする」ため、研修を受けた CS 推進トレーナーが施設スタッフに対して CS 向上のための各種研修を行ないます。 ●対象：全スタッフ ●頻度：年4回	
コンプライアンス 環境啓発研修	スポーツ施設運営にあたり、各種法令や条例を遵守することは必要不可欠な要素の一つです。施設責任者を対象に集合研修を行い、その中でコンプライアンスをテーマとした教育を実施します。 廃棄物処理、ハラスメントなど具体的な事例を挙げながら施設運営でのコンプライアンス違反防止のための知識向上に努めます。 環境啓発についても、運営施設で実施できる事例紹介や実際に施設内や施設周辺で活動を行うことを教育として取り上げ、研修だけで終わらない教育研修を実施します。 ●対象：全スタッフ ●頻度：年1回	

（3） 公園全体の管理体制について

（1） 管理体制について

3 人材育成についての考え方

研修計画について

専門研修 研修名	内容
会計・経理研修	会計事務の流れ、契約事務、収入支出事務及び会計システムについて研修します。現金管理体制のチェックも行います。 ●対象：全スタッフ ●頻度：年2回
本施設特有のスキルアップ研修	
グラウンド管理 社内講習及び研修会	野球場やサッカー場の芝管理を多く行っていることから芝草管理技士が多く在籍しており実務者に対する講習会や研修会を実施します。 ●対象：維持管理スタッフ ●頻度：年１回 
自主事業研修 ・運動プログラム研修	スポーツ施設に従事するものとして運動プログラム、トレーニング゛の基礎的な知識について見聞を広めて、普段の接客の中で運動プログラムに関する会話や簡単なアドバイスができるように取組みます。 ●対象：運動指導スタッフ ●頻度：年2回 

外部機関による研修（講習会参加）計画

研修名	内容
普通救命講習	芦屋市消防本部が認定する普通救命講習を毎年受講し、全スタッフが来園者の不慮の対応に適切に動き、安全管理に努めます。 ●対象：スタッフ全員 ●予定時期：随時 
応急手当普及員 養成継続講習会	応急手当普及員養成・継続講習会に参加し、救命救急技術の維持向上を図り、普通救命講習を開催します。 ●対象：総括責任者等 ●予定時期：随時
甲種防火管理者 養成講習会	防火管理者資格を取得して消防署への届出、消防計画の策定を行います。 ●対象：総括責任者等 ●予定時期：随時
ユニバーサルマナー 検定	高齢者や障害者など多様な方々への対応力を身につけるため、自分とは違う誰かの視点に立ち、適切な理解のもと、行動するためのマナー「ユニバーサルマナー」の理解と定着を目的にした検定（一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会発行・認証）を導入します。 ●対象：責任者・リーダー等 ●予定時期：1月～3月 
バラの剪定講習 （維持管理）	バラ専門の講師よるバラ園の管理等の講習を受講します。 ●対象：維持管理スタッフ ●予定時期：主催者設定（年４回）
職長教育 （維持管理）	職長・安全衛生責任者能力向上教育を受講します。 ●対象：維持管理スタッフ ●予定時期：適時

●令和5年度 遊具の日常点検講習会受講終了（伊藤部員）
●令和6年度 日本スポーツ協会公認スポーツ施設管理士養成講座受講終了
資格認定試験合格(伊藤部員)

（3） 公園全体の管理体制について

（1） 管理体制について

3 人材育成についての考え方

研修計画について

研修実施の「見える化」による安心感の提供

- 当グループは、研修実施計画及び実施報告を利用者に情報開示することで、スタッフの使命感、責任感、研修参加への意欲を向上させます。そして利用者に「安心感」を提供できるように教育研修に取組みます。



施設年間研修計画の開示

公的機関認定資格による信頼の確保

事例：日赤・消防発行の有資格者リストの掲示

- 日本赤十字社、消防署等の公的機関が発行する救急救命資格の所有スタッフの一覧を掲示することで信頼を確保します。



救急法修了証の掲示

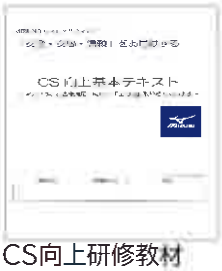
独自の『顧客満足（CS）推進活動』に取り組み、すべての利用者に丁寧に接遇

- ミズノが運営経験と外部専門企業の知見を取り入れ確立した、**独自の顧客満足推進活動**により、本施設の CS（顧客満足）向上について継続して取り組みます。
- 試験を経て認定された CS 推進トレーナーを中心に、挨拶、身だしなみ、5S（清掃・清潔・整理・整頓・躾）、接遇研修、電話応対、クレーム対応等の研修を行い、スキルとモチベーションを高め、運営品質の向上を図り、すべての利用者に丁寧な接遇を行います。



【CS向上ライセンス制度・2022年度活動状況】

- 本施設には、**令和7年度より CS 推進トレーナー2級が1名増えて3名在籍**となり、施設スタッフに対し、日常的に取組みを**より推進**しています。
- 日常的には、毎月テーマを決め、重点取組や統一ツールの活用により、全国の運営施設で運営品質を向上にむけレベルアップする取組みを実施します。
- 定期的には、モニタリングや、覆面の電話応対調査を実施、結果も踏まえた改善も行っていきます。



CS向上研修教材



体系的な研修項目



5Sチェック



CS推進トレーナーによる研修

WEB を活用した研修・教育により効率的・効果的な人材育成

- ミズノおよびミズノスポーツサービスでは、PC 及びウェブ環境の整備により、研修や遠隔地との会議を効率的・効果的に行う体制を構築しています。
- 自己研修は、繰り返しできるように動画教材をリアルタイムで視聴できる環境も整備し、教育研修等による残業や拘束時間の縮減による働き方改革を推進しています。



WEB形式の研修・会議



動画教材の充実

（3） 公園全体の管理体制について

（1） 管理体制について

4 個人情報保護についての措置

個人情報保護についての基本方針

関係法令を遵守しスタッフ全員で情報管理を徹底

- 個人情報保護については、社会的な責務と認識したうえで、「個人情報の保護に関する法律」や別紙「個人情報の取扱いに関する特記事項」など関係法令を遵守し、利用者から収集した個人情報を適切かつ安全に管理します。
- スタッフひとり一人が情報管理に危機感を持ち、徹底した保護をしていくため、厳格なルール設定や定期的な教育・研修を設けて管理します。
- また、その上で個人情報を本施設の利用促進および利用者満足度の向上を図るための財産として、目的の範囲内で最大限活用させていただきたいと考えています。

具体的な個人情報保護についての措置

芦屋市総合公園個人情報保護マニュアルの作成・整備

- 当グループは関係法令を踏まえた上で、本事業の業務内容に則した『芦屋市総合公園個人情報保護マニュアル』を作成・都度整備し情報管理手法を分かり易くルール化し、スタッフに徹底します。
- 本マニュアルをベースに「情報漏洩しない、させない」「不正利用しない、させない」仕組みを構築し、従事するスタッフ全員が情報収集・保管・利用・廃棄の各段階で適切な措置がとれるよう教育・意識づけを進めます。



独自個人情報保護マニュアル

デジタル化を促進した情報管理に改革

- 利用予約や自主事業の参加申込等は専用の申込用紙に書いていただく等、利用者から収集する個人情報は紙ベースでの管理が主体となっていましたが、紙ベースでの保管による情報漏えいリスクを低減させるため、個人情報管理についてもデジタル化を図り、ヒューマンエラーによる個人情報漏えいを防止します。
- 利用者から申込用紙等に記載していただいた個人情報は、スキャンしてすぐに専用の個人情報データベースに登録し、保存期限の設定されていない書類はシュレッダーをかけて破棄します。


スキャンでデジタル化

個人情報保管データベースで厳正管理

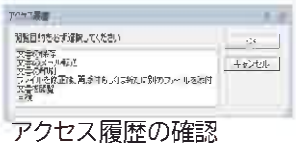
- 収集する個人情報は、ミズノ本社内の専用個人情報データベース（DB）内で一元管理し、個人情報を収集する際には、必ず事前に申請し、本社情報システム部の情報セキュリティ部門の承認を得ます。
- 個人情報保管DBには、アクセス権限を設定し、指定されたスタッフしか開けないようにすることで、情報漏えいのリスクを低減します。



データベースによる厳正管理

個人情報アクセス目的の確認

- 個人情報保管DBにアクセスした際には、個人情報の閲覧目的を確認し、閲覧履歴を残すとともに、パソコン本体への保存を制限し、安全性を高めています。


アクセス履歴の確認

個人情報保管データベースの点検

- 個人情報保管DB内に保存している個人情報について定期的に下記3つの点検を実施します。

点検項目	点検後の対応
保存・編集期限の確認	保存期限が過ぎた文書は削除し、異動等で見る必要がない人が閲覧できないように設定
個人情報件数の確認	何件分の個人情報を保存しているか把握（管理意識を高める）
不要な文書の削除	使わない個人情報を削除

改正個人情報保護法への対応

- 令和2年6月12日に施行された「個人情報の保護に関する法律等の一部を改正する法律」に対しても適切に対応し、この改正により新たに定義された「仮名加工情報の概念」「漏えい等発生時の国への報告と本人への通知義務化」「第三者提供の一部制限」「本人からの開示請求範囲の拡大」等、改正事項に十分に配慮して取扱います。

（3） 公園全体の管理体制について

（1） 管理体制について

4 個人情報保護についての措置

具体的な個人情報保護についての措置

個人情報利用目的の明示

- 個人情報を収集する際は、利用者に対して利用目的（収集目的）を明示し、目的以外には利用しないことを説明した上で、本人の同意のもと収集します。

個人情報の定期的な棚卸実施で管理方法の改善を実施

- 個人情報の管理について「棚卸しチェックシート」による点検を定期的に実施し、管理方法の改善や使用予定のない情報を削除します。

棚卸による点検と情報整理の流れ

「棚卸しチェックシート」による自主点検の実施
・システムでの管理 ・ファイルデータでの管理
・紙・外部記憶媒体での管理 ・PC 内データ管理

↓

本部情報セキュリティ部門へ提出
・内容確認（記載内容に応じて現地確認）および
アドバイスの実施

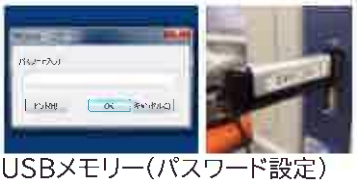
↓

情報整理
・管理方法の改善策実施
・使用予定のない情報を削除

区分	質問項目	確認
システム管理	①ひとつの ID を複数人で使用	□
	②パスワードの設定	□
	③容易に推測できるパスワードを使用	□
	④ID、パスワードを記録したメモの貼付	□
	⑤定期的なパスワードの変更	□
ファイルデータ	①保管期限の設定	□
	②保管期限を過ぎた個人情報の削除	□
	③保管ファイルへのパスワード設定	□
	④アクセス制限（人数3人まで）	□
	⑤異動者・担当外へのアクセス権	□
	⑥専用保管 DB 以外への保管	□
	⑦個人情報データ件数の把握	□

情報機器使用時の個人情報漏えい防止対策

- パソコン等の情報機器の施設外持ち出しは禁止します。またUSBメモリー等の外部記憶媒体の書き込みが出来ないように「デバイスロック」を施し、パスワードも随時変更します。
- 不正ソフトウェア対策としてウイルス対策ソフトを導入するとともに業務に必要のないアプリのインストールはできない仕組みをとります。



USBメモリー（パスワード設定）

個人情報文書の施錠管理

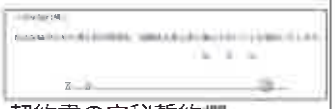
- 利用申請書等の保存期限が設定されている書類は、行政文書管理規定に基づき一定期間施錠保管します。
- また、その他の保存期間が定められていない文書は、電話受付メモ等を含めて個人情報が記載されたものは、全てシュレッダーで廃棄処分します。



個人情報の施錠管理

スタッフや外部講師への守秘義務誓約の取得

- 各スタッフの雇用契約書に個人情報保護を遵守し、雇用期間中はもちろん、退職後も守秘義務を全うすることを明記し、守秘署名を取得します。
- また一部の外部講師は個人情報を知りえるため、外部講師に関しても、個人情報守秘義務の制約を取得します。



契約書の守秘誓約欄

個人情報保護徹底の為の教育の徹底

- 定期的に個人情報取り扱いに関する研修を実施し、関係法令や具体的な管理マニュアルをスタッフ一同理解し遵守させます。下記は、情報漏洩を未然に防ぐ為のスタッフへの研修教育計画です。

教育の手法	内容・頻度
個人情報保護・情報セキュリティ研修の実施	本施設における年間研修に個人情報保護教育についてスケジューリングし、従事スタッフに教育を実施しています。 【頻度】 年１回・新規採用時は随時
個人情報取扱教育（オンライン教育）	当グループが独自に整備している個人情報保護教育 DVD を日常的にスタッフが視聴することにより重要性と管理方法を意識付けています。 【頻度】随時オンライン教育の中で配信
ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）教育	SNS の普及に伴う従業員の不適切な投稿や個人情報の流出等を防止するため、教育を実施しています。※短期雇用スタッフについても全員 【頻度】随時オンライン教育の中で配信
巡回チェック・内部監査時の指導	代表企業の施設巡回、および内部監査時に個人情報保護についてもチェックを実施。必要に応じて点検者が改善指示、指導しています。 【頻度】 随時

（3） 公園全体の管理体制について

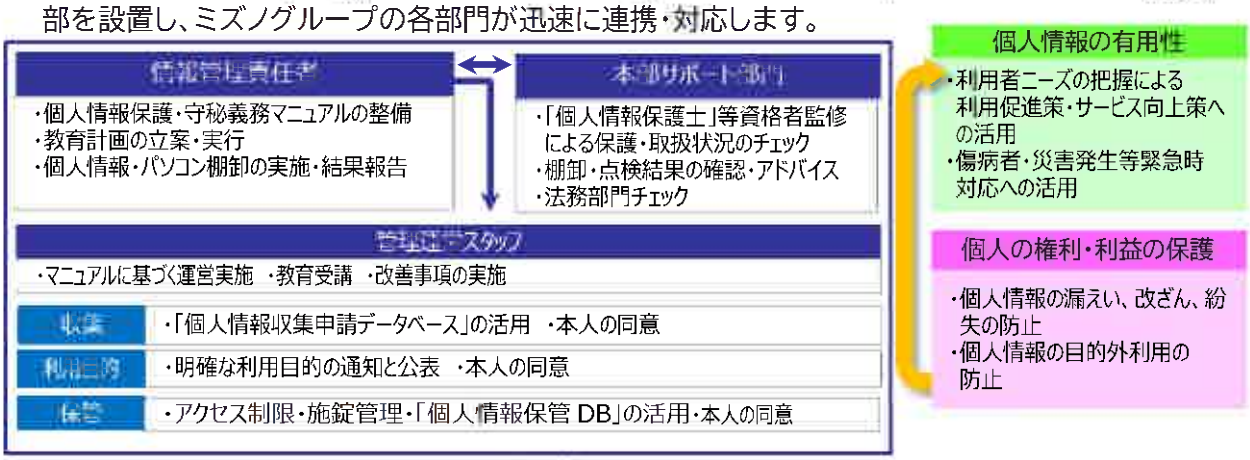
（1） 管理体制について

4 個人情報保護についての措置

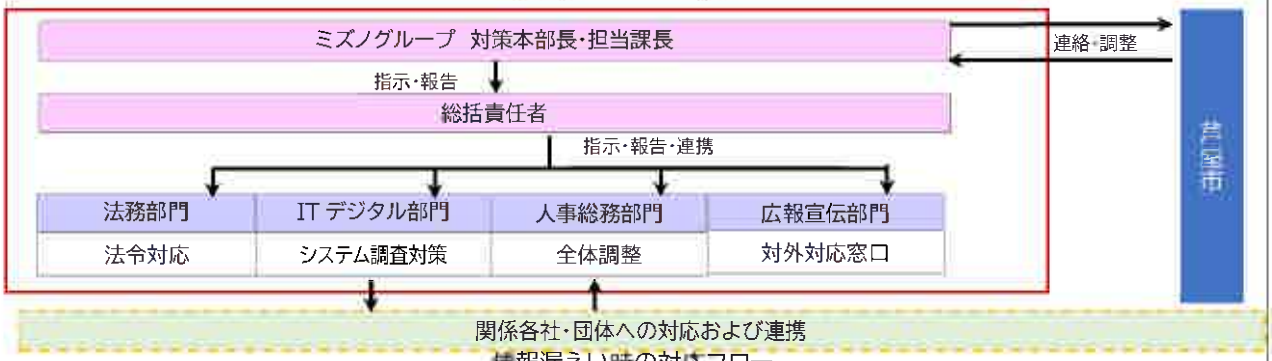
個人情報保護体制

情報管理責任者を選任し本部サポート部門と連携した個人情報保護体制を構築

- 情報に関するリスクマネジメントと教育推進を行う『情報管理責任者』を選任（総括責任者が兼務）し日常的にスタッフへの教育・啓蒙、リスクへの適切な対応を行います。
- また、グループ本部「個人情報保護士」等の資格者監修のもと、情報管理について定期的にチェックする体制です。
- 万が一、重大な個人情報漏えいが発生した場合、総括責任者を中心に情報セキュリティ緊急対策本部を設置し、ミズノグループの各部門が迅速に連携・対応します。



個人情報保護体制図



情報漏えい時の対応フロー

情報セキュリティ緊急対策本部の設置

- 本施設において重大な個人情報漏えいが発生した場合、総括責任者を中心に情報セキュリティ緊急対策本部を設置し、グループ各社の本部各専門部門が迅速に連携・対応し、問題の解決をサポートします。

各部門の支援・対応	
法務部門	顧問弁護士とも相談し法的な手続きを推進
IT デジタル部門	システム上の不備など調査を進め対応
人事総務部門	支配人及び担当部署より情報を入手し、全体調整
広報宣伝部門	マスコミ対応をサポート

プライバシーポリシー運用で徹底管理

- 当グループでは、プライバシーマークの管理基準と同等の個人情報管理基準とプライバシーポリシーでの運用を行っており、本施設においても万全の体制を構築します。

個人情報保護保険への加入

- 個人情報が漏えいした場合、責任を持って対応できるようにするため以下の保険に加入します。

保険種目	保険金額	補償内容
サイバーリスク・情報漏えい保険	10億円（限度額）/1事故あたり	個人情報が漏洩した際に法律上の損害賠償責任を負担することによって被る被害と事故対応のために支出した費用

（3） 公園全体の管理体制について

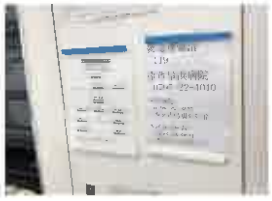
（2） 緊急時の対応について

1 事故発生時の対応

緊急応対について

災害・事故発生時の対応

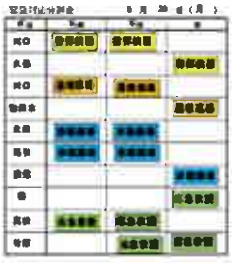
- 災害や事故が発生した場合、総括責任者（防火管理者）の指示・命令のもと、現地・本部（ミズノ本社）一体で事態収拾を図り、所管課及び関連機関（警察・消防・病院・インフラ関連）との連携・調整を行い、迅速に対応します。
- また芦屋市の防災安全課と、災害時における公園の用地使用に関する覚書を交わしており、自衛隊の野営地、物資集積拠点、ヘリコプターの臨時離着陸場所として使用していただきます。



事務所内掲示の
緊急時の連絡網等

毎日の緊急対応分担の明確化

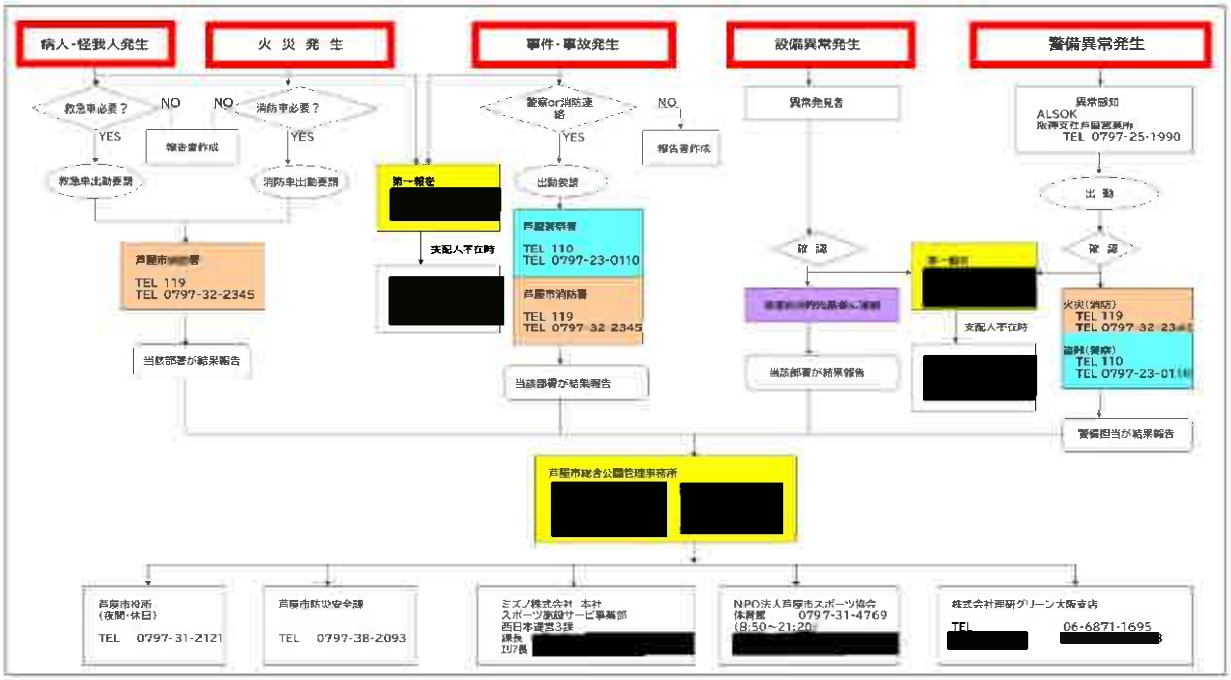
- 緊急時には、まず初動は当日出勤しているスタッフでの対応が求められます。
- 当日の出勤者の中で、時間帯ごとに指揮統括者・通報連絡担当・避難誘導担当・応急救護担当を明確にし、万が一の事態に迅速に対応が出来るよう備えます。



緊急対応分担表

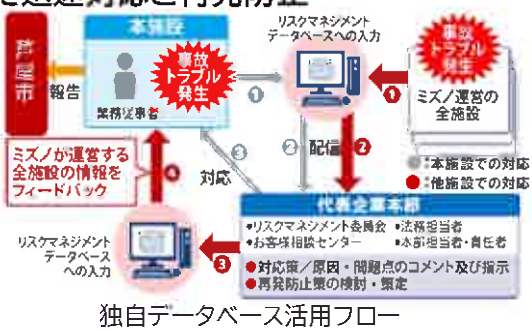
緊急時対応フローに沿った迅速対応と市への報告・連絡・相談

- 万が一の事故発生時には、利用者の安全確保、被害の拡大防止や関係各署への連絡等に迅速に対応できるよう、連絡体制を確立し、日常的に事務所に掲示、研修等にも活用し、周知しています。
- 情報の変更があった際は、随時見直しを図り、適切な行動ができるように努めます。



独自のリスクマネジメントデータベースを活用した迅速対応と再発防止

- 当グループでは、多種多様なスポーツ施設運営を通じて、日々発生する**事故・トラブル報告情報をデータベース化**、共有しています。
- 全国の運営施設での参考、対応事例をリアルタイムで共有し、本部関係部署からのアドバイスをもとに、迅速に現場での対応を行います。
- また、リスクの原因や事後の再発防止策も本データベースにて記録、共有します。



独自データベース活用フロー

（3） 公園全体の管理体制について

（2） 緊急時の対応について

2 災害発生時の対応

災害が発生した場合の緊急時バックアップ体制

自然災害発生時の初動対応

- 火災や大規模な地震発生時は、利用者への安全を最優先に避難誘導をおこないます。
- 本公園は総合防災公園に位置づけられ、大雨、洪水の際の避難所として指定されているため、**「芦屋市地域防災計画・芦屋市水防計画」**に基づいて前述の緊急時体制を敷き、迅速に対応します。

天災の種類	対応方法
火事	■消火器、作業道具（ホウキ、消火用バケツなど）を常設し、初期消火に備えます。 ■火事発生時は「手引き」に沿って消火活動と利用者の避難誘導を実施します。
大雨 雷 台風	■事前に警報などの情報を確認し、看板、案内板などの補強や館内への避難を実施します。 ■警報発令時は、利用者に対して台風接近の情報を伝え、帰宅を勧めます。 ■台風発生後は被害状況を確認、市に報告し、修繕が必要な場合は早急に対応します。
地震	■施設放送で状況を伝えるとともに、利用者を安全な場所に避難誘導します。 ■怪我人等が発見された場合は「危機管理マニュアル」、「緊急時対応の手引き」に基づき、速やかに応急手当や救急車の手配を行います。 ■地震発生後は建物の破損状況や施設の被害状況を確認し、市に報告するとともに修繕が必要な場合は早急に対応します。
大規模 地震	■大規模地震の場合は、上記の対応の他、本部や市と連携した対応を行います ■震度5強以上の地震時には、必要に応じてスタッフを参集し、災害対応に従事します。

災害発生時の臨時休場や情報発信

- 台風、大雨等による異常気象及び地震災害のため、利用者の安全が確保されない場合は、市と協議の上「休園措置」を実施します。
- 臨時休園をする場合、ホームページ、SNS 等への迅速な掲載により、できるだけ短時間で多くの方に情報を伝達するように努め、当日にプログラム等の予約がある利用者には優先的に電話連絡等を実施します。



ホームページでの休館のお知らせ(例)

エリアマネージャーや本部の業務経験スタッフが現場業務を補完

- 当グループは、全構成員が30年以上施設の運営や管理に関する事業を実施しており、本部には現場経験者も多数在籍し、緊急時に即戦力として対応できる体制があります。
- 特にミズノスポーツサービスでは、現場責任者を除き、本部のマネジメント人員全員が運営施設責任者を経験した者で構成しています。
- 緊急時には、まずエリア担当等が即座に応援に駆けつけ、現場業務を補完し、必要に応じて大阪本社所属の関係100名のスタッフの応援体制で、迅速に事態の収束や復旧、運営の再開等を図ります。

■当グループ本部のバックアップ体制の例 （令和6年度組織体制に基づく体制：現場スタッフを除く）

部門			緊急時バックアップ内容	対応可能数
ミズノ	管轄部門（運営部）	運営担当	●現場実務補完や統括責任者代行	大阪本社所属： 15人
		管理担当	●人的サポート	大阪本社所属： 15人
	関連部門（事業部）	ファシリティ担当	●人的サポート ●有資格者等技術的サポート	大阪本社所属： 10人
		その他担当	●人的サポート	大阪本社所属： 25人
	他部門	ウェア・用品等担当	●人的サポート	必要に応じて対応
	グループ会社	ミズノスポーツサービス	●人的・物的サポート	大阪本社所属： 15人
		セノー㈱	●人的サポート ●有資格者等技術的サポート	大阪本社所属： 20人
芦屋市スポーツ協会			●人的サポート	協会本部 ： 10人
理研グリーン			●現場作業サポート	大阪事業所 ： 5人 協力企業 ： 5人
			即時対応可能な本部等スタッフ	計 100 名以上

（3） 公園全体の管理体制について

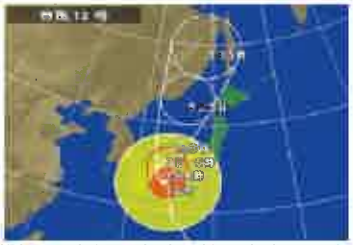
（2） 緊急時の対応について

3 災害の種類に応じた個別の管理計画

自然災害や事件事故等への具体的な対応計画

警報・注意報等の発令時対応

- 台風など災害発生が予想される時には、常にテレビ・インターネット・ラジオ等による警報・注意報等の発令情報を収集し、施設利用制限も予見回避の観点で対応します。
- 学校の休校時や、警報発令時点で開催を中止する基準を設け、子ども対象教室は、中止連絡や、既に施設に到着した子どもについては保護者への連絡をする等、安全に留意し対応します。



警報・注意報発令時は特に安全に配慮

グループ本部の豊富な人材によるバックアップで様々なリスクに対応

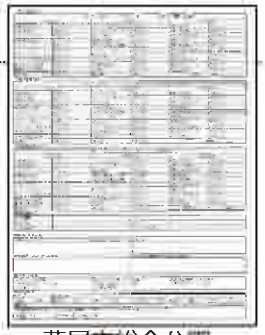
- 施設運営事業を全国展開するミズノでは、様々なリスクにも対応するため、各種専門部門と連携したバックアップ体制を構築しています。

担当部門	バックアップ内容
法務部	●法律や社内規則に照らした対応サポート
広報宣伝部門	●マスコミ対応サポート
人事総務部	●労働法規等に照らしたサポート
経理財務部	●会計基準に照らしたサポート
品質保証部	●苦情等24時間受付体制

安全安心な管理体制について

予防保全の徹底

- 総括責任者兼維持管理責任者を安全管理責任者として任命し、本施設内の「安全管理組織」を設置し、毎日の朝礼や危険予知ミーティング・作業打合せ等を通して、発生しうるリスクを全て洗い出します。
- 他施設での事例や対策等がデータベース化されたリスクマネジメントデータベースを活用し、スタッフ全員が情報を共有することで、本施設の安全対策に万全を期します。



芦屋市総合公園
日常管理日報（巡回報告）

日常点検と巡回の徹底

- 日々の点検、巡回を通して、**危険箇所の早期発見**に努めます。（遊具の自己点検を毎週実施）
- 各施設、設備の異常箇所については、チェックリストを活用することで、全スタッフに周知し、事故の未然防止や危険箇所への立入り禁止措置等、全スタッフで取り組みます。
- **スタッフのグループLINEで状況の共有化を行っています。**

【取り組み内容】

●施設や競技備品等の利用前後の点検・遊具点検

●巡回による、不具合や危険箇所の有無の確認

●AEDの必要箇所への配置と点検



巡回・点検の徹底



AEDの点検

安全管理マニュアルの随時見直し

- 近年地震や台風、大雨や津波等の大規模な災害が多発しています。管理者として普段から防災意識を高めておくことが重要です。
- ミズノグループで運用している類似施設のマニュアルを融合し、本公園の安全管理マニュアルを再整備します。



マニュアルの整備

災害・事故に対応するための研修や救命実技チェック

- 全スタッフに普通救命救急講習の受講を義務付け、定期的にCPR（心肺蘇生法）やAED（自動体外式除細動器）など操作方法などを日常的に実技チェックを行い、傷病者発生時に、適切に対応できるよう準備します。



CPR＆AED研修

（4） 公園施設の維持管理について

（1） 施設管理の基本事項について

1 管理の基本的な考え方

本施設の現状や課題を踏まえた管理

- 管理者として各施設の特性や課題を認識しており、課題への対策を継続的に行います。

	施設	施設特性と現状利用動向	課題と対策
園路・広場	園路 	約10ヘクタールの広い公園には芝生広場、遊具広場、野外ステージ、ビオトープ、せせらぎの川が配置され、各スペースに導くよう園路が配置されている。 小さなお子様から高齢の方々までが遊び、スポーツ、散歩を楽しむ。	［課題］ ●犬を散歩される方が時折リードを離している光景を目にする。フンの放置目立つ。 ●ロングリードを付けて犬を散歩される方も増え、他の通行者とのトラブル事例あり。 ●春から夏にかけカラスが多く集まり、繁殖期には人を攻撃する危険性がある。 ［対策］ ① 看板、POPの再整備による飼い主様への注意喚起強化 ➡P.34参照 ② 巡回時等での来園者への声掛け強化 ➡P.34、38参照
	花壇 	PMOあしや様が丹精込めて手入れされ、四季折々の草花を鑑賞することが可能。 2023年度はオープンガーデンのコミュニティ部門で銀賞を受賞。	［課題］ ●ガーデン部が周辺の木々により日当たり不足。 ●園路から見える正面部分以外への来園者が少ない。 ［対策］ ①ガーデン部の日照を改善し、古い樹木等の植替えを実施。 ➡P.41参照 ②花壇奥の部分にも来園してもらえるよう広報強化（HP・SNSで園内植物の広報） ➡P.40、61参照 ③ 未詳の樹木の整理・処理
	芝生広場 	グラウンド横に位置し園児の運動会、レクリエーション、ボールスポーツ、かけっこ等色々な事に多目的に利用される。 春と秋にはフリーマーケットも開催され、花火大会時には市民広場に様変わりする。	［課題］ ●来園者が多い土日祝日に、実質的に団体スポーツで専用利用してしまうことがある。 ［対策］ ①市と連携し、土日祝日の団体利用の抑制に協力を依頼するとともに、一般利用者にも、上手にシェアしながら楽しんでいただくよう、混雑時は、声掛けや放送等を強化。 ②手ぶらで来園された方向けへのボール等の貸出対応実施。令和8年度は更に充実へ。
	ビオトープ池 	遊具広場の西隣りに位置し、色々な生物が生息し、生物観察に適したエリア。 植物も季節によっていろいろなものがみられる。	［課題］ ●特定外来生物（ウシガエル）が住み着き、繁殖を始めた。 ［対策］ ①ウシガエルの生息状況を考慮し池の泥の除去しながら順次、駆除と生物調査を進める。 ➡P.36参照 ビオトープの掃除・泥除去の効果あり。

（4） 公園施設の維持管理について

（1） 施設管理の基本事項について

1 管理の基本的な考え方

本施設の現状や課題を踏まえた管理

	施設	施設特性と現状利用動向	課題と対策
遊戯施設	遊具広場 	駐車場から近く、東屋、水飲み場、足洗い場も完備されており、特に休日は、簡易テント等を張り利用される親子連れで賑わう。 平日は、健康遊具で毎日運動される高齢者も多数。	［課題］ ●利用により地面が削れ、水たまりが発生しやすい状況。 ［対策］ ① 状況に応じて土入れ、地面ならしを実施し安全・安心に遊具利用できるように努める。 ⇒令和6年度2度対策実施 ⇒令和7年度1度対策実施
便益施設	便所 	利用者・来園者の多い北駐車場横、遊具広場、東西駐車場、事務所内にある。 各トイレに多目的トイレが1室併設。	［課題］ ●便所へのイタズラ（つまり、落書き等）。 ［対策］ ①巡回、掃除、随時のチェックを徹底し、早期発見・早期対応。 ➡P.31、34参照
管理施設	管理事務所 	グラウンド東側にある平屋の建物。有料施設・BBQの受付及び各種教室の案内も実施。	［課題］ ●有料施設の支払いが現金のみのため、キャッシュレス支払いの要望多数。 ［対策］ ① 令和6年度は、PayPay支払いでのキャッシュレス決裁を導入。 ➡P.63参照 ⇒2024年度利用金額 約78万円見込 ⇒2024年度利用金額 約300万円見込
	緑の相談所  利用件数 実績 2020年 198件 / 2021年 243件 / 2022年 232件 / 2023年 213件 / 2024年 184件	土日祝日の13時30分～16時30分の間に緑化の知識や経験を有した相談員が市民に対し、「緑」に関する相談に対応。 対面のほか、電話でも対応（2026年度も100回強開催予定）。	［課題］ ●毎週実施しているが、利用者数が伸び悩んでいる。 ［対策］ ①ホームページを刷新するとともに、SNSを活用し、公園およびイベント等の情報をタイムリーに発信することで、公園の活動をアピールし、利用促進。 ➡P.62、66参照

（4） 公園施設の維持管理について

（1） 施設管理の基本事項について

1 管理の基本的な考え方

本施設の現状や課題を踏まえた管理

	施設	施設特性と現状利用動向	課題と対策
潮芦屋緑地・ビーチ・南護岸	潮芦屋緑地 バーベキュー場  利用件数 実績 2020年 731件 / 2021年 0件 / 2022年 943件 / 2023年 1384件 / 2024年 1248件	目の前にビーチが広がりロケーションが非常にいいバーベキューコーナー。 行楽シーズンは多くのお客様で賑わう公園の人気エリア。	［課題］ ●備品（BBQコンロ、炭、タープ等）のレンタルを要望される意見あり。 ●テーブル・ベンチ付きスペースの要望が多いが設置数が少ない。 ［対策］ ① 快適に過ごすためのタープやテントなどのレンタル品を充実。 ⇒令和8年度からタープ貸出しスタート ➡P.59参照 ② スペースを考慮しながら、常設テーブル等の設備追加を検討。（9年度以降計画） ➡P.95参照
	潮芦屋ビーチ 	大阪湾を一望できる公園の南側に位置し、自然と親しむことができる。 ビーチ東南端には磯広場もあり色々な海の生物を観察する事が可能（遊泳は禁止）。 7月末には花火大会の会場となり、芦屋市民のみならず関西エリアから多数来場がある。	［課題］ ●遊泳禁止のビーチだが夏季の土日は遊泳行為を行う方がおり、危険。 ●高潮・満潮・台風等の季節風の影響で多くの漂流物がビーチに打ち上がる。 ［対策］ ①注意喚起のサインボード・POP掲出を見直すとともに、巡回スタッフや、バーベキュー場受付スタッフとも連携して遊泳禁止の啓発活動を強化。 ➡P.34参照 ②日曜日にボランティアでビーチ清掃を実施されている芦屋ビーチクラブと連携して清掃活動を継続。 ➡P.67参照 ③ 流物の状況によりシルバー人材センター等への委託により、清掃作業を実施。 ⇒2024年度1回業者清掃実施 ⇒2025年度は台風被害なしで未実施 ➡P.39参照
	南護岸・南緑地 	地域住民が日常的にウォーキングやランニングを楽しまれている。 自動車で訪れ、釣りを楽しむ方もある人気のエリア。	［課題］ ●ゴミの放置。 ●禁止行為（スケートボード）。 ［対策］ ①1日3回以上の巡回を適切に実施し、安全管理、衛生管理を継続。 ➡P.31参照 2. 注意POPの設置 ➡P.34参照 ⇒2025年度ゴミ及び禁止行為大幅減少

（4） 公園施設の維持管理について

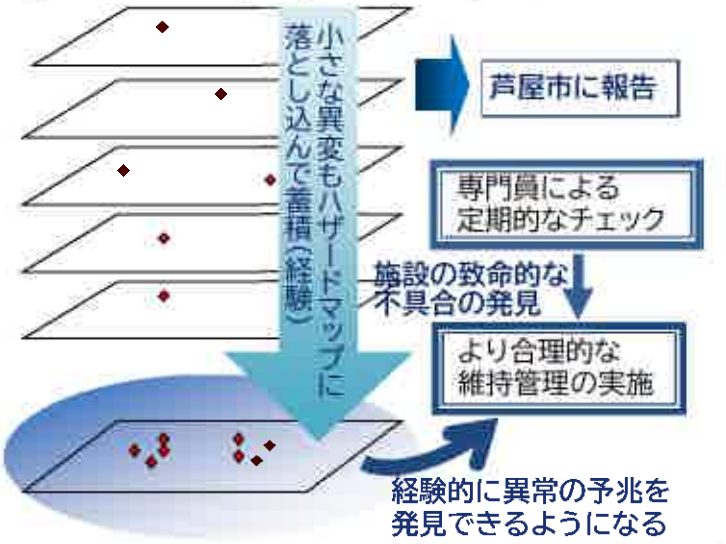
（1） 施設管理の基本事項について

1 管理の基本的な考え方

維持管理業務の実施に係る基本的な考え方

施設状態と利用動向に基づく業務仕様書以上の対応による安全性・快適性の維持向上

- 業務仕様書に則り、法定点検（空調設備、消防設備、電気設備等）や保全業務を、年間維持管理計画を作成し、適切に実施するとともに、点検記録、作業日誌、修繕記録は確実に作成、常備し、年間の業務報告書として市に提出します。
- また、状態の悪い箇所は、重点的に点検を実施し、不具合のある器具は、直ちに使用中止とし利用者の安全確保と必要に応じて補修・修繕を行います。
- 加えて、屋内外の施設を有する本公園においては、竣工20年以上が経過し、各施設の特性、老朽化・消耗度合いに応じた維持管理を行う必要があるため、発生した異変への対応に加え、修繕履歴や点検結果等のデータを蓄積し、将来の異常の予知や長寿命化を図るための予防保全に活かします。

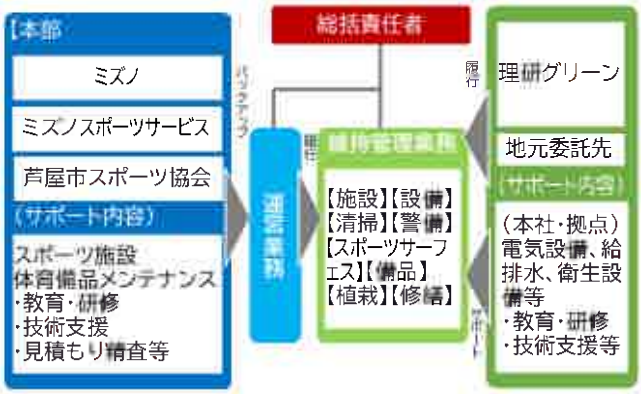


2 常駐の強みを活かした具体的な提案

総合的な維持管理体制の構築

現場と専門員が連携しグループ一体となった万全の維持管理体制により業務履行

- 利用者の安全・安心を確保するため、施設・設備の状況を熟知した現場スタッフと理研グリーン専門員、並びに専門ノウハウを有する委託業者が連携して維持管理業務を履行します。
- 現地スタッフで対応が難しい専門的、もしくは緊急対応、中長期的な視点での修繕計画等は、本部サポートチームも加え対応を行います。
- ミズノの天然芝や人工芝グラウンド等のスポーツ施設施工や維持管理ノウハウも活用し、継続的な効率的・効果的管理への改善を図ります。



【施設・設備・備品の維持管理体制】

独自リスクマネジメントデータベースによる事例活用のリスクの未然防止

- 当グループが全国の管理運営から蓄積した事故・トラブル（犯罪や自然災害等含む）の事例データベースを構築しており、維持管理面においても、事例活用による、リスクの未然防止を図ることが可能です。
- また、本システムは、報告書の登録と同時にグループ本部の複数の専門員に同時配信されるため、リアルタイムでサポートが受けられます。



【独自のリスクマネジメントシステムの運用】

（4） 公園施設の維持管理について

（1） 施設管理の基本事項について

2 常駐の強みを活かした具体的な提案

利用者の安全性・快適性を追求する維持管理方策

全員が危機管理意識をもって巡回点検、異常を早期発見

- 当グループは、チェックリストを用いた日々の巡回点検（園内・潮芦屋緑地：2回/日、南護岸・南緑地：3回/日）を基本に、防犯カメラも活用し、スタッフ全員の目で施設の状態確認、異常の早期発見に取組みます。
- 巡回の札をつけた車両や自転車等により園内を巡回し、本公園利用者へ日頃から挨拶等の声かけを行うことで、利用者と顔なじみとなり、危険行為や、犬の放し飼い、マナー違反などの情報もいただくことで、本公園のリスク管理にも活かしています。



園内の巡回点検を徹底

清掃を徹底し、いつでも清潔で気持ちよい環境を提供、リピーターを獲得

- トイレは毎日チェックし、トイレットペーパーの補充やゴミの回収等をこまめに行い、必要に応じて随時清掃を実施します。
- 行楽シーズンや荒天候時には清掃実施回数を増やして、常に清潔さが保たれるようにします。
- ごみの持ち帰り運動を推進し、いたずら書き・ポイ捨て（特に自動販売機まわり）にも迅速な対応を図ります。
- 巡回時はゴミ袋を携帯しこまめなゴミ拾いを行い、いつでも快適に利用できるよう清潔な環境づくりに努めます。
  ・トイレ清掃回数：園内/週３回　潮芦屋緑地/週3回



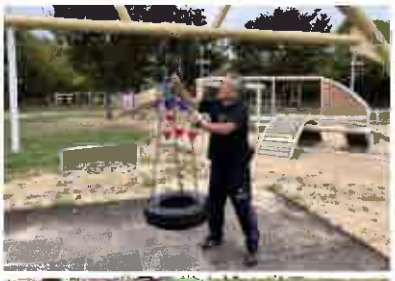
トイレ清掃の様子

子どもたちが安全安心に遊べるように遊具整備

- 当グループは、「遊具点検マニュアル」を整備し、チェックリストに従い、巡回目視点検を毎日実施し、スタッフによる触診・打診・利用点検は週1回実施します。
- 軽微な異常も即時対応し、情報はスタッフ間で共有し、利用上の注意事項は利用者へ掲示等で注意喚起します。
- 必要な許認可・資格等をもつ企業へ委託し、年1回の定期点検を実施し、点検結果は、市へ報告します。（市実施の場合あり）

植栽・植木の専門スタッフが年間を通じてこまめに管理

- 「気持ちの良い公園」を目指し、日常的に専門スタッフが訪問し、こまめな植栽・樹木管理を行います。
- 本公園のサクラは多くの方が開花を楽しみにされており、美しく開花させるためには日常観察による管理を必要とするため、夏場は特に水切れに注意した灌水作業を行います。
- 花付きの悪いサクラは冬期に施肥を行い、場合によっては活力剤の樹幹注入を行います。
- 松林は松くい虫被害は出ていませんが日常観察による管理を行い、冬期は下枝が枯れ見苦しくなるため早急に撤去し景観維持に努めています。
- その他、日常観察による管理により毎年発生する害虫を初期段階で駆除し、薬剤散布の頻度を少なくするよう努めます。
- 芝刈や除草は、早めに施工を行います。
- クビアカツヤカミキリ発生の有無点検実施（今年度も継続）
- 西側松林の剪定実施予定





毎年美しく開花させるサクラの管理



日常観察により異常を早期発見・早期対応

（4） 公園施設の維持管理について

（1） 施設管理の基本事項について

3 公園が季節ごとに表情を変える工夫

公園内での季節ごとの魅力の作り方について

季節に合わせた園芸講習等の年間スケジュールを作成、情報発信

- 本公園での二十四節期に合わせた年中行事や園芸講習等を、一目で分かるようにスケジュール表として作成し、ホームページ等で案内をしていきます。

	4月		5月		6月		7月	
二十四節期	清明	穀雨	立夏	小満	芒種	夏至	小暑	大暑
年中行事トピックス	・ﾃｨﾗﾉｻｳﾙｽ ・桜の見頃		・春の園遊会 ・バラの見頃		・ビーチクリーン ・芝生トランジション		・七夕	
園芸講習	・楽しい園芸鋼材 ・イースターアレンジ ・春の花一杯の寄せ植え ・しょうぶアレンジ		・八重咲ユリのアレンジ ・観葉植物で作るﾊﾝｷﾞﾝｸﾞ ・初夏を彩るｺﾝﾃﾅｶﾞｰﾃﾞﾝ ・野菜を育てよう		・ガジュマルを育てよう ・ハイビスカスを育てよう ・バラの育て方 ・観葉植物の寄せ植え		・青いバラのﾃﾗﾘｭｳﾑ作り ・お供えアレンジ ・夏の寄せ植え ・野菜を育てよう	






	8月		9月		10月		11月	
二十四節期	立秋	処暑	白露	秋分	寒露	寒霜	立冬	小雪
年中行事トピックス	・サマーカーニバル ・星空映画会		・アクアスロン大会 ・ビーチフェスタ ：ビーチクリーン		・オータムフェスタ ・バラの見頃 ・芝生オーバーシード		・リレーマラソン	
園芸講習	・エアープランツアレンジ ・ミニ観葉 ・ハーブを楽しもう ・野菜を育てよう		・寄せ苔玉作り ・ドライアジサイのリース ・秋の寄せ植え ・楽しい園芸講座ハーブ		・カボチャのランタン作り ・千日紅のリース作り ・マリーゴールドの花染め ・春咲き球根の寄植え		・しめ縄かざり ・クリスマスリース作り ・クリスマスのコンテナ飾り ・新年を飾る寄せ植え	

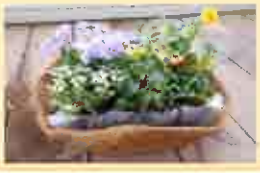






	12月		1月		2月		3月	
二十四節期	大雪	冬至	小寒	大寒	立春	雨水	啓蟄	春分
年中行事トピックス	・クリスマス ・餅つき大会		・初日の出 ・お正月		・節分 ・蝋梅開花		・ひなまつり ・公園樹の芽吹き ・桜開花	
園芸講習	・猫の七福神のお正月飾り ・シクラメンウエルカムガーデン ・クリスマスコンテナガーデン ・新年を飾る寄せ植え		・球根花のアレンジ ・エアープランツテラリューム作り ・早春のコンテナガーデン		・おひな様飾り ・クリスマスローズの寄せ植え ・ひだまりで育てる寄せ植え ・野菜を育てよう		・春の花のアレンジ ・ユーカリのリース ・ブリザのバラのアレンジ ・花いっぱい春の寄植え	






（4） 公園施設の維持管理について

（1） 施設管理の基本事項について

3 公園が季節ごとに表情を変える工夫

公園内での季節ごとの魅力の作り方について

園内の木々、草花の情報発信について

- 四季の魅力の発信についても、『木々・草花の暦（こよみ）』として、ホームページ等で季節に合わせて積極的に情報発信していく計画です。以下は、ホームページ・SNS掲載予定です。

春（3月～5月）



- 春は全ての生物が活気を取り戻します。
- 樹液が動き、芽吹き、開花など1年に向けて始動し、本公園の高木の大半を占める落葉樹の葉も大きく開きます。
- 花壇ではチューリップ、ガーベラ、矢車草など。バラ園でも春先の大輪の花が色とりどりに咲き誇ります。
- モクレン、ツツジ、ユキヤナギが咲き、何よりも多くの人が待ちのぞんでいる230本からのサクラ（ソメイヨシノ、ヤマザクラ、オオシマザクラ、サトザクラ等）が開花します。
- サクラの管理は、開花時の花数や、展葉後の葉の大小などのチェックから始めます。
- カンナ、グラジオラスなどの夏咲き球根の植付けもこの時期です。

夏（6月～8月）



- 夏の魅力は、公園の中を駆け巡る子ども達の喚声と青々と繁った葉が作り出す緑陰、そしてセミの鳴き声です。
- 芝生グラウンドは、サッカー・ラグビー等球技用ですが、園路周辺・芝生広場・ビオトープ池まわり等の草地は子ども達や家族連れがボール遊びや鬼ごっこに興じる場所としても活用できるよう短く刈り込みます。
- 木々の多い法面は草丈を長めに管理し、虫取りやセミ取りの場としても活用いただけます。
- 6月に入るとすぐに夏・秋の草花の植付けを開始します。
- この時期は十分な水やりが、植物の生育のキーポイントとなり、サルスベリ、アメリカデイゴが夏色を演出します。

秋（9月～11月）



- 夏の間に十分な水と光を受けた落葉樹は緑から赤色、黄色へと衣替えします。
- 低く刈り込まれた芝生広場や草地には秋空の下、園児たちが遠足や運動会で訪れ、お弁当を食べたり寝転んだりと秋の1日を楽しみます。
- 休日には、親子でドングリなどの木の実を探す光景も目にします。
- グラウンドの芝生はオーバーシードされ、10月後半には生え揃った冬芝の上で開催されるオータムフェスタでは、多くの方が新芝を満喫します。
- キンモクセイが咲き強い香りを放ちます。11 月に入ると来春に向けての花苗の植付けと春咲き球根の植付けを行います。

冬（12月～2月）



- 12月は落葉した葉の清掃が日課となります。
- 集めた落ち葉の一部はリサイクル施設へ運びます。
- 本公園は落葉樹が多く、裸梢が朝日や夕日を受けて美しく映えます。
- 芝生グラウンドは、冬期はサッカー・ラグビー共に本番となり、大人や子ども達の元気な声が聞こえます。
- この時期は、クリスマス・お正月に向けてのリース作り講習会で、公園の木の実が活躍します。子どもたちが楽しそうにドングリ拾いを行います。
- 木々の剪定は主にこの時期に行います。新しい枝の伸長を促す大切な作業です。
- バラも強剪定を行い、春の開花を待ちます。樹木への施肥はこの時期です。
- 冬は春を迎えるための大切な準備期間です。

（4） 公園施設の維持管理について

（2） 不法行為等への取組について

1 違法駐車への具体的な対策

季節や来園者の動向に合わせた適切な運営管理

行楽シーズンやイベント時に誘導員を配置しトラブルを未然防止

- ゴールデンウィークや大規模なイベント時には、駐車場の空き待ちや、車道への違法駐車が発生し、近隣住宅に迷惑がかかる場合があります。
- 改善策として、2か所の駐車場に期間雇用した誘導員を10時～16時まで配置し、車両の整理及び駐停車への警告等を行っています（左折入庫案内、右折入庫禁止声掛け、他駐車場誘導、駐停車禁止声掛け等）。
- 公園と住宅街に面した道路のスムーズな通行に効果が上がっているため、この取組みは次期も継続します。



入庫待ちが発生している状態



混雑時の誘導員配置

ホームページや SNS 等を活用した情報発信の強化で混雑防止

- WEB を活用し、車での来場に関する注意喚起や、公共交通機関での来園など、事前のお願いを行うなど情報発信を強化します。
- 本公園のホームページには、予め来園前に駐車場の混雑に関する混雑予報を掲出するほか、SNS を活用し、空いている駐車場への誘導なども実施し、タイムリーな情報発信により、混雑やトラブルの防止に努めます。



ホームページに混雑予報掲出

2 犬の放し飼いへの具体的な対策

来園される誰もが気持ちよく利用できる配慮策

注意喚起 POP、巡回など複合的な手法でマナーアップ

- 犬の散歩者へ放し飼い・フン放置・適切なリード長さを注意喚起するPOPを公園・ビーチ護岸に設置しています。
- また巡回時にも同様の行為を見つけた場合は来園者にお声がけを行い、注意を行っています。



犬の放し飼い注意POP

ホームページへのルール掲載により広域にマナー啓発

- 新しいホームページに、犬の散歩等に関するルール等を掲載し、市外の来園者にも予めご理解いただけるよう努めます。
- 今年度オープンのドッグランを活用して犬のしつけ（マナーアップ）教室等の開催も計画します。



犬のマナーアップイベント

その他園内の利用ルール、禁止事項等対策

命にかかわる禁止事項はあらゆる手段を用いて注意徹底

- その他の禁止・迷惑行為の注意喚起に対しても、園内のサインボードやホームページ等を活用し、利用者にわかりやすくルールを掲出します。
- 監視カメラ、バーベキュー場や巡回のスタッフなどの多くの目で注意を払い、見つけ次第、お声がけや園内放送などの手段で注意します。
- 夏季のビーチ遊泳は、命に係わる行為のため特に注意を払います。



ビーチの遊泳禁止POP

警察や警備会社と連携した警戒警備の強化体制

- これからも、地域自治会や学校、青少年指導員、警察、警備会社と日頃から密に連携を図ることで、地域全体の防犯・警備体制を構築します。
- 不審な行動者、掲示物等あればすぐに警察通報し連携をとります。
- 総括責任者をはじめとした連絡先は、市や警備会社に開示し、休日・夜間時に緊急事態が発生した場合にも備えます。
- 夜間緊急時は、警備会社が1次対応・状況確認を行い、総括責任者に連絡し、状況を判断した後、2次対応の指示等の適切な措置を講じます。



警備会社の巡回（イメージ）

（4） 公園施設の維持管理について

（3） 植栽・樹木等の維持管理について

1 公園の景観づくりの観点からの樹木管理

当グループの樹木管理

- 以下の観点から景観づくりを行い、魅力的な公園を実現します。

ア） 見通しの良い公園を目指します

①公園内の樹林帯（正面入口部分など）の1．5m以下の下枝を撤去し、見通しの良い公園づくりを行います。
②不用な支柱の撤去を行い、スッキリ感を創出します。
③列植されている樹木は、定期的に剪定し全体を整えます。
・北駐車場横のトウカエデ
・管理事務所のシマトネリコ



イ） 安全・安心を確保しながら自然樹形を保つ公園づくりを目指します

①ケヤキなどの高木は枯枝の落下が事故につながるので高所作業車を用いて定期的に枯枝処理を行い、枝抜き等を実施して、自然樹形を保ちます。
②年1回は樹木医と共に毎木調査を実施し腐朽木・枝などの危険箇所のチェックに努めます。



ウ） 公園の景観木「230本余りのサクラ」の保護育成に注力します

①梅雨明け早々からの灌水作業を励行します。
②衰弱木を中心とした寒肥を実施します。
③病害虫の駆除、予防の実施をいたします。
・近隣まで侵入してきているクビアカツヤカミキリの巡回予防
・コスカシバの駆除及び予防（スカシバコン取付）
・モンクロシャテホコなどの早期防除



エ） 松の保護育成により本公園のもう一つの顔をつくります

①松くい虫の発生を早期で抑制します。
・罹患木の即時伐採、焼却および根への薬剤移入を行います。
・広がりが懸念される場合は、市と早急に協議を行います。
②下枝が赤く枯れ景観が悪くなるので毎年冬期に赤枯れした下枝の撤去を行います。





（4） 公園施設の維持管理について

（3） 植栽・樹木等の維持管理について

2 植栽・樹木等の育成管理の基本方針

本公園の植栽・樹木管理に対する当グループの熱い想い

市民が『私たちの公園』と標榜できる植栽メンテナンスサービスの提供

- 芝生化実行委員会との共同で7年前に600本のバラが公園の南側入口に植栽され、四季咲きの美しいバラは本公園に彩りを与えてくれています。
- 今後は、バラ数を更に増やし、市民協働で公園の特色として育てていきます。
- 園芸講習会は、年に70回以上開催し、季節に合わせた寄せ植え、ハンギングバスケット作りなどを行うほか、園内の植物を使った講習会（草木染め、木の実を使ったネイチャークラフト、バラの季節ごとの手入れ、花を使った創作品など）を通して「私たちの公園」という意識を持って頂くように努めます。
- 子どもたちの公園、緑への関心の高揚の取組みとして、近隣の幼稚園等に遠足や運動会、お遊戯会など開催を呼びかけるほか、小中学校には、写生大会などを企画し、優秀作品は管理事務所のロビーに展示するなど、子どもたちとのふれあいを大切にします。



バラ園の育成



園芸講習会

魅力ある資源を守り育てる植栽・樹木管理

- 広大な草地の一部は、ボランティア団体（芦屋市芝生化実行委員会）により芝生化され、親子や子どもたちがサッカーキャッチボールなどを楽しんでいます。
- 今後は、更に芝生化を進め、自由に使える芝生広場を増やし、多くの親子や子どもたちが「行きたい」「遊びたい」と思う公園を目指します。
- ビオトープの池は、木々の生育や、蝶々やトンボも飛び交う観察に申し分ない状態ですが、特定外来生物（ウシガエル等）が生息しているため、水草の根や、富栄養化している泥の除去、生物の選別を行い、固有種の多様化に努めます。
- ビオトープ士による講習会や出張講座、生物調査を近隣学校と行うなど、子どもが生態系に関心を持ち、生き物を大切にする心を養う場にしていきます。
- 芝生グラウンドはサッカーやラグビーの試合が増加する中でも適切な管理により、良好なターフを維持できています。
- 今後は、小さな子どもが素足で走ったり、寝転んだりして遊べる機会を作り、芝生の素晴らしさ、公園の楽しさを幼児期から啓発する取り組みを実施します。



更なる芝生化促進



ビオトープ改善



芝生グラウンドの活用

基本方針

- 当グループは上記を踏まえた上で、基本方針に沿って、植栽・樹木等の育成を行います。

方針①	樹木の特性に合った管理を行います。
方針②	600本余りのバラは人気が高く、専門の講師を招いての講習会の開催やボランティアの方々と共同で四季折々の管理を実施します。令和６年度に更に100株追加植栽。
方針③	ケヤキ等他の高木は下枝の落下を防ぐため、毎年、高所作業車を使って枯枝の撤去に努めます。
方針④	混んだ枝を持つ樹木は通気の観点から剪定します。
方針⑤	病害虫に対する防除は初期での人力防除を主とします。

（4） 公園施設の維持管理について

（3） 植栽・樹木等の維持管理について

3 植栽・樹木等の育成管理の内容

樹木管理のポイント

「樹木医」による適切な樹木診断を年1回実施し利用者の安全を確保

- 年1回の樹木医による定期的な樹木診断を実施し、健全な育成を促すとともに、危険木・落枝等の早期発見に努め、利用者や駐車車両の安全な環境を維持します。
- 下記は、他の類似施設チェックポイント事例です。


ポイント①
生育不良への対策


ポイント②
外周部への対策


ポイント③
越境樹への対策


樹木医による点検（打音点検の様子）

植栽管理のポイント

長期的な視点で健全に育成するための樹木管理を実施

- 公園樹木を健全に育成する管理を行います。なお、衰弱木は樹木医の判断に基づいて処置します。

ア） 剪定作業（冬季）

クロマツ林	密植されており下枝が枯れやすくなるため、定期的に枯下枝の撤去をします。	アメリカデイゴ	2年に1回の割合で強剪定を行います。
シマトネリコ	管理事務所前に列植されているので樹冠が大きくなる前に剪定を行います。	トウカエデ	入口から駐車場前に列植されているトウカエデは「芦屋のみちの木」に記載されている剪定方法で2年に1回の割合で実施します。
その他高木	枝の混んでいる樹木は、病気予防や強風に耐えられるように枝抜きを主として行います。また、巡回車、運搬車などの通行に支障の出る枝、催し物の際のテント張りに支障の出る枝、子ども達の遊びに支障の出そうな枝は、適宜枝払いを行います。		
寄植え・中低木	競技場周囲の生垣は初夏と秋の2回実施し、その他は1回実施します。		

イ） 樹木施肥	高木は、衰弱木に固形肥料、または混合有機肥料を冬季に施用します。 低木は、年1回冬季に化成肥料を100g/㎡程度散布します。
ウ） 病害虫駆除	イラガ、チャドクガなどの有刺昆虫、サクラに発生するモンシロシャチホコ、ボックスウッドに発生するツゲノメイガ等が拡散した場合、市への報告後に安全性の高いスミチオン乳剤などを散布します。 病気は樹木により発生が異なりますので拡散が予測される場合のみ安全性の高い薬剤を市へ報告して使用し、原則は人力防除とします。 松くい虫被害が発生した場合は市へ報告し、少量の場合は伐採、燻蒸処理を行い、拡大が見込まれる場合は市と協議し対処します。  セアカゴケグモ目視点検
エ） 灌水	基本は低木、乾燥害の兆しのある植物を対象としますが、サクラは数も多く本公園の主要木であり、海岸に近いため乾燥害を受けやすく、夏期は必ず灌水が必要になります。そのため早い時期より灌水を行います。
オ） その他	台風、強風後は速やかに散乱枝を取り除き、被害が多い場合は市の指示に従いますが、枝折れは速やかに切り戻しを行い、太枝の場合は癒合剤等を塗布し、防腐処理を施します。 衰弱木が発生し、他にも拡大の恐れがある場合は、樹木医の判断を受け診断内容を市へ報告し、診断内容に基づいた処置を施します。  台風後の散乱枝取り除き

（4） 公園施設の維持管理について

（3） 植栽・樹木等の維持管理について

3 植栽・樹木等の育成管理の内容

植物に関連する公園利用者の安全・安心の確保について

- 危険な生物や、危険の予測される事項は早めに駆除・補修します。

植物や動物（危険生物）によるリスクへの対応方法について

危険生物の種類	対応方法
スズメバチ	速やかに出入り禁止のロープを張り、防護服を着用した従業員が巣を確認し駆除します。ホームページや SNS 等でも注意喚起をします。万が一、危険動物に刺されたり、かまれたりした場合に備えて、ポイズンリムーバーを設置します。 ［捕獲・駆除方法（例）］ 右記のような安全で効果的な捕獲・駆除手法を用います。  ハチを捕獲する罠（イメージ）   ポイズンリムーバー
セアカゴケグモ	月に1回程度、園内の側溝やベンチの下などの生息場所を巡回し、発見しだい駆除します。 
マダニ	発見情報・被害情報があれば、草地や芝生広場等への立ち入りを制限し、市への通報後に殺虫剤を散布します。安全を確保後に制限を解除します。 
メリケントキンソウ（植物）	トゲを持った植物で何にでも刺さります。花が咲いた後（4月から6月中旬）にトゲを持つので、幼植物の出現（10月から4月初旬）に注意し、見つけしだい取り除きます。拡散している場合は、市に報告し、薬剤による駆除を今年度も予定。 
ヒアリ等	外来種であるヒアリ等を発見した場合は、直ちに地方環境事務所に通報します。第一次対応として、熱湯、液剤、ベイト剤による駆除を実施します。 
チャドクガ	幼虫・成虫を問わず毒針毛を有し、風で運ばれることもあるため、直接触れなくても被害にあうことがあります。発生時期には、木の葉に触れないよう掲示するなど注意喚起を行います。 
イラガ	７月から９月にかけて発生するイラガは触れるだけで刺され強い痛みがでます。注意喚起を行うとともに、定期的な駆除を計画して実施します。 
カラス	春から初夏にかけて、園内の高木等に巣をつくったカラスが、卵やヒナを守ろうと巣に近づく人間に威嚇行動をしてくることがあります。 巣を確認した場合には、POP や園内放送を活用した注意喚起を行います。 カラス注意の喚起POPは適所に設置継続  

その他予測されるリスク事項

予測される危険事項	対応方法
ケヤキなどの枯枝処理	特にケヤキは下枝が枯れやすく、知らず知らずのうちに落下します。定期的に高所作業車で枯枝を撤去し、来園者の安全を守ります。
遊具などの故障、破損	定期的な点検だけでなく日々の巡回などで故障や破損が確認できしだい、使用禁止措置や早期補修を行い、安全を確保します。

（4） 公園施設の維持管理について

1 効率的かつスピード感のある補修方針

補修方針

優先順位をつけた迅速対応と長期的な視点での計画執行の両輪で修繕

- 修繕箇所の早期発見及び把握するため、日常点検、定期点検等を通して劣化状況を的確な把握をおこない、**修繕リスト及び修繕計画を作成**し、市へご報告のうえ協議し、修繕・更新が必要な部分については優先順位の高いものから、原則として複数の業者による見積合わせのうえ行います。
- 効率よく必要な修繕を実施することにより、施設の長寿命を図っていく必要があると考えているため、長期修繕計画を策定、計画的に執行します。

【修繕対応の考え方】

応急的な修繕	施設利用者の安全に関わる修繕に関しては、市への報告、相談のうえ最優先で対応します。
計画的な修繕	指定管理者として施設設備の状況を十分理解し、優先順位をつけて計画的に修繕を実施していきます。応急的な修繕が発生した場合は都度、計画の見直しをおこないます。
修繕内容の記録	修繕を実施した場合は、必ず報告書を作成し、いつでも履歴が閲覧できるように整理保管します。

長期修繕計画の策定と計画修繕

小規模修繕への迅速な対応

施設の小規模修繕への対応

- 令和7年度も下記記載の内容の修繕を実施。当グループは、適切に修繕を履行しています。
- 令和8年度は年間550万円の修繕費を予算化し、発生時点及び発見時での即時対応、並びに予防保全の修繕を実施していきます。
- 今年度も外灯・ガーデンライトのLED化を計画的に実施予定

◆2025年度修繕内容

内容	突発計画	金額（税込）
シャリンバイロータリー植替え	公園	143,000
ステップ遊具交換	公園	204,600
照明灯根元腐食工事	公園	154,000
北駐車場区画線工事	公園	363,000
北駐車場発券機修理	公園	30,800
ロータリー横散水栓漏水修理	公園	20,350
事務所漏電修理工事	公園	66,000
中央監視システムHDD交換	公園	1,138,500
ひかり回線導入電話機改修	公園	170,500
北駐車場発券機部材交換	公園	102,300
クラブハウストイレ水栓交換	公園	82,500
外灯照明LEDへ交換	公園	216,700
ガーデンライトLEDへ交換	公園	77,000
中央監視システム部材交換	公園	327,800

◆2025年度修繕内容

内容	突発計画	金額（税込）
地中配管漏水工事	公園	316,800
事務所女子トイレ水栓交換	公園	67,100
芝生広場ベンチ修理	公園	41,800
管理棟雨水出口桝内灯交換	公園	264,000
遊具広場ネット、ゆらゆら修繕	公園	111,870
公園入口エノキ腐食伐採	公園	88,000
ガスヒーポン内管交換工事	公園	179,080
グラウンド非常用照明LED化修理	公園	1,111,000
トラクターロータリー部油漏れ修理	公園	82,577
クラブハウス棟テラスボード交換	公園	55,000
サークルベンチ修理	公園	55,000
消防設備点検後不備修繕	公園	630,300
雨漏り跡3か所修繕	公園	330,000
北トイレ便器2か所修理	公園	85,250

◆2025年度修繕内容

内容	突発計画	金額（税込）
ヒラドツツジ植栽東駐車場	緑地	176,000
西駐車場案内装置交換	緑地	113,300
旧南トイレ漏水工事	緑地	103,400
西東駐車場区画線工事	緑地	363,000
東駐車場入庫バーワデガネ交換	緑地	517,000
ＢＢＱ舗装路修繕	緑地	55,000
西駐車場散水栓撤去	緑地	78,100
西トイレ水飲み場水栓修理	緑地	8,800
東駐車場発券機部材交換	緑地	113,300
東駐車場ツツジ復植	緑地	38,500
西駐車場紙幣入れ誤投入修理	緑地	31,680
サークルベンチ修理	緑地	30,800
東駐車場発券ボタン交換	緑地	51,480
東駐車場出入口テント幕交換	緑地	286,000

令和7年度合計見込　8,481,187円

2 園内設備の保守点検計画

設備の保守点検の計画

設備の保守点検の計画

- 以下の計画で設備の保守点検を実施します。
- 自家用電気工作物（キュービック）には 24 時間監視のESシステムを 7 年度より設置

点検箇所	実施回数
空調設備点検業務	年1回
ガス設備定期点検業務	年1回/4年毎
自家用電気工作物点検	隔月1回
電気設備年次点検（停電点検）	年1回
消防設備点検	年2回
自動体外除細動器（AED）点検	月1回
遊具劣化点検	年1回
バスケットゴール施設安全点検	年1回

点検箇所	実施回数
飲料水用貯水槽清掃点検	年1回
簡易専用水道定期検査	年1回
警報機器点検	年1回
巡回用軽自動車点検	年6回
トラクター点検	年1回/2年毎
スポーツコート照明灯ボルト点検	年1回/3年毎
定期床清掃点検	年4回

（4） 公園施設の維持管理について

（5） 緑化推進について

はじめに 緑化推進の活動について

基本的な考え方

植栽管理のプロである理研グリーンのノウハウを活かし地域団体と協力した緑化活動を推進

- 緑化推進の取組については、行政・市民・事業者が協働して取り組む活動と理解しています。
- 本公園が設置されている地区は、緑化重点地区に指定されており、現管理期間においても、当グループ構成企業の理研グリーンの強みを活かし、本公園の維持管理はもとより、市民に向けた寄せ植え講習会や、バラの育て方の講習会、四季に合わせたプランターガーデンの講習等を実施してきました。
- 今期も、以下の施策にて緑化活動の推進を図ります。

1 緑化相談の取組

具体的な緑化相談業務の活動内容について

年間100回以上の緑化相談コーナー設置

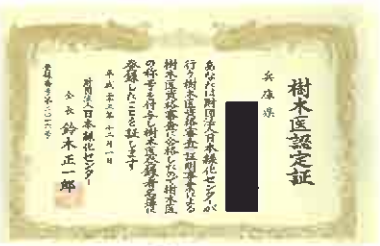
- 緑の相談所内に年間100回以上緑化相談コーナーを設け、地域住民の方からの緑化相談を通して、少しでも緑化に興味を持って頂けるように「親切・丁寧・正確」を目標に対応します。
- 相談については、土曜日・日曜日・祝日の 13 時 30 分から 16 時 30 分の時間帯で、窓口、電話、FAX、メールにてお受けします。
- 相談コーナーに在籍するスタッフは、樹木医や緑化の知識や経験を有する者を配置し、質問に対する回答は基本は即時回答しますが、調査が必要なもの、回答に時間を要する場合には、後日電話やメールにて回答をします。



緑化相談（対面での対応）



緑化相談（電話対応）



樹木医認定証

植物や園芸に一層関心を持っていただける機会を創出

- 園遊会やオータムフェスタ等のイベント開催時にも、緑化相談のコーナーを設置します。
- また緑化相談に関する Q&A は、ファイル化し気軽に手に取って閲覧できるようにし、植物や園芸に一層関心を持っていただける機会を創出します。



自由に閲覧可能な緑化専門誌

広報誌や新たなホームページを活用し、利用者を増加

- 緑化相談コーナーや、園芸講習会等の活動について、さらに認知度を向上し、市民に活用いただけるよう、全世帯に配布される市広報紙のほか、新しいホームページでも積極的に情報発信していきます。
- また、園芸講習会は、大変人気の講座となっているため、キャンセル等が発生した場合は、SNS も活用し、より積極的に新規参加者の獲得に努めます。



新たなホームページやSNSで広報強化

（4） 公園施設の維持管理について

（5） 緑化推進について

2 緑化啓発業務(園芸講習会等)に関する提案

魅力ある資源の活用

ビオトープを活用し生態系に関心を持つきっかけづくり

- 本公園のビオトープの池は、ビオトープ講習会等を通じて、在来種だけでなく、特定外来生物などについても学べる場として活用します。
- ガマなどの背の高い水草が多く、野鳥が産卵しに飛来しする場でもあり、生態系に関心を持ち、生き物を大切にする心を養う場所にしていきます。


ビオトープ

隣接する潮芦屋緑地との一体的な活用

- 公園に続く木立を抜けると海が一望できる潮芦屋緑地は、5年前の台風被害をきっかけに新たな堤防が築かれ風景は多少変わりましたが、天気の良い日の景色は見事であり、散策者も多くなっています。
- 心地よい環境でのウォーキングやランニングなどの訴求に取組み、自然と運動を掛け合わせた当グループの強みを活かした利用促進に取組みます。


潮芦屋緑地

ガーデン部の日照不足改善と新植

- ガーデン部園路奥の樹木は、生長が早く、草花の日照不足の課題があるため、市と相談し、可能な範囲で、既存木の強剪定の上、花木や果実木の新植を行い、花の咲く庭造りを行います。


ガーデン部の日照改善

園内で発生する剪定枝、落ち葉のリサイクルによるゴミの削減

- 本公園で発生する剪定枝、落ち葉の一部をリサイクル施設を用いてチップ・堆肥として活用します。
- 剪定枝は粉砕機でチップ化し、マルチング材として、設置予定のドックランの床敷きや、近隣の希望者に提供します。
- チップの一部、落ち葉の一部はリサイクル施設で発酵、堆肥化して、イベント時に配布を行います。
- 可能な限り緑化資材として活用し、焼却処分(廃棄物)の減量に努めます。


剪定枝の再利用

市民や団体と協働した緑化推進活動

バラの追加植栽とアジサイ園の創出

- 多くのボランティアと協同で四季咲きのバラ園を管理し、毎年美しく、かわいい花を咲かせています。
- 日当たりの良い場所に限りがありますが、6 年度に現在のバラ園に隣接したエリアに 100 株増やし、700 株のバラ園へ。


バラ園の追加植栽


アジサイの群植(イメージ)

- **本公園の目玉スポットにすべく、新たに公園入口近くにアジサイの群植を令和 7 年度に実施。日本アジサイ 70 株、西洋アジサイ 70 株、アメリカアジサイ(アナベル)38 株を植栽。**

芦屋市芝生化実行委員会と継続協力し子どものための芝生広場へさらに芝生化

- 今後もボランティア団体　芦屋市芝生化実行委員会(協力表明書取得済)と共に更なる芝生化を進め、多くの親子や子どもたちがサッカーやキャッチボールなど自由に使える芝生広場を増やします。

芝生グラウンドに触れる機会を積極的に創出

- 陸上競技場はエバーグリーンの競技用の芝生フィールドと4種公認に相当するクレートラックです。
- この施設を活用し、市内の子どもが走ったり寝転んだりして遊べる機会をできるだけ多く作り、芝生の素晴らしさ、公園の楽しさを心に植え付けていく取組みを実施します。


運動あそびプログラム


青空ヨガ

（4） 公園施設の維持管理について

（5） 緑化推進について

2 緑化啓発業務(園芸講習会等)に関する提案

園芸講習会の開催

年70回以上の季節に合わせた園芸講習会を開催

開催日	月3回～7回程度
開催時間	90分/回
定員	15人
参加費	無料～3,200 円/回

- 市民が気軽に緑や花に親しむことのできる園芸講習会を、仕様書(月4回以上)の規定を上回る年間70～80回程度開催します。
- 本講習会は、当グループの運営以降、ニーズに合わせて内容や回数等を見直し、年々参加者を増加させています。
- 2024年度は78回、2025年度には、76回を計画し、年間で700人近くの参加見込みの人気の講座となっています。
  2026年度も70回以上を計画。
- 特に参加費無料のバラ講習会(4 回/年)は時節ごとの剪定やバラの再生方法を学べる会として、人気の講習となっています。
- 今期も、毎回季節に合わせたテーマを設定し、寄せ植え体験、リース、苔玉作りなどリーズナブルな価格で提供します。
- 花と緑への関心を高めるとともに、本公園内の植物を使った講習会(草木染め、木の実を使ったネイチャークラフト、バラの季節ごとの手入れ、花を使った創作品など)を通じて、市民が「私たちの公園」という意識と愛着を持っていただけるよう努めます。











豊富な知識とノウハウを持たれる講師による講習会

- 園芸講習会の講師は、右記のように豊富な園芸の知識や、受賞歴を持たれる方に依頼し、価値の高い講習会となっていることも人気の理由です。

講師	プロフィール等
[redacted]	フラワーアーティスト・兵庫県園芸療法サポーター・まちづくりガーデナー・企業内カルチャー教室講師・芦屋市総合公園みどりの相談員
[redacted]	兵庫県ガーデンマスター・まちづくりガーデナー・日本自然保護協会自然観察指導委員・芦屋市総合公園みどりの相談員

ホームページ等を活用し、取組みの広報や新規参加者獲得を推進

- 講習会で作った作品は、写真等に収め、来園者の目に触れるよう会議室前のスペースに掲出するとともに、ホームページでも紹介するなど参加者の次の作品への作成意欲やモチベーションを高めます。
- 講習会の募集案内やチラシ等は、施設内はもとより、ホームページ、SNS で積極的な情報発信を行い、より多くの市民の参加を促進します。



作品は写真にして掲示

講習会や緑化推進の取組みの様子を動画撮影し、市の緑化推進に継続貢献

- 園芸講習会、植物管理の様子や、PMOあしや、芝生化実行委員会などの市民緑化団体の緑化活動の様子を動画やDVD化し、広報・インターネットを通じて多くの人の利用促進に努めます。
- **令和7年度は芦屋市内のオープンガーデンの状況パネル展示をロビー什器を使い協力。**



講習会等の様子を動画で紹介

（4）公園施設の維持管理について

（5）緑化推進について

2 緑化啓発業務（園芸講習会等）に関する提案

園芸講習会の開催計画

あらかじめ年間スケジュールを組み、市民が予定を立てやすいよう配慮

- 園芸講習会の開催スケジュールは、年間スケジュールとして市民に広報します。
- 市民は、あらかじめスケジュールの把握ができることで、予定が立てやすく、参加率も向上します。
- 以下は2025年度での開催計画です

2025年度　園芸講習会

<講師> [redacted]
フラワーアーティスト・兵庫県園芸療法サポーター・まちづくりガーデナー・金澤円カルチャー教室講師・芦屋市総合公園みどりの相談員

★講習日１ヶ月前の９時より受付いたします。その際、受付番号をお伝えいたしますので当日お申し付けください。

日にち	時間	料金	内容
4月17日（木）	10：30～12：00	3000円	イースターアレンジ
4月20日（日）	10：30～12：00	2700円	香りのハーブの寄せ植え
4月26日（土）	10：30～12：00	3200円	プリザーブドのカスミソウとバラのアレンジ
4月28日（火・祝）	10：30～12：00	2700円	しょうぶアレンジ
5月15日（木）	10：30～12：00	3000円	八重咲きユリのアレンジ
5月17日（土）	10：30～12：00	3000円	体に良い薬しのサボテン（セレウス）のプランター作り
5月27日（火）	10：30～12：00	3200円	バラとアイビーのアレンジ
5月31日（土）	10：30～12：00	3500円	観葉植物で作るハンギング
6月15日（日）	10：30～12：00	2200円	インテリアグリーンとして人気のガジュマルを育ててみませんか
6月19日（木）	10：30～12：00	2700円	6月の花のアレンジ
6月28日（土）	10：30～12：00	2500円	ハイビスカスを育てる
7月17日（木）	10：30～12：00	2700円	7月の花のアレンジ
7月19日（土）	10：30～12：00	3000円	お供えのアレンジ
7月24日（木）	10：30～12：00	3200円	プリザの青いバラのテラリュウム作り
8月21日（木）	10：30～12：00	2700円	エアープランツアレンジ
8月30日（土）	10：30～12：00	2700円	ハイドロカルチャーで育てるミニ観葉
9月18日（木）	10：30～12：00	2700円	9月の花のアレンジ
9月20日（土）	10：30～12：00	800円	ドライアジサイのリース作り
9月21日（日）	10：30～12：00	800円	〃
9月23日（火・祝）	10：30～12：00	2200円	カンタン苔玉作り
10月16日（木）	10：30～12：00	2700円	10月の花のアレンジ
10月18日（土）	10：30～12：00	2000円	千日紅のリース作り
10月26日（日）	10：30～12：00	1300円	かぼちゃのランタン作り
〃	13：30～15：00	1300円	〃
11月20日（木）	10：30～12：00	2700円	シメナワ飾り
11月23日（日）	10：30～12：00	3500円	クリスマスやお正月の飾れる赤いバラのテラリュウム
11月29日（土）	10：30～12：00	2700円	クリスマスリース作り
11月30日（日）	10：30～12：00	2700円	〃
12月18日（木）	10：30～12：00	3700円	松竹梅の寄せ植え
12月20日（土）	10：30～12：00	3500円	かわいい猫の七福神のお正月飾り
12月23日（火）	10：30～12：00	3500円	シクラメンのウエルカムガーデン（コニファーと）
12月27日（土）	10：30～12：00	3500円	シンビジウムのお正月飾り
〃	13：30～15：00	3500円	〃
1月24日（土）	10：30～12：00	2700円	球根花のアレンジ
1月31日（土）	10：30～12：00	3200円	エアープランツのテラリュウム作り
2月15日（日）	10：30～12：00	3000円	おひな様飾り
2月19日（木）	10：30～12：00	3200円	クリスマスローズの寄せ植え
2月28日（土）	10：30～12：00	2700円	フェイクミモザのリース作り
3月15日（日）	10：30～12：00	1200円	ハーブを育てる
3月19日（木）	10：30～12：00	2700円	春の花のアレンジ
3月24日（火）	10：30～12：00	3000円	プリザのバラのアレンジ
3月28日（土）	10：30～12：00	3000円	ユーカリのリース

2025年度　園芸講座・講習会

<講師> [redacted]
兵庫県ガーデンマスター・まちづくりガーデナー・日本自然保護協会自然観察指導委員・芦屋市総合公園みどりの相談員

★講習日１ヶ月前の９時より受付いたします。その際、受付番号をお伝えいたしますので当日お申し付けください。

日にち	時間	料金	内容
4月16日（水）	10：30～12：00	500円	楽しい園芸講座①
4月21日（月）	13：30～15：00	3000円	春の花いっぱいの寄せ植え
4月24日（木）	10：30～12：00	700円	野菜を育てよう①
5月19日（月）	13：30～15：00	3000円	初夏をいろどるコンテナガーデン
5月21日（水）	10：30～12：00	700円	楽しい園芸講座②
5月22日（木）	10：30～13：00	1000円	野菜を育てよう②
6月11日（水）	10：30～12：00	700円	楽しい園芸講座③さし木
6月12日（木）	10：30～15：00	700円	野菜を育てよう③
6月16日（月）	13：30～15：00	3200円	観葉植物でステキな寄せ植え
7月10日（木）	10：30～12：00	700円	野菜を育てよう④
7月16日（水）	10：30～12：00	1000円	楽しい園芸講座④
7月21日（月・祝）	10：30～12：00	3000円	夏の寄せ植え
8月25日（月）	13：30～15：00	1200円	ハーブを楽しもう（石けん・ポプリ）
8月28日（木）	10：30～12：00	700円	野菜を育てよう⑤
9月15日（月・祝）	10：30～12：00	3000円	秋の寄せ植え
9月17日（水）	10：30～12：00	1000円	楽しい園芸講座⑤ハーブ
9月25日（木）	10：30～12：00	700円	野菜を育てよう⑥
10月14日（火）	13：30～15：00	1200円	マリーゴールドの花染め
10月20日（月）	13：30～15：00	3200円	草花と春咲き球根の寄せ植え
10月22日（水）	10：30～12：00	500円	楽しい園芸講座⑥花塩作り（土作り・デザイン）
10月23日（木）	10：30～12：00	700円	野菜を育てよう⑦
11月9日（日）	10：30～12：00	1200円	公園の木の実で作るナチュラルリース
11月12日（水）	10：30～12：00	500円	楽しい園芸講座⑦
11月17日（月）	13：30～15：00	1200円	公園の木の実で作るナチュラルリース
11月27日（木）	10：30～12：00	700円	野菜を育てよう⑧
12月11日（木）	13：30～15：00	3000円	クリスマスのコンテナガーデン
12月15日（月）	13：30～15：00	3200円	新年を飾る寄せ植え
1月19日（月）	13：30～15：00	3000円	早春のコンテナガーデン
2月18日（月）	13：30～15：00	3000円	日だまりで育てる寄せ植え
2月26日（木）	10：30～12：00	700円	野菜を育てよう⑨
3月12日（木）	10：30～12：00	700円	野菜を育てよう⑩
3月16日（月）	13：30～15：00	3000円	花いっぱいの春の寄せ植え



「ばらの育て方教室」
本年度、１回目の日程は　６月９日（火）13：30～15：00（無料）です。
以降は決まり次第　ホームページ<広報検索ワード：ミズノ　芦屋市総合公園>
フェイスブック　広報あしや・広報掲示板にて臨時掲載いたします。











（4）公園施設の維持管理について

（5）緑化推進について

3　仕様書記載の花壇の管理計画

具体的な花壇管理業務の活動内容について

専門技術者や PMO あしやと協力し年中美しい花壇を提供（花壇管理の計画）

- 色とりどりの草花や花木で来園者をお迎えするため、本公園の花壇管理は、これからも、市民団体『PMO あしや』や、ボランティア並びに、在籍する公園管理士等により、草花の植付、灌水、花がら摘み、施肥、病害虫駆除および除草等を協働実施します。
- 花苗の植替えは、各回 500 株程度を 5 月末から 6 月と 11 月の 2 回実施します。
- 球根は春と秋のシーズン時の植付けとし、他に必要な花苗は随時購入し植付を行います。また肥料、堆肥、薬剤等も必要に応じて取り揃えます。
- 設置されているレイズドベットを活用し、お体の不自由な方々にも一緒に草花に触れて頂く機会をつくり、緑化を通じて「癒し」の効果を体験して頂くとともに、友達づくりの場になればと期待します。
- ガーデン部の日照確保に重点を置き大幅な強剪定を行い、花木や果実木の新植、既存花木などの矯正に努めます。
- みどりの相談所まわりの植樹外樹木の撤去を実施し、テラス回りの見晴らしを確保。
- 正面入口付近にアジサイ植栽し花壇作成（令和6年度事業）



北側ロータリーに植え付けた花々





花壇の植え替え作業とアジサイ花壇作り



PMO あしやとの協働による緑化活動



花壇周辺の花々



床面を高くした花壇『レイズドベッド』

『芦屋オープンガーデン』の継続的な盛り上げ

- 令和7年度に芦屋オープンガーデンは第 20 回を迎えました。20周年を記念してオープンガーデンのご参加の皆様のパネルをみどりの相談所ロビーで展示協力いたしました。
- 本公園の花壇演出や講習会を通じて、市民の緑や花への関心を高め、より多くの市民が芦屋オープンガーデンに参画してもらえるよう、市民団体や講習会講師等と協力し、継続的に緑化推進への取組みを盛り上げていきます。
- 令和 8 年度は花壇横広場を記念品交換場所に提供。



参加パネル展示の様子

（4）公園施設の維持管理について

（5）緑化推進について

4 季節ごとの花壇の特色

四季折々のいろどり(季節ごとの花壇の特徴)

季節ごとに特色をもたせ、四季の変化を植物で辿ることのできる花壇を演出

- 当グループは、下表のように、四季折々に特色を持たせた花壇の演出を行い、多くの方に、公園に足を運んでいただけるよう努めます。

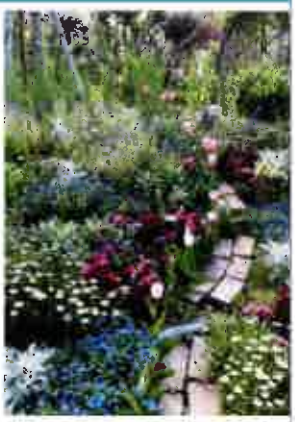
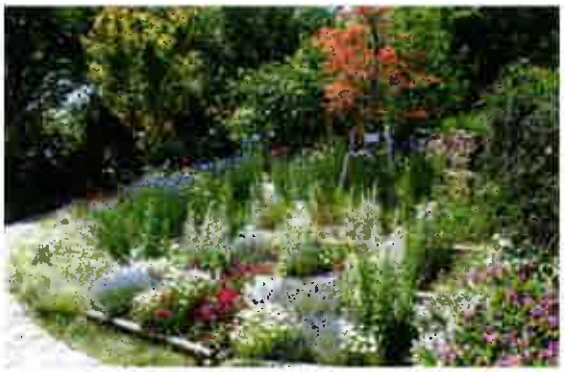
月	花壇に植える植物の種類		特色等
	樹木	草花	
4月	・姫リンゴ ・ヤマブキ ・ヒメウツギ ・モッコウバラ	・シラーカカンパニュラータ ・アグロステンマ	4月に入るとリンゴの花やヤマブキ、ウツギの花が咲き、初夏を思わせる陽気の中、花壇では、3月の花に加えシラン、クリサンセマム、マーガレット、矢車草などの赤や白、紫色が花壇に映えます。
5月	・フヨウ ・常緑ヤマボウシ ・オオデマリ	・シラン　・ジキタリス ・かすみ草　・ビスカリア ・サフィニア ・エルサレムセージ ・フクロナデシコ ・コンボルブルス ・クリサンセマム ・マーガレット ・バビアナ ・カンパニュラ ・エリゲロン ・ルドベキア ・プレーリーサン ・シャスタデージー ・ストケシア	5月になるとフヨウ、オオデマワリが咲き、初夏とは言え、もう夏です。花壇では、キンギョソウ、ジキタリス、かすみ草、サフィニア、ナデシコ、シャスタデージーなどが咲いています 
6月	・アジサイ ・カシワバアジサイ ・シモツケ	・ユリ　・ヘメロカリス ・ニューサイラン ・アーティチョーク ・アガパンサス ・マリーゴールド ・ベゴニア	6月にはアジサイ、カシワバアジサイ、シモツケなどの小灌木が咲き、夏本番を向かいます。花壇にはユリ、ヘメロカリス、アガパンサス、マリーゴールド、ベゴニアが咲き、大きな花のアンティチョークが咲きます。そろそろ水やりの季節になりました。
7月	—	・カンナ　・サルビア ・百日草　・ケイトウ ・ヒマワリ ・バジルアンゲロニア ・イソトマ	7月に入ると樹木の花はぐっと少なくなり、サルスベリだけが赤々と咲いています。花壇には夏の花カンナ、サルビア、百日草、ケイトウ、アンゲロニアなどが並びます。
8月	—	・千日紅 ・チェリーセージ(青) ・アゲラタム	8月に入るとアメリカフヨウが大きな花を付けています。花壇は水やりに追われ大変です。その中でも、センニチコウ、チェリーセージ、アゲラタムは元気に咲いています 

（4）公園施設の維持管理について

（5）緑化推進について

4 季節ごとの花壇の特色

四季折々のいろどり(季節ごとの花壇の特徴)

月	花壇に植える植物の種類		特色等
	樹木	草花	
9月	—	・彼岸花 ・ロベリア ・日々草 ・ブルーサルビア	9月に入ると水やりは少し楽になりますが、まだまだ暑い日が続きます。花壇は先月に植えた花々以外に、彼岸花、日々草、ブルーサルビアが元気に咲いています。 
10月	—	・皇帝ダリア ・極楽鳥花 ・アメジストセージ	10月にはキンモクセイの強い香りが漂っています。この頃にはサルビア、ベゴニア、ペチュニアなどの花期の長い植物が最後の花色を楽しませてくれている中、薄青い皇帝ダリアが咲きだし、濃い紫のアメジストセージが頑張っています。
11月	—	・ガーデンシクラメン	11月に入るとサザンカが咲き出しています。花壇は花床を整え、来春の花苗、球根を植えます。ガーデンシクラメンが後半には咲き出します。
12月	—	・葉ボタン	12月には木々は冬本番を向かえ、静かな眠りに付く中、花壇は来春に向け、賑わしくなっています。パンジー、ビオラ、ガーデンシクラメンが咲き、葉ボタンの葉が生々としてきます。
1月	・ロウバイ ・ボケ	・パンジー ・ビオラ ・リナリア(姫金魚草)	早春の1月にはロウバイが咲き、春の香りを漂わせ、昨年に植えたパンジー、ビオラ、ガーデンシクラメンが寒さに負けず咲いています。北駐車場ロータリー部の花壇では、ハボタンとパンジーが出迎えます。
2月	・梅(白)	・菜の花	2月には梅の白い花が咲き、淡い匂いを醸しています。花壇では引き続きパンジー、ビオラ、ガーデンシクラメンが咲き続き、春の花、菜の花(ハナナ)を植付ます。スイセンも咲いています。
3月	・ギョリュウバイ ・アンズ ・白モクレン ・桜 (オオシマザクラ) ・ユキヤナギ	・ストック　・スイセン ・テートテータ(小スイセン) ・ムスカリ ・チューリップ ・ノースポール ・忘れな草 ・シログロッサム (高性忘れな草) ・矢車草 ・ネモフィラ ・アリッサム	3月になると一気に春がやってきます。サクラや白モクレンが咲き、花壇の片隅では真っ白なユキヤナギが咲いています。花壇では、ストック、スイセン、ムスカリ、チューリップ、ノースポール、ネモフィラ、アリッサムなど春の花が満開です。 

（5）有料公園施設の管理運営について

（1）有料公園施設の管理運営について

1 有料公園施設管理の基本的な考え方

有料公園施設の管理運営方針

5つの基本的な考え方に基づき運営管理を実行し、利用活性化

- 当グループは、運営方針に掲げた下記の5つの考え方に沿った管理運営と、目標達成を見据えた利用者目線の管理運営を行います。

方針①	魅力的な利用促進策を展開
方針②	誰でも利用しやすいサービスを導入
方針③	気軽に自然や緑に触れ合える場を演出
方針④	地域と連携し市民参画を促進
方針⑤	安全・安心・快適な利用環境を提供

本施設の現状や課題を踏まえた管理

- 現管理者として各施設の特性や課題を認識しており、次期課題への対策を行う考えです。

	施設	施設特性と現状利用動向	課題と対策
運動施設	陸上競技場  利用件数 実績 2020年 220件 / 2021年 285件 / 2022年 302件 / 2023年 290件 / 2024年 270件 今期目標:330件(24実績　+60件)	芦屋市唯一の天然芝生のグラウンドを有した陸上競技場。 サッカー・ラグビーを始め多くのグラススポーツで利用される。	[課題] ●平日の利用者が少ない。 ●雨天時の利用を中止せざるを得ない。 ●夏季の早い時間の利用要望あり。 [対策] ①市内の幼稚園等の園児が芝生の上で遊ぶことのできる区分を設定(平日・空き時間利用・無料・時間制限あり)し、利用促進。 ➡P.65参照 ②雨天利用中止は、なるべく利用できるよう利用者に配慮して判断実施。 ➡P.51参照 ③夏季の8時利用開始サービスを実施(申出者限定)し、熱中症対策。 ➡P.58参照 ④クラブ活動の地域移行の場としての活用を令和8年度から実施
	第1スポーツコート (バスケットボールコート)  利用件数 実績 2020年 1,177件 / 2021年 1,358件 / 2022年 1,307件 / 2023年 1,418件 / 2024年 1,653件 今期目標:1,700件(24実績+50件)	3on3ができるコートが3面あり、基本無料で使用可能なため平日含め多くの人に利用されています。近隣施設では珍しいミニバスケ対応の高さのゴールを1面有しており小学生達にも非常に喜ばれています。	[課題] ●無料開放している事が多いこともあり誰でもコートに入れ、ゴミ・タバコ等が放置されたり、ネットの破損等がある。 ●夜間のたまり場になり治安上の問題あり。 [対策] ① 夜間受付の担当者による1時間おきの巡回点検を実施・継続(22時閉場まで) ② 芦屋警察署との連携 ③ ボール貸出による昼間の利用増創出

（5） 有料公園施設の管理運営について

（1） 有料公園施設の管理運営について

1 有料公園施設管理の基本的な考え方

本施設の現状や課題を踏まえた管理

	施設	施設特性と現状利用動向	課題と対策
運動施設	第2スポーツコート （人工芝フットサルコー 	人工芝のロングパイルコートを2面有する施設。 個人から団体までボール系スポーツ以外での使用も含めて多くの方が利用。 高速の高架下の立地で雨天時も雨の影響が少ないコート。	［課題］ ●照明の照度が低い（暗い）とのご意見有り。 ●夜間利用時後のシャワー利用ができないとのご意見あり。 ●利用者減少 ［対策］ ① 照明器具のLED化継続検討。 ②2024年度より19時までは更衣室・シャワー室の利用が可能な体制に変更し、サービス向上を実施中。 ➡P.65参照
管理施設	会議室 	30人が座れる会議室。 プロジェクター用のスクリーンも完備する。	［課題］ ●講習会・教室以外の利用者が少ない。 ［対策］ ① 議・研修会等の利用者を誘致できるようアナウンスを強化（SNS発信・ホームページ刷新）。 ➡P.66参照 ②地域協働のひとつとして地元自治会等の方にも有効利用してもらう活動実施。 ➡P.69参照
便益施設	駐車場 	北・西・東で総駐車台数416台（臨時含む）の南芦屋浜最大の駐車場。 また北駐車場は24時間利用できることで公園周りでの釣り人にも多く利用される。	［課題］ ●録画可能な防犯用監視カメラが無く、不法・不正行為の記録及び事故等の記録ができない。 ●混雑時の案内に関する状況判断がスムーズでない。 ●バイク侵入による安全性の確保。 ●大型バスの駐停車場所の確保。 ［対策］ ◆市と継続協議し、監視体制を強化。 ◆注意喚起看板・POPの継続整備。 ➡P.34参照 ◆市と協議し、大型バスの停車や入出庫がし易い場所の確保を検討。 ◆まめな巡回で侵入バイクの注意喚起 ◆場内清掃・喫煙注意強化 ◆令和7年度末警備カメラ更新予定

利用件数　↓改修工事

実績	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	330件	1,219件	1,114件	1,312件	1,422件	1,396件	1,540件	1,899件	1,533件	1,471件

今期目標：1570件/年（24実績+100件）

利用件数

実績	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	73件	90件	81件	114件	95件

次期目標：115件/年（24実績+20件）

利用台数

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
北	139,989台	121,102台	78,505台	98,812台	107,761台
西	72,371台	63,051台	67,015台	58,781台	61,084台
東	9,203台	33,006台	39,369台	37,454台	38,026台
計	221,563台	217,159台	184,889台	195,047台	206,871台

※2022年度は護岸工事の影響で各駐車場の増減あり

（5）有料公園施設の管理運営について

（1）有料公園施設の管理運営について

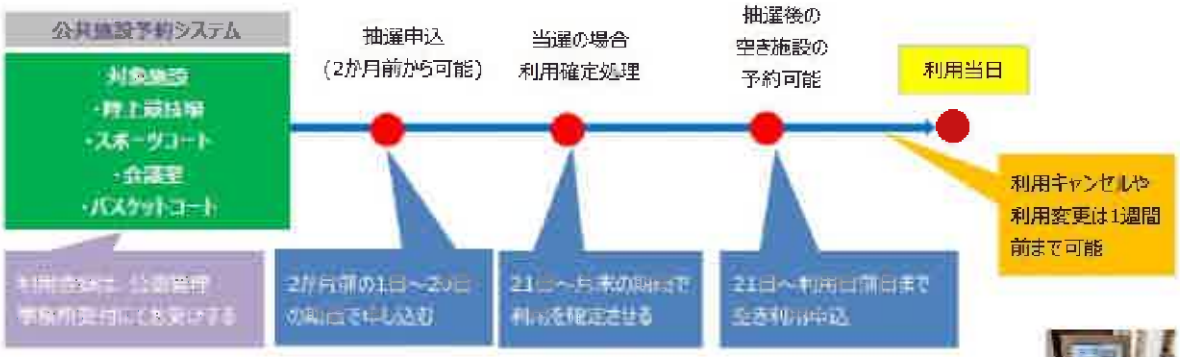
2 利用者が予約から支払いまで、使いやすいと思える運営

有料公園施設の予約および受付について

- 有料公園施設の受付や料金徴収業務は、条例及び条例施行規則、芦屋市総合公園陸上競技場等の管理運営に関する要綱に沿って適切に実施します。

芦屋市施設予約ポータルサイトを積極活用し受付

- 芦屋市施設予約ポータルサイトを活用した予約を推進し、初めて利用される方には、管理事務所にて受付および利用ルール等の説明、及び利用者登録の後、下図のフローにより、予約受付を行います。
- 予約のキャンセル及び変更は、1週間前まで可能とし、それ以降はキャンセル料を徴収する運用としますが、天候により使用中止の可能性があるため、施設利用料の支払いは、基本的には利用時、もしくは、後納とします。



管理事務所の端末や電話・窓口等、様々な予約方法に対応

- インターネット予約が利用できない方は、管理事務所の端末（営業時間中に限る）、もしくは郵送での直接予約にも対応し、多くの市民が利用しやすいよう配慮します。


管理事務所の利用者用端末

自主事業（教室・イベント）等の受付

- 教室やイベント、バーベキュー場等の自主事業の予約・申込については、従来通り電話及び事務所受付窓口で、申込や参加費の徴収を受け付けます。
  令和 7 年度から一部教室・イベント参加に関してはHPより受付可能に
- 登録及び参加費の支払いは、台帳管理に加え、パソコンでの予約表管理を行い、重複予約等のリスクを減らす二重チェック体制で運用します。
- バーベキュー場の利用料は利用直前に徴収し、予約取り消しは当日の朝まで可能とし、キャンセル料も徴収しないことを継続中。

参考：WEB 予約に関する今後の展開（自主事業のインターネット予約対応）

- ミズノでは、独自に総合運営管理システムを開発しており、本施設への導入準備が整った段階で、自主事業のインターネット予約等にも対応する考えです。
- スマートフォンやタブレット等から、いつでも、どこでも予約可能にするほか、オンライン決済対応も検討し、利用サービスの向上を図ります。


ネット予約・決済検討

陸上競技場横作業員控室をスポーツコートの夜間対応窓口に設定

- 公園とは共用時間が若干異なるスポーツコートについては、夜間対応窓口を設置し、令和6年度より通年で 18 時 45 分から 21時 30 分までお客様の対応ができるように人員を配置しており、利用者の利便性の向上と、緊急時の迅速な対応に備えています。


スポーツコート夜間対応窓口

第2スポーツコートに無料時間枠を設定し稼働率を向上

- 第2スポーツコートは、**通常1時間2，030円～のところ、無料時間帯を設定**し、多世代の気軽な利用を図る取り組みを実施しており、大変好評であり、次期も継続実施します。



（5） 有料公園施設の管理運営について

（1） 有料公園施設の管理運営について

2 利用者が予約から支払いまで、使いやすいと思える運営

有料公園施設の営業時間および料金設定

- 有料公園施設は、下表の営業時間及び、料金設定にて提案します。

開館時間・休館日

- 新たに、熱中症対策として、夏季の利用開始時間を現状の9:00から、8時開始も対応できるようにします。また、管理事務所の受付時間（窓口・電話）は、年間を通じて9:00～19:00に設定、市民の利便性向上を図ります。

開館時間	［通年］ 9:00～19:00 ※夏季（7月・8月・9月）は、利用開始を8:00～も対応を実施
休館日	12月28日から1月4日
受付時間	管理事務所 9:00～19:00

利用料金

- 前項にも記載のとおり、第2スポーツコートは、通常1時間 2,030 円～のところ、週4回の無料時間帯を設定し、多世代の気軽な利用を図る取り組みを実施しており、大変好評であり、次期も継続実施します。

施設名	区分		利用料金	利用時間
陸上競技場（トラック＆フィールド）				
陸上競技場 トラック	個人	大人	480円/回	4月～9月 9:00～19:00 10月～3月 9:00～17:00 ※照明設備なし
		学生（高校生まで）	240円/回	
陸上競技場 芝生フィールド	専用	平日	4,070円/時	
		土日祝日	4,880円/時	
スポーツコート				
第1スポーツコート（バスケットコート3面）	専用	平日	500円/時	9:00～21:00
		照明代	450円/時	
第1スポーツコート（バスケットコート3面）	個人	平日	1面 無料/2時間	9:00～21:00
		土日祝日	1面 無料/2時間	
第2スポーツコート	専用	平日	1面 2,030円/時	9:00～12:00
			1面 5,090円/時	12:00～18:00
			1面 6,110円/時	18:00～22:00
		土日祝	1面 6,110円/時	9:00～22:00
		照明代	910円/時	
	個人	平日・土日祝	1面 500円/時	9:00～22:00
	高校生以下	火曜・木曜	1面 無料/1時間	16:00～19:00
	一般無料	水曜・土曜	1面 無料/1時間	9:00～12:00
会議室				
会議室（定員50名）	専用		1,010円/時	9:00～17:00

●令和8年度も有料施設の料金については協議中

（5）有料公園施設の管理運営について

（1）有料公園施設の管理運営について

2 利用者が予約から支払いまで、使いやすいと思える運営

有料公園施設の営業時間および、料金設定

駐車場営業時間

駐車場名	収容台数	時間帯	備考
北駐車場	190台※臨時含む （うち身障者用5台）	24時間開放	大型バスは平日のみ駐車可能
西駐車場	150台※臨時含む （うち身障者用2台）	20:00～7:00閉鎖	大型バスは、駐車不可
東駐車場	76台 （うち身障者用2台）		

駐車場料金

駐車場	
普通車両	初めの30分間は無料 / 以降30分毎100円 / 最大料金なし
大型バス （北駐車場のみ）	完全予約制（平日のみ予約可能）/ 1台2,030円
障がい者減免	障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者福祉手帳をお持ちの方は無料

3 雨天時の使用中止やその対応、不測の事態への対応等

悪天候時等不測の事態における利用者満足度の保ち方

施設の使用中止等の情報は複合的な手法により利用者に情報伝達

- 個人利用について、雨天等の荒天時や天候が不明瞭の場合は、事前に管理事務所に確認をいただき、利用可否をお伝えする、もしくは、ホームページやSNS等による情報で確認をいただく運用としますが、専用利用の場合は主催者と協議の上、決定します。
- また、当日使用中止の場合は、陸上競技場中央南のポールに赤フラッグを掲揚します。
- 施設判断で使用中止とした場合は、キャンセル料は徴収しませんが、利用開始後、予約された区分のうち1時間以上利用できた場合は、料金の全額、1時間未満の場合は半額を徴収する運用とします。

自主事業に関する情報伝達は一人ひとりに届くよう情報発信

- 自主事業に関しては特に子どもの参加者が多いため、細心の注意を払います。
- 大雨、暴風、雷等の警報が芦屋エリアに出た場合は、責任者の安全判断を行い、使用中止を電話、メール等を活用して、個々人に連絡するとともに、ホームページで情報発信します。
- 予め安全確保が困難な天候・施設状態（水たまりで滑りやすくなる等）の場合も、早期に中止を判断し、参加者に連絡します。
- 教室参加費など前納していただいている場合は、後日振替の教室を実施しています。

その他、不測の事態における情報発信と窓口対応

- 警報（大雨、洪水、暴風、高潮）発令により来園自体が危険な場合は、ホームページ・LINE上で利用中止の情報を発信し、園内の利用者にも注意喚起を行い、安全確保を優先した行動を促します。
- 管理事務所閉所時の不測の事態も想定されるため、電話による自動音声案内での案内等を考えています。

（5） 有料公園施設の管理運営について

（2） 有料公園施設の維持管理について

維持管理の基本的な考え方について

基本的な考え方

維持管理や備品管理についての基本的な考え方

- 市民をはじめ、多くの方が利用される公共施設であることを理解・認識し、施設の効用が最大限発揮され、かつ安全及び快適性が享受されるよう、維持管理業務の遂行にあたります。
- 市の財産である備品は、備品管理台帳をもとに、数量確認、劣化状況等を日常点検し、所在のチェックを行い、入替や廃棄などの記録更新も適切に行い、常に最新情報となるよう管理を徹底します。
- 不具合備品は、迅速に修繕や入替を図り、いつでも安心して利用してもらえるよう努めます。
- 持込み備品には、管理番号・所属を記したシールを添付し、市の備品と区別して管理します。

各施設の年間維持計画と適切な備品管理体制について

施設ごとの詳細なメンテナンス計画及び備品管理計画



安全で快適にプレーできる陸上競技場の維持管理を継続

- 陸上競技場の芝生グラウンドは、当グループの管理により、サッカー協会をはじめとした利用者からも高い評価を頂いており、今後も、本公園の目玉として、高品質のターフコンディションを維持する管理を継続します。



ベテランキーパーや専門員によるきめ細やかなコンディション管理

- 芝生の育成状態、土壌の硬軟等をベテランキーパーが毎日チェックし、作業に反映させます。
- 芝の育成期には、本部の芝草管理技術者を交えたキーパーミーティングを月2回程度行い、密に管理手法の検討を行うことで、芝生の健全な成長をサポートします。
- 利用後のディポット補修を必ず実施し、損傷が激しい場合は厚切り芝による補修を行い、即日の使用を可能にします。
- 気象条件、使用頻度によるストレス、病害虫の発生状況、土壌の硬軟など様々な要因により、芝の状態は一変するため、常に芝に接し、長い経験により培われた技術を駆使して良好な状態を保つように努めます。



芝生グラウンドメンテナンス計画表

工　種	年間回	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
刈り込み	50	4	5	7	7	7	6	5	4	2	1	1	1
施肥	6		1	1	1		1	1	1				
目土散布	2			1			1						
殺虫剤散布	3		1		1			1					
殺菌剤散布	3		1		1			1					
エアレーション	2			1			1						
バーチカル	1			1									
スイーパー掛け	6		1	1			1				1	1	1
人力除草	適時												
補植	適時												
オーバーシード	1												
トランジション	1												
グラウンド周り エッジ切り	3		1			1		1					
ディポット補修	適時												
散水	随時												

※トランジションは、芝刈り・エアレーション・バーチカルを合わせて行います

※補植は、陸上競技場内に設けた苗圃の芝の厚切り（4 ㎝厚）を使用し、補植後すぐに使用できるようにします。

※オーバーシード期間中約1ヶ月は休場とします。（例年：9 月末～10 月末）

⇒令和8年度も従来より1週間早く仕上げを進め土日利用を1週分増やす計画。（予定：10/5～10/26）

（5）有料公園施設の管理運営について

（2）有料公園施設の維持管理について

各施設の年間維持計画と適切な備品管理体制について

施設ごとの詳細なメンテナンス計画及び備品管理計画

陸上競技場トラックの管理について



- 中学生の記録会にも使用できた第4種公認レベルの陸上競技場のクレートラックであることから、日常の管理では下記の点に注意します。

ア．クレートラックであることから雑草の発生を抑制する

・苦汁を定期的に散布します。
・雑草が大きな株になる前に定期的に刈り取ります。



イ．レーンの片寄りを防止する

・練習時の使用レーンは、幅広く使用するようにお願いします。
・クレー面のブラシ掛け転圧は、スピードを抑え、同一方向からの機械使用を避けます。

ウ．レーンの凸凹によるケガの防止

・3～4ヶ月に一度、レベルを用いて不陸をチェック整生します。
・凸凹が目立つ場合は、表面のかき起こし、敷均し（低い場合は土の補充）、その後ローラーにて転圧し不陸の整正に努めます。

トラックのメンテナンス計画表

工種	年間回	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
苦汁散布	1回										1		
雑草刈込	適時						■	■	■				
ブラシ掛け	適時	■	■	■									
ローラー転圧	適時	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
表面の敷き均し	適時	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	

※土の補充については、床土の低い場所に適宜実施

スタンドの活用

- スタンドの刈込は 5 回以上実施し、観戦スタンドとしての利用を高め、プレイヤーとの一体感を味わっていただくだけでなく、子供たちの遊び場としても利用して頂きます。

スポーツコート人工芝コートの管理について



第2スポーツコート

- 第2スポーツコートは2016年に改修され人工芝コートとして、フットサル、サッカー愛好者達の利用に加え、小学生対象のサッカースクールでも活用しています。
- 人工芝のコートは、イレギュラーも少なく、高架下のため雨天時の影響を受けにくいため、稼働率も比較的高い施設です。
- ナイター照明等含めた年間メンテナンス計画は、以下の表のとおりです。

スポーツコートのメンテナンス計画表

工種	年間回	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ゴミ・落葉の除去	随時	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
雑草除去	適時	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
コート目視点検	随時	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
機械による充填剤のほぐし・均し	1回					1							
充填剤の補充	1回					1							
照明点検	6回	1		1		1		1		1		1	

※人工芝の破れ等あれば、部分張替補修
※充填剤の不足箇所に対する補充については、25kg×4 袋程度
※今年度は照明ボルトゆるみ点検の実施予定

（5） 有料公園施設の管理運営について

（2） 有料公園施設の維持管理について

各施設の年間維持計画と適切な備品管理体制について

施設ごとの詳細なメンテナンス計画及び備品管理計画

年間維持管理計画を立て、仕様書に則った施設・設備の管理業務を履行

- 本公園の業務仕様書等に則り、施設・設備の管理内容は以下の通りです。

場所	項目	内容	頻度	緊急度			備考
				高	中	低	
事務所	天井	目視点検	年２回	○			雨漏修繕完了（25年３月）
	外壁	目視点検	年２回			○	
	床・窓	定期清掃 ワックスがけ ガラス清掃	年３回			○	
	水周り	使用都度点検	適時		○		発生時都度実施
	カーテン	目視点検	年２回			○	平成28年度入替済
	事務機器	使用都度点検	年２回		○		
	電話機	使用都度点検	適時	○			平成30年度入替済
	トイレ	清掃者より報告	適時		○		発生時都度実施
	更衣室	目視と動作点検	年４回		○		平成30年度給湯機入替済
緑の相談室	天井	目視点検	年２回	○			雨漏修繕完了（25年３月）
会議室	外壁	目視点検	年２回			○	平成28年度外壁塗装済
	床・窓	定期清掃・ガラス清掃 ワックスがけ	年3回			○	令和8年度床修繕着手予定
	机・イス	使用都度点検	適時		○		発生時都度実施
	白板	目視点検	年２回			○	発生時都度実施
	カーテン	目視点検	年２回			○	平成28年度入替済
陸上競技場	トラック	目視点検	計画に基づく			○	
	芝生	維持管理	計画に基づく			○	
	各種器具	棚卸・点検	年２回		○		定期点検
	照明設備	点検及び目視点検	月１回	○			発生時都度実施
	観覧席	目視点検	適時			○	随時除草実施
スポーツコート	照明	点灯及び目視点検	月１回		○		発生時都度実施 令和5年度ボルト緩み点検 令和７年度非常照明一部LEDへ交換実施
	人工芝	定期点検計画	計画に基づく			○	８月ほぐし予定
	囲みネット	破れ・裂け点検	適時			○	発生時都度実施
駐車場	管理装置	故障時の点検	適時	○			新硬貨・新紙幣対応機器に入替済
	道路	目視点検	年１回			○	舗装、路面標識 3年計画にて対応予定
バーベキュー場	区画	区画ロープ点検	年２回			○	発生時都度実施
	設備	目視点検	適時		○		令和4年度一部補修
	洗い場	目視点検	適時			○	発生時都度実施
	ゴミ回収場	目視点検	適時			○	発生時都度実施

（5）有料公園施設の管理運営について

（2）有料公園施設の維持管理について

各施設の年間維持計画と適切な備品管理体制について

施設ごとの詳細なメンテナンス計画及び備品管理計画

不特定多数の方が停められる駐車場であることを前提に万全の体制で防犯・警備

- 北・西・東の各駐車場は、営業時間中のスタッフ巡回や防犯カメラでの状況確認の他、24時間体制でのオンライン警備体制を敷いています。
- 営業時間外の異常発生には、委託先警備会社からガードマンが現場へ急行し、適切な一次対応を図り、被害を最小限に留めます。
- また、P.34に記載の通り、行楽シーズン等には、誘導員を配置し、スムーズな誘導と、違法駐車等禁止行為の抑止を図り、近隣にも配慮した安全・安心の管理を行います。
- 駐車場精算機器に関しては、精算機の改修（カスタマイズ）を実施。新硬貨・新紙幣の使用の対応により、スムーズな出庫を促進中。



西駐車場

備品管理業務の実施計画

チェックリストを用いた日常的な点検の徹底

- 日常的に使用可否のチェック、台帳による管理を行い、常に快適に使用できるように整備します。
- 特に劣化の激しい備品については、利用後の整備等それぞれの特性に応じた対応をおこないます。
- 体育備品チェックシートを用いて、こまめな点検を実施することにより用具を適切に管理し、備品を長く綺麗に保つとともに、**備品の長寿命化と利用者の危険防止のため、毎月1回の定期点検と、年1回の棚卸を実施**します。



備品倉庫は常に整理整頓

日常巡回点検	営業前、営業終了後および巡回時には、備品の状況をチェックし、破損等の早期発見に努めます。
定期点検	陸上、フットボール等競技備品から、倉庫内や更衣室の備品の異常の有無を点検し、状態に応じて修繕や買い替えを行います。
管理基準	管理台帳に基づき、年1回の棚卸しを実施します。また、取扱い説明書に基づき取扱いを徹底します。

グループの総合力を発揮しメンテナンス品質を向上

- ミズノ本部の用品部門やスポーツ施設設計・建設部門のアドバイス、並びに体育施設器具業界のリーディングカンパニーであるセノー株式会社のアドバイスを得ながら、適切な維持、メンテナンスや、補修を行うほか、利用者へ正しい器具の使用・収納方法の説明により、備品の長寿命化を図ります。

備品の状態を適切に把握し計画的に購入

- 現管理者として把握する備品の劣化状態等を踏まえ、安全性やプレー性を確保するよう計画的に備品の購入、入替を実施します。また、日々のコミュニケーションやアンケート等から、利用者の要望を適切に把握し、新規備品の導入を検討します。

利用者の声を反映した備品の更新や新規購入を計画

- アンケート等により聴取した利用者の要望を踏まえて、備品の更新、もしくは追加整備を行い、継続的に利用者満足度を高めます。

⇒令和６年度フットサルゴールネット交換。

⇒今年度サッカーゴールネットの交換検討



【快適性・安全性を向上する備品を購入】

（6）運営の取組について

（1）管理の質及び利用者サービスの向上の取組について

1　管理の質及び利用者サービスの向上についての提案

管理の質及び利用者サービス向上についての基本的な考え方

4つの過程をサイクルさせ、利用者のニーズを捉えた高品質な運営体制を構築

- 本公園を継続して利用していただくためには、利用者の意見や要望を適宜、的確に聞き、利用者ニーズを収集し、迅速に対応することをサービス向上の基本とします。
- 日常的な相談、ご意見箱、ホームページ、利用者アンケート（年1回以上）等様々な方法で利用者ニーズを収集し、**日々のスタッフミーティング**や**毎月の構成企業「共同体会議」**にて情報を共有します。
- 定期的なモニタリング・アンケート等により把握した「❶利用者意見」に対し、その「❷対策の立案」「❸対策の実施」「❹効果検証」の4つの課程をサイクルさせることで指定管理業務の確実な遂行と、利用者サービスの向上に繋げます。
- 即時対策が難しいものについては、随時市への報告・相談の上、適切に実施します。
- 稼働率等変化や利用者へのヒアリング等で実施した対策の効果を検証し、更なる改善を検討します。

意見集約　日々の相談・ご意見箱・利用者アンケート等

情報共有　毎朝のブリーフィング　スタッフミーティング

整理分析　リスクマネジメント　データベースによる分析

利用率調査

アンケート



5つの面から対策を検討・立案

- 社会性
- 環境保全性
- 安全性
- 機能性
- 経済性

・即時実施
・必要に応じ市と相談

芦屋市

本公園で聴取した利用者の意見と今後の対応について

- これまでも日常の接客や、意見箱等に寄せられた利用者からのご意見・ご要望に応えるための、サービスの改善や、備品の新規・追加整備を行い、利用しやすい施設となるよう努めてきました。
- 次期も、利用者からのご意見・ご要望に応えるべく、ニーズの高いサービスを導入します。

ご意見・要望・・・過去3か年のアンケートで個別記載いただいた意見の集計

2025年度結果

Q.欲しいサービスは？（n＝163）

週末のキッチンカーやワゴン等での飲食販売	22%
自販機の充実	14%
パラソル付きベンチ・テーブルなど休憩コーナー	10%
BBQコーナーの充実	9%

Q.施設に望むものは？（n＝170）

清掃・美観の維持	19%
講座・イベント等の充実	15%
料金値下げ	14%
設備や用具の充実	13%
グラウンド夜間照明	12%

2024年度結果

Q.欲しいサービスは？（n＝152）

週末のキッチンカーやワゴン等での飲食販売	16%
自販機の充実	18%
パラソル付きベンチ・テーブルなど休憩コーナー	15%
BBQコーナーの充実	12%
貴重品ロッカー	10%

Q.施設に望むものは？（n＝130）

清掃・美観の維持	20%
講座・イベント等の充実	16%
設備や用具の充実	16%
利用手続きの簡素化	13%
グラウンド夜間照明	11%

2023年結果

Q.欲しいサービスは？（n＝145）

週末のキッチンカーやワゴン等での飲食販売	17%
自販機の充実	17%
パラソル付きベンチ・テーブルなど休憩コーナー	10%
BBQコーナーの充実	13%
貴重品ロッカー	10%

Q.施設に望むものは？（n＝155）

設備や用具の充実	20%
清掃・美観の維持	17%
キャッシュレス支払い	17%
講座・イベント等の充実	14%
利用手続き簡素化	11%

●キッチンカー等移動販売、自販機、カフェの充実の要望はとても多いほか、バーベキュー場のレンタル品充実や、休憩や観覧場所など、園内で快適に過ごすためのサービスを望む声が毎年多い。
●キャッシュレス支払い等、世間一般に提供されるサービスへの対応も望まれている。
●設備ニーズとしては、グラウンドの夜間照明は要望が増えている。清掃・美観維持は継続対応していく。

指定期間中の計画に反映し、市民ニーズに適切に対応

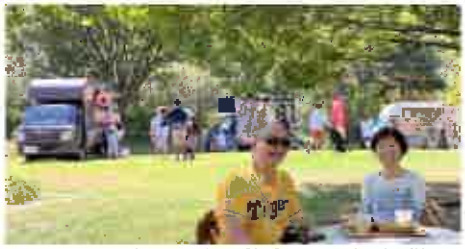
（6）運営の取組について

（1）管理の質及び利用者サービスの向上の取組について

1　管理の質及び利用者サービスの向上についての提案

● 前述のニーズ把握・反映手法に基づき、利用者意見を反映するサービスの具体的方策を記載します。

具体的なサービス向上策について

提案項目	**公園滞在時間を延長する快適サービスの導入**
提案理由	・毎年アンケートで市民からの要望が多い事項に対応 ・市民は公園で快適に過ごしたいと思われている
計画内容	**キッチンカーの積極誘致による飲食サービスの拡充** ● 利用者アンケートにて、キッチンカー等による園内での飲食販売サービスを望まれていることから、積極誘致を図ります。 ● 行楽シーズン・大会など、来園者の多い時期や週末などにスケジューリングし、キッチンカー出店による飲食提供を計画します。 ● 出店計画は、公園のホームページやSNSでタイムリーに情報発信を行い、来園者と出店業者相互にメリットがある仕組みでサービスを提供します。 ● 大イベント時にはチラシに出店者・料理名などをアピールし更なる公園集客に努めます。  キッチンカーによる飲食サービス提供 **貸出自転車を設置し、園内・護岸への移動の利便性向上** ● 公園約10ヘクタール、緑地・護岸等を合わせると ● 15ヘクタール以上の広さがある総合公園のため、 ● レンタサイクルを導入し、園内移動の利便性向上を図ります。 ● 令和６年度１台設置済  **日陰、ベンチの追加整備による快適性の向上** ● 利用者アンケートから市民要望の要望に応え、ベンチやテーブル、パラソルを増設し、快適に過ごしていただけるよう努めます。（追加整備は市に相談いたします）  パラソル＆ベンチ（イメージ） **授乳室を充実** ● クラブハウス内の女子更衣室（空調設備あり）を有効活用してベビーベット、机、授乳させやすいソファーを設置します。（令和8年度設置予定） **キッズルームの充実**　NEW 平日だけでなく土日祝も利用可能に変更 遊びグッズも令和８年度充実させていく
実施時期	令和7年4月から順次実施中
期待効果	利便性向上、利用促進

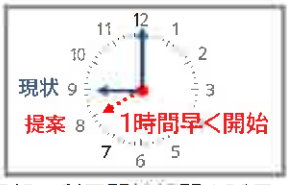
（6） 運営の取組について

（1） 管理の質及び利用者サービスの向上の取組について

【記載項目】 1管理の質及び利用者サービスの向上についての提案 2 利用者対応(接遇対応)の向上のための措置 3 キャッシュレス決済の決済手段

1 管理の質及び利用者サービスの向上についての提案

具体的なサービス向上策について

提案項目	**安全で快適な環境へのグレードアップ策**
提案理由	・熱中症リスクの低減
計画内容	**夏季期間は早朝の利用開始時間を延長対応** • 酷暑による熱中症リスクへの対応、また、学生等が快適にスポーツ活動ができるよう、利用開始時間を現在の9:00開始から、8:00開始も選択できるようにします。 ⇒ラグビースクールで令和６年度より実施継続中  早朝の利用開始時間を延長 **夏場の熱中症予防サービスを充実** • 夏季は、毎日「熱中症指標計」を用いて熱中症指数を計測し、掲示や園内放送で、危険値を知らせます。 • また、熱中症対策として、ミストファンや、大型扇風機、クールファン等の設置に順次取り組みます。 ⇒令和６年度ミストファンとミストシャワー導入済（各1台） • 屋外施設は、日陰がない箇所もあるため、日よけ用のタープテントやアイシング用の氷を小分けにして準備し、発泡クーラーボックスで貸し出します。 • 公園利用者やスポーツ活動を安全かつ快適に楽しめる環境を提供します。   熱中症指数計測  タープテントの貸出し  アイシング用氷の提供
実施時期	令和7年4月から継続実施予定
期待効果	利便性向上、リスクマネジメント

提案項目	**ユニバーサルサービス強化**
提案理由	障がい者や高齢者等へのわかりやすい案内サービスが求められます。
計画内容	**タブレット端末導入による接客・接遇面での** • 障がいを持つ方等との相互コミュニケーションを円滑にするため、筆談やコミュニケーションボードとして利用できるメモパッドを令和６年度設置。 • 外国人等への対応も、翻訳アプリをインストールして円滑に行います。社内用アイフォンのスマホ活用 
実施時期	令和7年4月以降も継続活用（メモパッド・アイフォン）
期待効果	利便性向上、利用促進

（6）運営の取組について

（1）管理の質及び利用者サービスの向上の取組について

1　管理の質及び利用者サービスの向上についての提案

具体的なサービス向上策について

提案項目	レンタルサービスの充実
提案理由	公園全体を快適に活用してもらうためのサービス導入

計画内容

快適なスポーツ活動をサポートする備品レンタルサービス

- 現状フットサル用のビブス・ボール及び大会本部用・観戦用の簡易テントのレンタルを実施しています。
  ⇒令和7年度テント1基天幕交換実施
- 公園への来園促進・気軽にご利用いただけるように、園内で利用できるバドミントン道具や各種ボール、ニュースポーツ備品などのレンタル品の充実を図ります。
  ⇒令和6年度各種ボール貸出し開始



スポーツ備品のラインナップ拡充

バーベキュー備品のレンタルサービス

- アンケートで要望の多かった、バーベキュー関連の備品レンタルサービスを強化します。
- トング、テーブル、イス、タープテントなどのレンタルサービスを実施します。
  ⇒今年度レンタル開始予定

NEW





バーベキュー備品の充実

パークトイやレジャー備品レンタルサービス

- 手ぶらで来園されても、快適に暑さ寒さを緩和し、長時間過ごせるよう、簡易テントやレジャーマットの貸出し。⇒**パラソルも令和７年度から貸出実施中**



貸出チラシ(イメージ)



実施時期	令和7年4月から開始中
期待効果	利便性向上、利用促進

（6）運営の取組について

（1）管理の質及び利用者サービスの向上の取組について

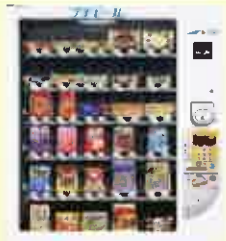
1　管理の質及び利用者サービスの向上についての提案

具体的なサービス向上策について

提案項目	多機能自販機を導入利便性向上
提案理由	市民からの自販機ラインナップを求めるご要望に対応
計画内容	

ニーズに対応する多様な商品ラインナップを揃える自販機の導入

- 現在飲料とアイスクリームで公園・緑地に19台設置していますが、小さな子どもから若者、大人まで市民の多様なニーズに対応する満足度の高いバリエーションに見直しを図ります。
  ⇒お菓子販売自販機令和6年度導入済。幼児向け紙パック飲料令和７年度開始。
- ベンダーと協議し、可能な限りキャッシュレス決済にも対応する機種を設置し、利便性の向上と社会ニーズに応えます。

飲料自販機	幼児向け自販機	アイスクリーム
		
お菓子・軽食	**おむつ・おしりふき**	**その他サービス**
		 キャッシュレス対応

「緊急時飲料提供ベンダー」対応機種を導入

- 本公園は避難所であることから、飲料自動販売機は可能な限り**緊急時飲料提供ベンダー**機能のある機種を選定し、災害時等に避難者に飲料を無料提供できるよう配慮します。
  ⇒管理事務所に設置中



緊急時飲料提供ベンダー対応

寄付や子ども見守り機能を付加した機種の導入検討

- 購入毎に一定額がフードバンクに寄付される機種や、地域の大人に**子どもの見守り機能やメッセージが流れる**地域貢献型機種を導入も検討します。



子ども見守り機能付自販機（例）

実施時期	令和7年4月からも継続中
期待効果	利便性向上、利用促進

（6）運営の取組について

（1）管理の質及び利用者サービスの向上の取組について

1　管理の質及び利用者サービスの向上についての提案

具体的なサービス向上策について

提案項目	**公園の魅力がつたわる情報提供サービス**　グレードUP　NEW
提案理由	スポーツ、自然、レクリエーションなど利用目的が多岐にわたる本施設は、施設やイベント情報の提供、問合せ対応等、利用者目線のわかりやすい仕組みが求められます。
計画内容	● ホームページでの情報提供は非常に重要なため情報が直感的、魅力的につたわるよう、**ホームページにリニューアル**します。 ● **パソコン、スマホなどでの閲覧を自動判別して、表示を最適化**する機能（レスポンシブ対応）を備え、どの端末からでも**見やく操作しやすい表示**に改善します。 ● また、トップページには、**最新情報を発信するSNS**や**駐車場の混雑状況**などがひと目で分かるよう表示します。



自動的にスマホ・タブレット・PCの画面に最適表示


トップページから最新情報がわかる表示

公園活性化のための情報発信追加

● 自然豊かな公園に親しんでいただくため、ホームページに公園の**「花や植物」「鳥」「動物」「昆虫」**等の情報や説明が閲覧できる専用ページを設け、公園の楽しみ方を訴求し、来園促進を図ります。
● 四季折々の開花情報や珍しい生き物の発見情報なども積極的に発信します。

NEW



公園の花や生物の情報を発信し来園促進

24時間365日スクール・イベント参加申込に対応

● ホームページから**24時間365日**、スクール、イベント等への**参加申込み**が可能となり、日中は仕事で連絡が難しい方でも好きな時間にスマホ等で直接申込みが完了することで、現在の電話受付けの方法から大幅に利便性を向上します。



ホームページからいつでも参加申込みが可能

実施時期	令和7年4月から順次取り組み中
期待効果	利便性向上、利用促進

（6） 運営の取組について

（1） 管理の質及び利用者サービスの向上の取組について

2 利用者対応(接遇対応)の向上のための措置

具体的な取組み計画

独自の『顧客満足(CS)推進活動』に取り組み、すべての利用者に丁寧に接遇

- ミズノが運営経験と外部専門企業の知見を取り入れ確立した、**独自の顧客満足推進活動**により、本施設のCS(顧客満足)向上について継続して取り組みます。
- 試験を経て認定された **CS 推進トレーナー**を中心に、挨拶、身だしなみ、5S(清掃・清潔・整理・整頓・躾)、接遇研修、電話応対、クレーム対応等の研修を行い、スキルとモチベーションを高め、運営品質の向上を図り、すべての利用者に丁寧な接遇を行います。
- **今年から CS 推進トレーナーが3名在籍**になり、施設スタッフに対し、日常的に取組みをより推進していきます。
- 日常的には、毎月テーマを決め、重点取組や統一ツールの活用により、全国の運営施設で運営品質を向上にむけレベルアップする取組みを実施します。
- 定期的には、モニタリングや、覆面の電話応対調査を実施、結果も踏まえた改善も行っていきます。



CS向上ライセンス制度・2022年度活動状況


5Sチェック


CS推進トレーナーによる研修

外部研修も活用し、おもてなしスキルを継続向上

- 顧客満足推進活動に加え、人権研修や、**ユニバーサルマナー検定**等の外部機関の研修も受講し、社会的背景に適した利用援助が行えるようスキルアップを図り、全ての利用者にホスピタリティあふれる対応を徹底することで**気持ちよい利用環境を提供**します。


ホスピタリティ溢れる接客サービス


ユニバーサルマナー検定

基本姿勢「運営施設心得」の携帯による意識付けを徹底

- スタッフには、施設運営の基本的な姿勢を明文化した「運営施設心得」を携帯させ、常に確認できるようにします。職員の意識啓発により、利用者への最高の接遇をおこないます


運営施設心得の携帯

いつでも確認できる独自 Web 教材等活用し日常研修

- 繰り返し実施する研修には、独自のWeb教材によるeラーニング研修を行います。
- 個別で研修でき接遇レベルを一定に保つことができます。


【オンライン教材の積極活用】

接遇サービスの評価「お褒めの言葉」を収集・共有

- お褒めの言葉を頂戴した際は、好事例としてデータベースに記録し、ミズノグループ運営施設に情報共有しています。スタッフのモチベーションの向上にも繋がっています。

運動が苦手な人、運動をしない人でも参加できるプログラムの実施

- 運動に興味の少ない方や障がいをお持ちの方でも、子どもから高齢者までみんなが楽しく参加できる事業を開催します。
- 運動習慣や経験がなくても気軽に参加できる、初心者対象プログラムや運動強度の高くない高齢者対象プログラムを実施します。


運動が苦手な子でも楽しめるプログラムを提供

（6）運営の取組について

（1）管理の質及び利用者サービスの向上の取組について

2 利用者対応（接遇対応）の向上のための措置

高齢者や障がいのある人などの利用への配慮について

障がい者等の利用に関する基本姿勢を周知

どうすれば利用できるかを考える

- 当グループは、「利用したい人がいたら、すべての人が利用できるようにすること」を大前提として「どうすればできるか」の考え方を職員全員で徹底します。

双方向での利用の考え方

①利用者の方にもできることはやっていただく。
②この施設では何ができて何ができてないかを正確に伝える。
③双方で協力しながら、施設が利用できるような方法で受け入れる。

利用相談では「断らない」「まず話を伺う」

- 利用にあたっての相談・申出には、「断らない」「まず話を伺う」ことを基本姿勢とします。



車椅子利用者への対応風景

双方向で利用できる方法を考えてみる

- どちらかだけが過度の負担をおくことのないように一緒に考える

具体的な配慮の方策

マーク表記等による相談の促進

「耳のシンボルマーク」、「ハートプラスマーク」、「マタニティマーク」等を表示し、スタッフへの気軽な利用相談を促します。



窓口への補助備品の設置

視覚障がい者への筆談対応やシニア向けに拡大鏡を用意するなど、円滑なコミュニケーション活動に備えます。



アクセシビリティに配慮した情報配信

文字サイズの最適化や規格を満たす色調整等、順次アクセシビリティを強化したホームページを通じて情報配信を行います。



バリアフリー動線の確保

施設動線上に通行の妨げとなる事象が生じた場合は、迅速に除去および養生等を施し、動線を確保します。



ゆずりあい駐車スペースの確保

各駐車場に、障がい者・妊婦・高齢者の方が駐車しやすいようにマーク表示したゆずりあい駐車スペースを確保します。



ピクトグラムによるサイン表示

施設案内にはピクトグラムを用いることで、遠くからでも見やすく直感的にわかりやすいサイン類を表示します。



実際に車いすに乗って点検

車いす点検の際は実際に、車いすに乗り、安全性・快適性を点検し、課題があれば即座に改善を図ります。



補助イス等の設置

高齢者の利用比率が高まる中、利用導線を考慮して更衣室等には補助イスの設置等を行います。



IT機器等でコミュニケーション促進

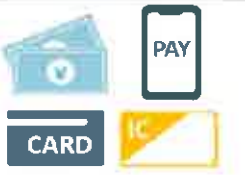
子ども、障がい者、高齢者、外国人などに対して、より伝わりやすく、円滑にコミュニケーションできるよう、機器を進め活用します。



3 キャッシュレス決済の決済手段

窓口でのキャッシュレス決済に対応中

- 2024年度から管理事務所での利用料等の窓口支払いについては、現金支払いに加え QR コード決済（PayPay）で対応中。
- また利用状況やニーズを把握した上で、その後順次、クレジット決済や IC 決済等の導入を計画し、キャッシュレス化を図ります。
- その他、前述のとおり自動販売機もベンダーとの交渉で積極的にキャッシュレス対応可能機の導入を図ります。



キャッシュレス化順次対応

（6）運営の取組について

（2）利用促進の取組について

1　定期的な利用促進のための提案

具体的な利用促進策について

ドッグランの運営方法・・令和8年度より利用開始予定

誰もが使いやすいドッグランで愛犬家の来園促進

- 令和8年度開設のドッグランについては、他所の事例を収集し、運営方法の検討を市と実施。安全安心な施設運営を目指します。
- 利用者及び飼い犬を把握するための登録は必須。登録及び利用について以下で進めてまいります。
- ドッグランは、愛犬と一緒に様々なことを体験し、お互いの絆を深め、飼い主同士のコミュニケーションの場となることを期待するため、犬だけでなく飼い主同士の交流もうまく図れるよう、最良の運営方法を事業の展開方法を工夫してまいります。



ドッグラン設置イメージ

安全安心な運営のための利用マナー設定

- 利用者同士が安心して利用できるように、利用マナーを設定します。

案内設置例

ドッグランマナー一例

①排泄をすませておく
②首輪を離さない
③すぐにリードを離さない。犬から目を離さない
④ヒート期間中（発情期間中）は避ける
※犬にも飼い主にも楽しい遊びスポットですので、マナーを守り楽しくすごしましょう。



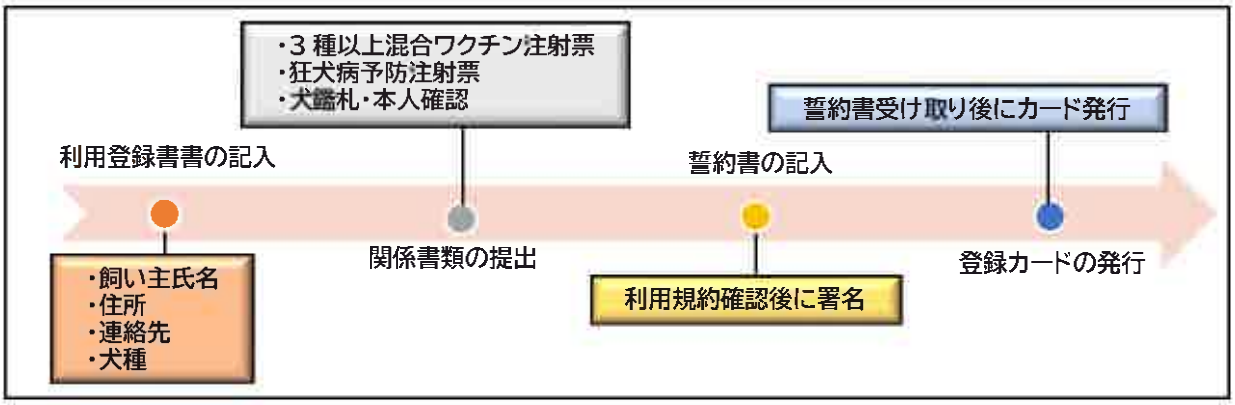
◆ドッグラン概要・順守事項

① 利用規約の誓約・サポータークラブへの入会
② 利用時間：9時から17時（5月～8月は9時から19時）
③ 利用登録必須（登録料1100円税込み予定）：下記フロー
④ 都度の利用料は不要：下記利用フロー
⑤ 奇数日：小型犬、偶数日：中型・大型犬利用
⑥ 登録証は必ず着用の事（貸与禁止）

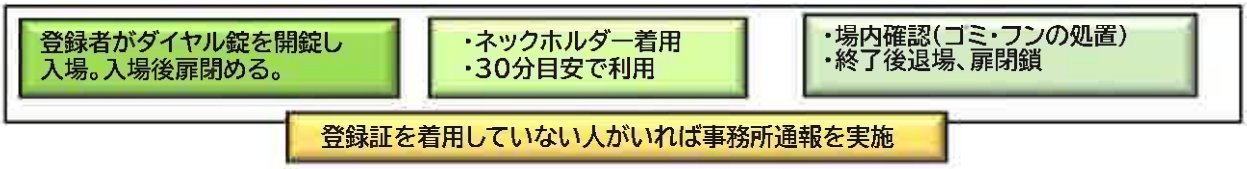


ミラタップパーク芦屋
ドッグラン施設
有効期限
2027年6月30日

登録時の手続きフロー



利用時のフロー



（6）運営の取組について

（2）利用促進の取組について

1　定期的な利用促進のための提案

施設全体の利用促進策

利用時間や窓口での受付時間を延長（10月～3月）

- 前期は10月～3月の期間は、17:00で受付を閉めており、利用者から不便を感じることがあるとのご意見を頂戴しました。
- 昨年度より年間を通じ、窓口対応を19:00までに延長し、仕事終わり等夜間の予約、問合わせ、大会打合せ等の利便性を向上させました。今年度以降も同様の対応。
- 開館時間の延長を、新規利用者獲得にもつなげていきます。



年間を通じて19時まで窓口受付

利用可能日情報をこまめに情報発信

- 芦屋市の利用案内のホームページとの連動や、SNS 等も活用し、利用可能日が利用者にわかるように努めるとともに、施設の利用促進を図ります。



WEB活用のタイムリーな広報

キッチンカーによる園内の賑わい創出

- 3月から12月の土日祝は施設利用者・遊具広場利用者・BBQ利用者など来園数が多く見込まれますが、食事対応等ができる場が近隣にないため、利用者からの要望も多い状況です。
- 今年度もイベント中心にキッチンカーを誘致し、公園に賑わいを創出します。


キッチンカー出店

陸上競技場の利用促進策

グラウンドの無料開放による子どもの遠足等利用を促進

- 平日のグラウンドの稼働率が低い課題があるため、平日の日中に芦屋市内の子ども園・保育園・幼稚園にグラウンドの無料使用を実施します。（1施設2時間予約必要）



グラウンドの無料開放

スポーツコートの利用促進策

フットサル事業の積極開催

- 他施設でもフットサル競技は、チームスポーツとしてリピート利用につながる為、一般利用だけでなく、芦屋市スポーツ協会と協働でフットサル大会の協働開催を進めていきます。


フットサルによるリピート利用促進

緑の相談所の利用促進策

小学生らの避難地（熱中症対策）

- みどりの相談所は、17時まで営業していますが、最近の夏の暑さは異常であり、小学生の下校時はそれに該当します。
- 避暑対策としてみどりの相談所を快適温度にし、避難地として開放します。
- 涼み処としてのロビー開放（空調対応実施）


緑化推進事業の積極開催

園芸講習会等緑化事業でのさらなる活用

- 前述のとおり、園芸講習会の参加者は年々増加しています。
- 会場として使用する会議室の充足率にはまだ余裕があるため、ビオトープ講習会等の単発イベントを積極的に企画します。

文化及び健康プログラムの新規導入

- 高齢者対象プログラム等での活用や、会議室を利用した料理教室等の新規開催に努め、稼働率の向上を目指します。


健康プログラム

（6）運営の取組について

（2）利用促進の取組について

2 公園の魅力を発信する取組(広報 PR)

情報発信の方法について

ホームページをリニューアルし、魅力を最大限発信 NEW

- 現在のホームページも年間5．5万 PV 数がありますが、現状はスポーツ施設を軸としたホームページであるため、これまでより公園、スポーツ施設関連の情報がバランスよく、そして豊富な発信し、わかりやすい広報で集客促進を図ることを目的に、**ホームページをリニューアル**を進めます。
- 自動で**スマホやタブレット PC にも最適表示**され、園内の施設の詳細や、行事予定、事業内容がわかりやすく、**目的の情報にすぐに辿り着ける利用者目線のホームページ**です。
- スクール無料体験等の WEB 申込み、予約システムとのリンク、**24時間問合せ受付**などが可能です。
- このホームページを活用して、**花や自然についての情報や、周辺情報などもリンク**させ、地域全体での活性化につながる情報発信を行います。



パソコンでもスマホでも見やすく、情報が見つけやすく、操作しやすいホームページ

集客増に繋がるポイント
- ✓スマホも快適表示
- ✓わかりやすいボタン
- ✓24時間問合せ受付
- ✓各種 WEB 申込み
- ✓駐車場混雑予報
- ✓SNS 連携
- ✓YouTube リンク
- ✓公園ギャラリー
- ✓周辺施設等との情報リンク

■その他の広報施策

SNS を活用した情報発信

X(旧ツイッター)や Instagram 等を活用し、イベント・教室の活動報告等を行い、施設の認知度向上を図ります。

デジタルサイネージの導入 NEW

目に触れやすい体育館等にデジタルサイネージの整備を検討し、施設スケジュールやイベント情報等おすすめ情報を提供します。(自主事業還元策)



施設リーフレットやチラシの配布

施設紹介や利用時間・料金などが記載されたパンフレットを昨年、新規作成し配布中。



施設案内動画を YouTube 配信 NEW

施設案内動画を作成し、YouTube で分かりやすく情報提供し、広域広報に努めます。(計画中)



広報あしやへの毎月掲載依頼

施設情報、イベント・教室等の案内は、市の広報誌も活用します。採用の有無にかかわらず掲載依頼は毎月行い、積極的な PR で利用促進を図ります。



神戸新聞等マスコミを活用した広報

公園内の植物の開花や見ごろの時期に合わせ、神戸新聞等に取り上げてもらい、来場促進を図る取組みを継続します。(令和6年度10月掲載)



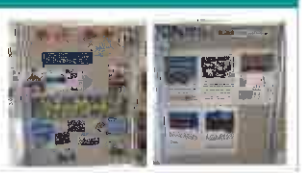
近隣施設やグループ施設での相互広報

近隣の公共施設や商業施設、協力企業などに加え、グループが管理する他施設でのリーフレット設置など相互広報で、PR します。



掲示板の活用広報

施設内ロビーや掲示板にイベント・教室の告知を掲示し、利用者へ情報配信します。



（6）運営の取組について

（3）市民参画及び市民協働への取組

1　市民協働による市民団体等の活動を充実させる提案

基本的な考え方

これまでの実績を活かしながら次期も連携強化

- 当グループはこれまで、本公園の魅力の維持・向上と市民参画の場の提供を目的として、PMO あしやをはじめ、様々な団体と協働による催しを行ってきました。
- 春と秋の定例行事として、本公園全体を活用して実施する『春の大園遊会』や『オータムフェスタ』では、本公園のロケーションを活かした『青空ヨガ』や、陸上競技場で行う『運動会必勝塾』、公園全体を活用した『ウォーキングスタンプラリー』、警察署や消防署の協力の下での防犯イベント等を行い、公園内の環境・魅力を活かした催しを実施してきました。
- 次期指定管理期間においても、市民や地域団体・地域自治会の方々と協働し、多くの方へ本公園の魅力を伝えるべく、以下の催しにて協働を図っていきます。

具体的な市民団体等との取組について

- 具体的な取り組み内容は以下を予定しています。

連携団体	連携内容	
芦屋警察署 消防署 PMO あしや 甲南中学高等学校	**春の園遊会・秋のオータムフェスタ** 芦屋警察署・芦屋消防署・PMO あしやとの協働で、スポーツイベントやフリーマーケット、音楽イベント、飲食店等、公園のロケーションを活かした様々な催しを実施します。	●実施回数：年2回 
スペシャルオリンピックス日本兵庫	**スペシャルオリンピックス日本兵庫芦屋プログラム** スペシャルオリンピックス日本の地区組織である、スペシャルオリンピックス日本兵庫が、知的障害者へのスポーツ教室実施場所として、当公園を利用していただいており、定期的な競技会等の実施場所を提供しています。	●実施回数：月1回 
芦屋動物愛護協会 ※協力表明書取得済	**芦屋犬猫譲渡会・相談会** 芦屋動物愛護協会と協働で保護された犬猫の譲渡会を開催します。またペットの飼い方などの相談もお受けします。 ⇒今年度開催計画中	●実施回数：年1回以上 
近隣自治会、 地域スポーツ団体 芦屋市こども協議会	**潮芦屋ビーチクリーン作戦** 地域が一体となってのビーチの清掃活動を実施しています。市民や地域団体・近隣自治会の方々も参加し、近隣の多くの方々との協働した取り組みとなっています。清掃活動で使用する手袋、ゴミ袋等はこちらで準備しています。9 月及び 2 月に実施。	●実施回数：年2回 
芦屋市グラウンドゴルフ協会 ※協力表明書取得済	**芦屋市スポーツ協会長杯 グラウンドゴルフ大会** 芦屋市グラウンドゴルフ協会と協働し、公園内陸上競技場にてグラウンドゴルフ大会を実施します。	●実施回数：年1回 

（6）運営の取組について

（3）市民参画及び市民協働への取組

1　市民協働による市民団体等の活動を充実させる提案

具体的な市民団体等との取組について

連携団体	連携内容	
芦屋ユナイテッドリレーマラソン実行委員会 ※協力表明書取得済	**難民支援芦屋ユナイテッドリレーマラソン** 難民支援を目的としたチャリティ事業として、リレーマラソンを毎年実施しています。芦屋ユネスコ協会・芦屋市スポーツ推進委員会・芦屋市レクリエーションスポーツ協会他、多くの団体と協働したイベントです。	●実施回数：年1回 
NPO 法人芦屋市民まつり協議会	**芦屋サマーカーニバル** 令和8年で48回目を迎え、県内では人気の花火大会「芦屋サマーカーニバル」について、主催者である芦屋市民まつり協議会への支援を継続します。	●実施回数：年1回 
NPO 法人芦屋市民まつり協議会	**潮芦屋アクアスロン大会** 芦屋市民まつり協議会主催による、水泳と長距離走を続けて行うアクアスロンの大会をビーチを含めた公園・緑地内にて行います。	●実施回数：年1回 
芦屋市スポーツ協会 その他種目協会	**居場所づくり推進事業** 芦屋市教育委員会スポーツ推進課が共催いただき、スポーツ（主に陸上やサッカー）を通じ、健康作りや友達作り、心豊かでたくましい子ども達を育む事を目的とし、機会を提供しています。当グループ構成員の芦屋市スポーツ協会が主催させていただいています。	●実施回数：月2回 

2　公園活性化のための管理運営協議会について

管理運営協議会の設置について

市民協働型の公園にするため管理運営協議会を年2回開催

- 市民協働型の公園として、緑化、公園利用促進を契機とした地域活性化へ寄与することを目的とした、管理運営協議会を運営します。
- 構成メンバーは市民、学識者で構成し、内容については、芦屋市とも相談・協議の上、今後の本公園の課題への対応、ルールの制定、懸案事項への対応策の協議等、あるべき姿を追求できる機会を設け、地域一体となって安全で快適で魅力的な環境を創出します。
- 実施回数は年2回を予定しています。



管理運営協議会（イメージ）

（6）運営の取組について

（4）地域活性化への取組について

周辺自治会等と良好な関係を築く方策

周辺自治会等と良好な関係を築く方策

本施設を活用した様々な催しを通して各団体と良好な関係を構築

- 当グループはこれまでも、本公園を活用した様々な催しを通して、市民や地域団体と協働を図り、良好な関係を維持してきましたが、今後についてもますます、地域の方々や周辺自治会・地域団体の方々に喜んでいただけるよう、下記の事業にて地域活性化を図る取り組みを実施します。

地域を活性化するための方法

地域を活性化するための具体的な方策について

潮芦屋ビーチクリーン作戦の実施

- ビーチクリーンは昨年まで秋のみ開催しましたが、平成 30 年度より近隣自治会との連携により、清掃活動日に合わせて春と秋の年 2 回開催にし、「潮芦屋ビーチクリーン作戦」として近隣自治会や各種利用団体、ボランティア等多くの地域の方々に参加いただき、ビーチの清掃活動を行います。


潮芦屋ビーチクリーン作戦

街並み清掃の実施

- 年2回事務所スタッフで、近隣住宅街の道路等の清掃を行い、公園を含めたクリーンナップに努めていきます。



地元自治会の役員会等での会議室無償利用

- 周辺自治会の、地域活性化や地域治安維持、地域環境整備等を目的とした打合せや会議の際には、公園内会議室の無償提供に努めます。



会議室の無償提供

子育て支援のための会議室開放と学童保育の実施

- 子育て世代のサポート事業として、夏休みに公園を活用した学童保育事業を実施します。
- 単なる預かり保育ではなく、ミズノならではの、カラダとアタマとココロを育てる新型スポーツ学童を提案します。
  ⇒令和6年度より「ミラキッズ」学童保育で年3回実施中
- 地域活性化のための提案でもありますが、自主事業の項目にて詳細を記載してます。


学童保育事業の様子

カフェを活用したコミュニティ空間の提供

- 利用者のアンケートから、芦屋市の協力を得て、平成 30 年に管理事務所内にカフェを開設していただきました。
- 市民交流・利用者交流・公園内のくつろぎの場の提供を行っています。（ドッグカフェとしてもご利用いただけます。）い


カフェスペース

ビオトープ、ビーチ磯エリアでの生物観察会

- 生物の多様性を発見できるビオトープと、潮芦屋ビーチの磯エリアにて、学識経験者を招いての生物観察会を実施し、近隣小学校を誘致します。
- 子ども達の夏休みの自由研究にも活用してもらいたいと考えています。


ビオトープ


磯の石畳

ドッグランを活用した犬のしつけ教育

- ドッグランが完成後には、犬の散歩等で日頃より本公園をご利用いただいている地域の方々への交流の場の提供と、『犬のしつけ方教室』の開催により、マナーアップも計画促進します。


犬のしつけ方教室


ドッグラン（イメージ）

(7)自主事業への取組について

（1） 事業内容について

公園全体を活用しポテンシャルを最大限発揮できる自主事業提案について

自主事業の実施にかかる基本的な考え方

- 当グループは、本施設の設置目的・特性に沿った運営を心がけており、一般利用を最優先とします。そのうえで、施設の時間・スペースに空きがある施設の稼働率を向上させる自主事業を計画します。

公園全体を活用し、市民が楽しい・うれしいと思える事業を展開し公園活性化

- 自主事業を、活性化イベント事業や、健康・スポーツ事業、自然・カルチャー事業、利便性向上事業の4つのカテゴリーに区分し、28事業を展開します。
- ニーズの高い事業は継続し、さらに新たな事業にチャレンジすることで、より多くの市民や、市外からの誘客を図り、リピーターの創出により、公園の活性化を図ります。



市民交流や公園の賑わいを創出する『活性化イベント事業』

地域協同や新たな取組みによるイベントを積極企画し、市民参画を促進

- これまで築いてきた市内、及びグループのネットワークを活用し、「春の大園遊会」や「オータムフェスタ」などの賑わいイベントを継続実施します。
- 更に、新たな賑わい創出イベントとして他運営施設でも好評な「ティラノサウルスレース」を実施し、新たな利用者層の獲得や市民交流を促します。


市民交流や賑わいを創出

多世代市民の心と体を元気にする 『健康・スポーツ事業』

ニーズに合わせたラインナップで市民の健康増進、スポーツ振興に寄与

- 子どもから高齢者まで多世代市民に向けたスポーツ・レクリエーションの普及振興を目的に、対象やレベル別の参加しやすいラインナップで「ヨガ教室」や「親子運動教室」などの教室、「グラウンドゴルフ」などの大会、イベント事業を積極展開します。
- 各ライフステージに分けてターゲット設定し、利用者ニーズを捉えたプログラム提供で、運動をする人・みる人・ささえる人を増やします。



利用者ニーズに沿ったプログラムを計画

緑への親しみや学びの場を創出する『自然・カルチャー事業』

公園野自然資源を活用し「ふれあい」や「学び」を促進

- 花、緑を活用した「ハロウィンづくり」や「親子アート工作教室」などのイベントの開催や、新たに「ビオトープ講習会」など学べる事業を企画し、様々な市民が公園で楽しい時間を過ごせる環境を創出します。


自然を活用した学びの場の創出

誰もが快適に楽しく公園を利用できる『利便性向上事業』

来園動機になる便利なサービスを展開し、市民のリピート利用を促進

- 手ぶらでも公園で遊べる「パークトイレンタル」や、「お菓子の自動販売機の新規設置」、「バーベキュー事業の充実」等、来園動機にもなる便利なサービス事業を展開します。


来園動機をつくるサービス事業展開

(7)自主事業への取組について

（1） 事業内容について

公園全体を活用しポテンシャルを最大限発揮できる自主事業提案について

具体的な自主事業内容について

実施事業一覧

• 令和6～10年度に実施予定の自主事業は以下になります。(▲は計画も雨天等で中止)

	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
活性化イベント事業	春の大園遊会	●	●	●	●	●
	オータムフェスタ	●	●	●	●	●
	ビーチフェスタ NEW	●	●	●	●	●
	ティラノサウルスレース NEW	▲	●	●	●	●
健康・スポーツ事業	ヨガ教室	●	●	●	●	●
	親子運動教室	●	●	●	●	●
	健康エクササイズ教室	●	●	●	●	●
	ランニング教室	●	●	●	●	●
	気功教室	●	●	●	●	●
	ノルディック・ウォーク教室	●	●	●	●	●
	A&C ASHIYA 陸上教室	●	●	●	●	●
	ミズノ・スポーツ塾	●	●	●	●	●
	運動会必勝塾(走り方教室)	●	●	●	●	●
	ミズノ流忍者教室	●	●	●	●	●
	グランドゴルフ大会	●	●	●	●	●
	はじめてのキッズラグビー	●	●	●	●	●
	e スポーツでらくらく運動教室 NEW	✖	✖	●	●	●
自然・カルチャー事業	ハロウィンづくり	●	●	●	●	●
	親子アート工作教室	●	●	●	●	●
	芦屋犬猫譲渡会・相談会 NEW	✖	✖	●	●	●
	ビオトープ講習会 NEW	✖	●	●	●	●
	潮芦屋ビーチクリーン	●	●	●	●	●
利便性向上事業	自動販売機事業 NEW	●	●	●	●	●
	学童保育事業「ミラキッズ」(名称変更)	●	●	●	●	●
	スポーツ品の販売	●	●	●	●	●
	パークトイのレンタルサービス NEW	●	●	●	●	●
	指導員の派遣 NEW	✖	●	●	●	●
	バーベキュー事業 NEW	●	●	●	●	●

※次ページからの具体的な自主事業内容提案では、上記 4 事業のカテゴリについてアイコンを用いて表現します。(活性化イベント事業: 活性化 健康・スポーツ事業: 健康 自然・カルチャー事業: 自然 利便性向上事業: 利便性) ※NEW マークは令和 6 年度からの新規取組

(7)自主事業への取組について

（2） 事業の独自性について

法人等の強みや独自性が発揮される提案

法人等の強みや独自性が発揮される具体的な自主事業提案

ミズノ独自開発プログラムや他運営施設で人気のプログラムを展開

- ミズノとミズノスポーツサービスが独自に開発したオリジナルプログラムや、全国他施設を運営している中で好評であったプログラムやサービスを今年度も展開します。

●ミズノグループオリジナルプログラム●

事業名	ミズノ流忍者教室 健康		
時期・回数	年2回		
実施場所	陸上競技場またはフットサルコート		
実施概要	子どもの身体づくり・運動能力の発達に必要な「36の基本動作」を取り入れた運動遊びプログラム「ミズノ流忍者学校」を実施します。忍者になりきり、楽しく忍術の練習をしながら遊ぶ中で身につける、ストーリー性を持たせたプログラムです。		
	対象 幼児、小学生	定員	30 名
実現可能性	本施設にて実施実績あり		

事業名	ミズノはらっぱスポーツ教室（変更） 健康		
時期・回数	週1回		
実施場所	陸上競技場・フットサルコート・会議室		
実施概要	「鉄棒」「跳び箱」の器具運動に加え、ボール遊びや集団ゲームなどの年齢に応じた運動遊びを通じて子どもたちの創造力を養います。遊びながら運動好きになろう！苦手を克服しよう！		
	対象 幼児（年中/年長）	定員	10 名
実現可能性	令和７年度よりスポーツ塾に代わって開催実施。		

事業名	運動会必勝塾（走り方教室） 健康		
時期・回数	年2回		
実施場所	陸上競技場		
実施概要	運動会前に走り方の短期集中プログラム「運動会必勝塾」を実施し、走り方の基本やスタートダッシュのコツなど、専門コーチが運動会で勝つ為のポイントを伝授します。		
	対象 幼児、小学生	定員	50名
実現可能性	本施設にて実施実績あり		

事業名	学童保育事業「ミラキッズ」（短期） 利便性		
時期・回数	小学校休暇中　3回		
実施場所	会議室、園内、BBQ場、グラウンド、フットサル場、護岸釣り場		
実施概要	遊び、宿題、読書やミズノが独自開発したスポーツプログラムやオリジナルグッズを使用した運動あそび等を体験しながらお子様を預かります。		
	対象 小学生	定員	10 名／1 日
実現可能性	本施設の実施実績あり		

(7)自主事業への取組について

（2） 事業の独自性について

法人等の強みや独自性が発揮される提案

法人等の強みや独自性が発揮される具体的な自主事業提案

●他運営施設で人気のプログラム・サービス●

事業名	ティラノサウルスレース 活性化 NEW
時期・回数	年1回
実施場所	公園内
実施概要	ティラノサウルスの着ぐるみを着用し、幼獣(小学生以下)の部、成獣(オス・メス)、成獣ベテラン(45歳以上オス・メス)に分かれて、レース(30m～70m程)や大玉転がしリレー等を行う、全国で流行中のイベントです。
対象	子ども～一般
定員	150体
実現可能性	令和6年度に開催実施



事業名	eスポーツでらくらく健康教室 健康 NEW
時期・回数	月2回
実施場所	会議室
実施概要	スクリーン投影で大きく映し出された映像と音楽に合わせて、太鼓をたたく動作を行うeスポーツプログラムです。体力や運動に不安なシニア層の新たな運動機会を創出します。
対象	高齢者
定員	10名
実現可能性	当グループ管理運営類似施設にて実施実績あり



事業名	パークトイのレンタル 利便性 NEW
時期・回数	通年
実施場所	事務所
実施概要	日常的に遊びに行く公園として来園を促進するため、親子で楽しめる遊具やパークトイのレンタルを実施します。
対象	幼児、小学生
定員	-
実現可能性	令和6年度下期より実施中



事業名	指導員の派遣 利便性 NEW
時期・回数	通年
実施場所	希望のあった幼稚園や保育園、高齢者施設
実施概要	未就学児を預かる園の保育士様への運動あそびレクチャー及び高齢者施設へのエクササイズ運動のレクチャーを依頼のあった施設に訪問して実施します。
対象	幼児、高齢者
定員	-
実現可能性	令和7年度芦屋市福祉部イベントに2名派遣実施



(7)自主事業への取組について

（3） 事業のニーズ把握について

1 利用者や社会ニーズに沿った自主事業

利用者や社会ニーズに沿った具体的な自主事業提案

芦屋市スポーツ推進計画や総合計画、利用者アンケートからニーズを把握し事業展開

- 「第3期芦屋市スポーツ推進計画」より、市民が望んでいる種目として「散歩・ウォーキング」や「ヨガ」など個人で気軽に楽しめる種目が上位となっているため、一般向けの各種**健康増進教室やイベントを実施し、市民のスポーツ実施率の向上に貢献**します。
- また同推進計画より、芦屋市の子どもの体力が全国平均より低いことから、**すべての子どもが楽しみながら運動・スポーツの習慣を身に着け、体力向上につながるスポーツ環境の充実が必要**であると課題が上がっているため、現在も利用者から好評である陸上教室などの**子ども向け運動プログラムやイベント**を継続実施します。
- 「第5次芦屋市総合計画」では**子育て支援**のため、親子で楽しめるイベントや、子育て世代間や多世代で交流できるイベントの開催も必要としているため、**親子で継続的に参加できる運動プログラムや、工作などの文化教室を実施**します。また、短期での学童保育も実施します。
- 更に、利用者アンケートより、軽食サービスや BBQ コーナーの充実、レンタサイクルの設置を希望する声が多数あがっているため、**ニーズに応えられる事業を提案**します。

●気軽に楽しめる健康増進教室やイベント●

事業名	ヨガ教室 健康		
時期・回数	月3回(通年)		
実施場所	会議室		
実施概要	痛みや不調のない快適な日常、心の平穏を作り出します。ゆっくりとした動きのなかで全身を使い、バランスよく心身の機能を高めます。		
	対象 一般	定員	10名
実現可能性	本施設にて実施中		

事業名	健康エクササイズ 健康		
時期・回数	月3～5回(通年)		
実施場所	会議室		
実施概要	運動能力向上と転倒等予防に必要なトレーニングや体操をアドバイスし、快適なシニアライフを送っていただけるようサポートします。		
	対象 高齢者	定員	15名
実現可能性	本施設にて実施中		

事業名	ランニング教室 健康		
時期・回数	月3－5回(通年)		
実施場所	公園内		
実施概要	走ることの楽しさ、正しい走り方を指導し初心者の方でも気軽に参加できるランニング教室です。 ⇒令和８年度はビギナー・ベテランクラスの2ライン予定		
	対象 一般	定員	10名
実現可能性	本施設にて実施中（20KM走の教室も実施）		

(7)自主事業への取組について

3） 事業のニーズ把握について

1 利用者や社会ニーズに沿った自主事業

利用者や社会ニーズに沿った具体的な自主事業提案

●気軽に楽しめる健康増進教室やイベント●

事業名	気功教室 健康		
時期・回数	月4回(通年)		
実施場所	会議室		
実施概要	ゆっくり動いて身体も心も気持ちがいい、長い歴史に選び抜かれた健康法です。		
	対象 一般	定員	10名
実現可能性	本施設にて実施中		

事業名	ノルディック・ウォーク教室 健康		
時期・回数	月4～6回(通年)		
実施場所	公園内・ビーチ護岸		
実施概要	体幹とインナーマッスルをトレーニングで強化します。歩行姿勢がよくなり代謝もアップします。		
	対象 一般	定員	15名
実現可能性	本施設にて実施中		

事業名	グラウンドゴルフ大会 健康		
時期・回数	年1回		
実施場所	陸上競技場		
実施概要	芦屋市グラウンドゴルフ協会と協働し、公園内陸上競技場にてグラウンドゴルフ大会を実施します。		
	対象 一般	定員	200 名
実現可能性	本施設にて実施実績あり		

事業名	eスポーツでらくらく健康教室 【再掲】 健康 NEW		
時期・回数	月2回		
実施場所	会議室		
実施概要	スクリーン投影で大きく映し出された映像と音楽に合わせて、太鼓をたたく動作を行うeスポーツプログラムです。体力や運動に不安なシニア層の新たな運動機会を創出します。		
	対象 高齢者	定員	10名
実現可能性	当グループ管理運営類似施設にて実施実績あり		

(7)自主事業への取組について

3） 事業のニーズ把握について

1 利用者や社会ニーズに沿った自主事業

利用者や社会ニーズに沿った具体的な自主事業提案

●子ども向け運動プログラムやイベント●

事業名	A&C ASHIYA 陸上教室 健康		
時期・回数	月8回(通年)		
実施場所	陸上競技場及びフットサルコート		
実施概要	スポーツの基本、走ることで体力づくり、運動能力向上を図ります。陸上競技場を使って走り、ハードル、幅跳びなども実践します。2022 年には5年生の部で兵庫県代表選手も輩出しています。		
対象	小学生	定員	40名
実現可能性	本施設にて実施中		

事業名	はじめてのラグビー教室 健康		
時期・回数	年3回		
実施場所	陸上競技場		
実施概要	ラグビーを通じての子どもたちの知力・体力並びに協調性をもたらす健全な精神を育成する事を目的として実施しています。ラグビーの楽しさを子どもたちに伝えています。総合公園としてラグビー普及の応援を担っています。		
対象	幼稚園、小学生、中学生	定員	100 名
実現可能性	本施設にて実施実績あり		

事業名	ミズノ流忍者教室 【再掲】 健康		
時期・回数	年2回		
実施場所	陸上競技場またはフットサルコート		
実施概要	子どもの身体づくり・運動能力の発達に必要な「36の基本動作」を取り入れた運動遊びプログラム「ミズノ流忍者学校」を実施します。忍者になりきり、楽しく忍術の練習をしながら遊ぶ中で身につける、ストーリー性を持たせたプログラムです。		
対象	幼児、小学生	定員	30 名
実現可能性	本施設にて実施実績あり		

事業名	ミズノはらっぱスポーツ教室(変更)再掲 健康		
時期・回数	週1回 NEW		
実施場所	陸上競技場・フットサルコート・会議室		
実施概要	「鉄棒」「跳び箱」の器具運動に加え、ボール遊びや集団ゲームなどの年齢に応じた運動遊びを通じて子どもたちの創造力を養います。遊びながら運動好きになろう！苦手を克服しよう！		
対象	幼児(年中/年長)	定員	10 名
実現可能性	令和7年度よりスポーツ塾に代わり開催実施中		

(7)自主事業への取組について

3） 事業のニーズ把握について

【記載項目】１利用者や社会ニーズに沿った自主事業 ２地域に貢献する取組

１ 利用者や社会ニーズに沿った自主事業

利用者や社会ニーズに沿った具体的な自主事業提案

●子ども向け運動プログラムやイベント●

事業名	運動会必勝塾(走り方)【再掲】 健康
時期・回数	年2回
実施場所	陸上競技場
実施概要	運動会前に走り方の短期集中プログラム「運動会必勝塾」を実施し、走り方の基本やスタートダッシュのコツなど、専門コーチが運動会で勝つ為のポイントを伝授します。
対象	幼児、小学生
定員	50名
実現可能性	本施設にて実施実績あり



●親子で参加できる教室やイベント・子育て支援事業●

事業名	親子運動教室 健康
時期・回数	月2回(通年)
実施場所	フットサルコート
実施概要	子育て(幼児)世代に、親子同時に参加できる体操教室を開催し、運動効果とともに親子の触れ合い、同じ世代での交流も図ります。
対象	親子
定員	20組
実現可能性	本施設にて実施中



事業名	ハロウィンづくり 自然
時期・回数	年1回
実施場所	会議室
実施概要	秋の実りをハロウィン風にアレンジして作ります。親子で参加するなど、子どもから大人まで楽しめるイベントです。
対象	
定員	15名
実現可能性	本施設にて実施実績あり



事業名	親子アート工作教室 自然
時期・回数	年4回
実施場所	公園内、会議室
実施概要	子供達の想像力を育み、親子でつくる工作教室を無料で開催しています。 モノづくりを通じて科学に親しめます。
対象	親子
定員	10組
実現可能性	本施設にて実施実績あり



(7)自主事業への取組について

3） 事業のニーズ把握について

1 利用者や社会ニーズに沿った自主事業

利用者や社会ニーズに沿った具体的な自主事業提案

●親子で参加できる教室やイベント・子育て支援事業●

事業名	ビオトープ講習会 自然 NEW		
時期・回数	年1回		
実施場所	会議室、ビオトープ		
実施概要	座学と現地にて自然再生士・ビオトープ一級管理技士の方から草木・生物の生息状況などの説明を聞き、観察を行います。		
対象	小学生～大人	定員	20名
実現可能性	本施設にて1度実績あり		

事業名	学童保育事業「ミラキッズ」(短期)【再掲】 利便性		
時期・回数	小学校休暇中　3回		
実施場所	会議室、園内、BBQ場、グラウンド、フットサル場、護岸釣り場		
実施概要	遊び、宿題、読書やミズノが独自開発したスポーツプログラムやオリジナルグッズを使用した運動あそび等を体験しながらお子様を預かります。		
対象	小学生	定員	10 名
実現可能性	本施設の実施実績あり		

●利用者から要望のあった教室やサービス●

事業名	自動販売機事業(自動販売機の充実) 利便性 NEW		
時期・回数	通年		
実施場所	公園内		
施概	現在飲料とアイスクリームで公園・緑地に19台自動販売機を設置しておりますが、小さな子どもから若者、大人まで市民の多様なニーズに対応する満足度の高いバリエーションに見直しを図ります。利用者アンケートでも要望のあったお菓子や軽食系の自販機や、小さな子どもむけの紙パック飲料自販機の導入。また子連れの利用者へ向けたおむつ・おしりふきの自販機導入を検討します。		
対象	どなたでも	定員	-
実現可能性	令和6－7年度に幼児向け飲料及び軽食販売機の導入設置済		

3） 事業のニーズ把握について

1 利用者や社会ニーズに沿った自主事業

利用者や社会ニーズに沿った具体的な自主事業提案

●利用者から要望のあった教室や社会ニーズに沿ったサービス●

事業名	芦屋犬猫譲渡会・相談会 自然 NEW
時期・回数	年1回
実施場所	公園内
実施概要	芦屋動物愛護協会と協働で保護された犬猫の譲渡会を開催します。またペットの飼い方などの相談もお受けします。
対象	犬・猫の飼育希望者
定員	ー
実現可能性	該当団体と交渉中



事業名	スポーツ品の販売 利便性
時期・回数	通年
実施場所	事務所前
実施概要	ラグビーのヘッドギア、教室ユニフォームなどを常時在庫しています。またお客様より要望のあるスポーツ品については、カタログ注文を受けることも可能です。
対象	どなたでも
定員	-
実現可能性	本施設にて実施中



事業名	バーベキュー事業（レンタルサービスの充実） 利便性 NEW
時期・回数	通年
実施場所	バーベキューコーナー
実施概要	バーベキューコーナーの貸出を実施します。 更に、次期管理期間では新たに、利用者アンケートでも要望の多かった、トング、テーブル、チェア、タープテントなどのバーベキュー備品のレンタルサービスの実施、もしくは、利用者還元策として備品を取り揃えることも検討します。
対象	どなたでも
定員	-
実現可能性	暑さ対策としてタープの貸し出しを今年度から開始予定

●貸出備品ラインナップと金額イメージ

貸出備品	金額
トング	無料/本
テーブル	無料/台
チェア	無料/脚
タープテント	1,100 円/張





トング



テーブル



チェア



タープテント



(7)自主事業への取組について

3） 事業のニーズ把握について

2 地域に貢献する取組

地域に貢献する具体的な自主事業提案

地域団体と連携した健康増進・市民間交流イベントや地域ニーズに応える事業を実施

- 市民の健康増進だけでなく、市民の交流も促すイベントや教室を、地域団体と連携して実施します。
- また、学童保育事業や指導員派遣事業の実施により地域のニーズに応えます。

●地域団体と連携した健康増進・市民間交流イベント●

事業名	春の大園遊会 活性化		
時期・回数	年1回		
実施場所	公園全体		
実施概要	子ども向けのスポーツ教室やふわふわ遊具、ミニ四駆組立や、レースカーの展示、モルック大会、キッチンカーなど、公園全体で子どもから大人まで楽しめるイベントを開催します。		
	対象 どなたでも	定員	-
実現可能性	本施設にて実施実績あり		

事業名	オータムフェスタ 活性化		
時期・回数	年1回		
実施場所	公園全体		
実施概要	子ども向けのスポーツ教室やふわふわドーム、ストラックアウトや、レースカーの展示、フリーマーケット、キッチンカーなど、公園全体で子どもから大人まで楽しめるイベントを開催します。		
	対象 どなたでも	定員	-
実現可能性	本施設にて実施実績あり		

事業名	ビーチフェスタ 活性化 NEW		
時期・回数	年1回		
実施場所	潮芦屋ビーチ		
実施概要	砂像づくりを始めビーチで楽しめるレクリエーションを中心に潮芦屋ビーチでのふれあいを作っていきます。モルック、フレスコボールなどのニュースポーツにも取り組みます。		
	対象 どなたでも	定員	200 名
実現可能性	令和6，7年度連続開催実施		

事業名	潮芦屋ビーチクリーン 自然		
時期・回数	年2回		
実施場所	潮芦屋ビーチ		
実施概要	地域が一体となってのビーチの清掃活動を実施します。市民や地域団体・近隣自治会の方々も参加し、近隣の多くの方々との協働した取り組みです。		
	対象 どなたでも	定員	ー
実現可能性	本施設にて実施実績あり		

(7)自主事業への取組について

3） 事業のニーズ把握について

2 地域に貢献する取組

地域に貢献する具体的な自主事業提案

●地域団体と連携した健康増進・市民間交流イベント●

事業名	グラウンドゴルフ大会【再掲】 健康		
時期・回数	年1回		
実施場所	陸上競技場		
実施概要	芦屋市グラウンドゴルフ協会と協働し、公園内陸上競技場にてグラウンドゴルフ大会を実施します。		
対象	一般	定員	200 名
実現可能性	本施設にて実施実績あり		

事業名	ティラノサウルスレース【再掲】 活性化 NEW		
時期・回数	年1回		
実施場所	公園内		
実施概要	ティラノサウルスの着ぐるみを着用し、幼獣(小学生以下)の部、成獣(オス・メス)、成獣ベテラン(45歳以上オス・メス)に分かれて、レース(30m～70m程)や大玉転がしリレー等を行う、全国で流行中のイベントです。		
対象	子ども～一般	定員	150体
実現可能性	令和6年度 3 月に開催実施		

●地域ニーズに応える事業●

事業名	学童保育事業「ミラキッズ」(短期)【再掲】 利便性		
時期・回数	小学校休暇中 3回		
実施場所	会議室、園内、BBQ場、グラウンド、フットサル場、護岸釣り場		
実施概要	遊び、宿題、読書やミズノが独自開発したスポーツプログラムやオリジナルグッズを使用した運動あそび等を体験しながらお子様を預かります。		
対象	小学生	定員	10 名／1 日
実現可能性	本施設の実施実績あり		

事業名	指導員の派遣【再掲】 利便性 健康 NEW		
時期・回数	通年		
実施場所	希望のあった幼稚園や保育園、高齢者施設		
実施概要	未就学児を預かる園の保育士様への運動あそびレクチャー及び高齢者施設へのエクササイズ運動のレクチャーを依頼のあった施設に訪問して実施します。		
対象	幼児、高齢者	定員	-
実現可能性	令和 7 年度市役所福祉部のイベントに 2 名派遣実施		

（4） 事業の持続可能性について

1 具体的かつ実現性の高い事業提案

具体的かつ実現性の高い事業提案について

現管理者として継続実施してきた実現性の高い事業を展開

- 上記で示した具体的な自主事業の内容については、現管理者として今まで継続的に実施をしてきた事業である、もしくは新しく提案する事業についても全国多数管理運営している他施設で既に実施経験があり好評を得ている事業になるため、実現性は極めて高いといえます。

2 事業の収益性が見込まれ、持続可能な提案

自主事業の収支見込について

- 自主事業計画の収支については、以下のように見込んでいます。

令和８年度 （千円）

事業名	収入見込	支出見込み	収支
キッチンカー誘致	100	10	90
ドッグラン運営	220	100	120
ヨガ教室	400	320	80
親子運動教室	50	50	0
すこやか運動教室	120	100	20
ランニング教室	320	100	220
気功教室	350	300	50
ノルディック・ウォーク教室	400	320	80
A&C ASHIYA 陸上教室	2,500	750	1,750
ミズノはらっぱスポーツ教室	500	250	250
運動会必勝塾(走り方)	40	20	20
ミズノ流忍者教室	40	20	20
園芸講習会	900	870	30
自動販売機事業	4,630	500	4,130
学童保育事業「ミラキッズ」	500	250	250
スポーツ品の販売	330	120	210
バーベキュー事業	5,500	2,500	3,000
合計	16,900	6,580	10,320

(8)芦屋市総合公園管理運営費(消費税相当額を含む。)

令和8年度(芦屋市総合公園)

収支計画書

(金額:千円)

記載項目		金額	積算根拠等
収入	指定管理料	16,393	指定管理料提案額として
	利用料金収入	56,000	
	陸上競技場	3,200	利用実績を元に積算
	スポーツコート	9,750	利用実績を元に積算
	会議室	250	利用実績を元に積算
	北駐車場	29,000	利用実績を元に積算
	西駐車場	11,000	利用実績を元に積算
	東駐車場	2,800	利用実績を元に積算
	その他収入	1,800	雑収入計画を元に積算
	自主事業の収入	16,900	
	教室	5,540	利用実績を元に積算
	バーベキュー	5,500	利用実績を元に積算
	自販機手数料	4,630	利用実績を元に積算
	物販	330	販売実績を元に積算
	イベント・ドッグラン他	900	開催・登録計画を元に積算
	計(A)	91,093	
支出	人件費	22,500	使用実績・配置計画を元に積算
	光熱水費	7,300	使用実績を元に積算
	設備等保守費	2,070	業務委託契約及び実績を元に積算
	清掃・植栽・警備等	33,970	
	清掃	2,170	業務委託契約及び実績を元に積算
	植栽	22,700	業務委託契約を元に積算
	警備等	9,100	業務委託契約及び実績を元に積算
	緑化推進費	1,600	実績を元に積算
	修繕費	4,000	修繕実績及び計画を元に積算
	事務局費	6,754	各種経費の実績を元に積算
	一般管理費	11,619	本社経費等
	自主事業経費	1,300	
	人件費	900	外部講師報酬他
	イベント経費	400	自主事業計画・実績に基づき積算
	その他	0	
	計(B)	91,093	
収支差額 (A)－(B)		0	

（8）芦屋市総合公園管理運営費（消費税相当額を含む。）

管理運営費（消費税相当額を含む）

令和8年度（潮芦屋緑地・ビーチ・南護岸外管理業務委託）

収支計画書

（金額：千円）

記載項目		金額	積算根拠等
収入	業務委託料	25,486	業務委託費提案額として
	利用料金収入	0	
	陸上競技場	0	利用実績を元に積算
	スポーツコート	0	利用実績を元に積算
	会議室	0	利用実績を元に積算
	北駐車場	0	利用実績を元に積算
	西駐車場	0	利用実績を元に積算
	東駐車場	0	利用実績を元に積算
	その他収入	0	雑収入
	自主事業の収入	0	
	教室	0	実績、新規計画を元に積算
	バーベキュー	0	利用実績を元に積算
	自販機手数料	0	利用実績を元に積算
	物販	0	販売実績を元に積算
	イベント他	0	開催計画を元に積算
	計（A）	25,486	
支出	人件費	6,500	使用実績・配置計画を元に積算
	光熱水費	2,300	使用実績を元に積算
	設備等保守費	400	業務委託契約及び実績を元に積算
	清掃・植栽・警備等	9,750	
	清掃	1,350	業務委託契約及び実績を元に積算
	植栽	5,500	業務委託契約を元に積算
	警備等	2,900	業務委託契約及び実績を元に積算
	緑化推進費	0	
	修繕費	1,500	修繕実績及び計画を元に積算
	事務局費	1,500	各種経費の実績を元に按分
	一般管理費	3,536	本社経費等
	自主事業経費	0	
	人件費	0	
	イベント経費	0	
	その他	0	
	計（B）	25,486	
収支差額 （A）－（B）		0	

(8)芦屋市総合公園管理運営費(消費税相当額を含む。)

管理運営費(消費税相当額を含む)

令和8年度(芦屋市総合公園+潮芦屋緑地・ビーチ・南護岸外管理業務委託合計)

収支計画書

(金額:千円)

記載項目		金額	積算根拠等
収入	指定管理料	41,879	指定管理料・業務委託費提案額として
	利用料金収入	56,000	
	陸上競技場	3,200	利用実績を元に積算
	スポーツコート	9,750	利用実績を元に積算
	会議室	250	利用実績を元に積算
	北駐車場	29,000	利用実績を元に積算
	西駐車場	11,000	利用実績を元に積算
	東駐車場	2,800	利用実績を元に積算
	その他収入	1,800	
	自主事業の収入	16,900	
	教室	5,540	利用実績を元に積算
	バーベキュー	5,500	利用実績を元に積算
	自販機手数料	4,630	利用実績を元に積算
	物販	330	販売実績を元に積算
	イベント・ドッグラン他	900	開催・登録計画を元に積算
	計(A)	116,579	
支出	人件費	29,000	使用実績・配置計画を元に積算
	光熱水費	9,600	使用実績を元に積算
	設備等保守費	2,470	業務委託契約及び実績を元に積算
	清掃・植栽・警備等	43,700	
	清掃	3,500	業務委託契約及び実績を元に積算
	植栽	28,200	業務委託契約を元に積算
	警備等	12,000	業務委託契約及び実績を元に積算
	緑化推進費	1,600	実績を元に積算
	修繕費	5,500	修繕実績及び計画を元に積算
	事務局費	8,254	各種経費の実績を元に積算
	一般管理費	15,155	本社経費等
	自主事業経費	1,300	
	人件費	900	外部講師報酬他
	イベント経費	400	自主事業計画・実績に基づき積算
	その他	0	
	計(B)	116,579	
収支差額 (A)−(B)		0	

（9）管理運営費の内訳について

（1）管理運営費の積み上げにおける妥当性について

人件費内訳（令和8年度）

- 人件費内訳については、本施設の人員配置計画にもとづき、各社の雇用形態及び、賃金規則、並びに本施設におけるこれまでの実績も参考に下表のように試算しています。

令和8年度

役職・職種	年齢	人数	月額（千円）	年額（千円）	積算根拠
総括責任者	40歳以上	1	[redacted]	[redacted]	給与・社会保険・賞与・残業・福利厚生費等を積算
企画運営責任者	20歳以上	1	[redacted]	[redacted]	給与・社会保険・賞与・残業・福利厚生費等を積算
管理運営責任者		1	[redacted]	[redacted]	給与・社会保険・福利厚生費等を積算
受付・事務・運営担当		1	[redacted]	[redacted]	月平均15日勤務者　時給・交通費実績より積算
		1	[redacted]	[redacted]	月平均15日勤務者　時給・交通費実績より積算
		1	[redacted]	[redacted]	月平均12日勤務者　時給・交通費実績より積算
		1	[redacted]	[redacted]	月平均9日勤務者　時給・交通費実績より積算
		1	[redacted]	[redacted]	月平均5日勤務者　時給・交通費実績より積算
		1	[redacted]	[redacted]	月平均13日勤務者　時給・交通費実績より積算
		1	[redacted]	[redacted]	月平均14日勤務者　時給・交通費実績より積算
計		11	2,417	29,000	

施設賠償責任保険（令和8年度）

- 代表企業ミズノが、指定管理者として運営する事業所において、包括契約する保険に加入（現在も加入）します。

令和8年度損害保険料（年額）

保険種類・保険種目	てん補限度額・責任金額	保険料年額（千円）
指定管理者賠償責任保険 種類：賠償責任保険 種目：指定管理賠償	てん補限度額：15億円	266千円 （年度清算あり）

（9） 管理運営費の内訳について

（2） コスト縮減，収益の還元について

1 経費縮減の工夫

具体的な経費縮減の方策

全国での管理運営ノウハウを投入した業務の仕組みを導入し効率・効果的な運営を実現

- 本施設の11年間の管理実績や、約30年以上の全国スポーツ施設管理運営ノウハウを結集した効率的かつ、効果的な仕組みの導入により、本施設の管理運営にかかる経費の削減に努めます。

人件費	**効率シフトでの連携運営** スタッフがマルチに対応できるよう教育を実施し、非効率な人員のダブりが発生しないよう計画します。  全員連携の運営管理体制	**近隣スタッフ活用** 当グループは、周辺市、県内に100名以上のスタッフを配置しており、外部委託費を抑えたイベント・教室運営や、緊急時の増員や代理対応等、柔軟に対応することが可能です。  社内スタッフによる教室実施	**本部による専門業務サポート** 日常的には本部が、経理部門による委託費や給与等の支払い処理等サポートのほか、人事総務、法務、広報などの専門部門や顧問弁護士等のサポートでリスクにも迅速対応を図ることが可能です。  本部専門部署のサポート体制
エネルギー費	**積極的に LED 化 電気代縮減** 市が導入を進められているもの以外にも、収益還元策として順次 LED 照明の導入を検討します。ガーデンライトも 20 基 LED 化し節電効果が期待できます。  点灯頻度・時間に応じてLED化	**経験を踏まえた エネルギーコントロール** 現管理者の経験から、曜日・時間別の繁閑を考慮し、照明の間引きや空調の運転等により、快適性を損なわない範囲でのエネルギーコントロールを行います。  傾向を捉えたエネルギーコントロール	**全国での成功事例採用（検討）** 照明の完全 LED 化や太陽光発電等ランニングコスト縮減策を例に施設でも費用対効果を検証した上で、市と協議の上、導入を検討します。  省エネ・創エネ設備の検討
維持管理	**運営スタッフによる業務内製化 （日常メンテ・簡易修繕）** 巡回点検、清掃など可能な業務は、運営スタッフが日常実施し、委託費の縮減を図ります。  可能なものはスタッフで対応	**グループ企業連携による メンテナンス業務サポート** 屋内体育器具国内最大手のセノー㈱と連携したメンテナンス講習会の開催や迅速な不具合解消フローの運用により安全、安心の体制づくりと効率化を図ります。  セノーによる備品管理サポート	**ミズノファシリティ部門による 業務効率化サポート** 定期訪問によるサポートのほか、点検チェックリストの整備や、全国事例の共有、業務の精査等契約内容の見直しをサポートします。  本部が業務や契約等をサポート
その他	**備品調達コストを縮減** パソコン、レジ等の運営備品の本部一括手配や、体育備品等グループの優位性を活かした調達によりコスト縮減を図ります。  運営備品の調達コスト縮減	**ホームページ作成費用を縮減** 新規に作成すると100万円以上の費用が必要ですが、スポーツ施設や公園に最適化されたフォーマットを活用し、利便性の高いホームページを作成・運用し80万円以上の縮減効果を享受します。  新ホームページ作成コストを縮減	**本部が整備し全国で活用する 各種統一システムの運用** リスクマネジメント、会計、マニュアル等の運営・維持管理に必要な共通データは、予め本部が整備した統一システムにより情報管理を行い、利用者や行政報告等への対応に活用し、品質の高い運営管理業務を実現します。  ネットワークとシステムを構築済み

（9） 管理運営費の内訳について

（2） コスト縮減，収益の還元について

2 具体的な収益の公園への還元の提案（令和8年度）

安全・快適で魅力的な公園にするための還元策

継続的な還元により利用者や市民の利便性・安全性・快適性を向上

- 当グループは自主事業等の活動で計画以上に事業収益を上げた場合は、公園利用者に役立つ備品、整備、修繕等の方策により、公園の魅力を向上させ市民に還元します。
- 令和7年度の実績（青）と令和8年度の還元案（赤）は以下のとおりです。

［ ］内は提案理由

スポーツコート

●バスケットボール等レンタル品
［利用活性化］
⇒令和 7 年度数量増準備
●フットサルコート入口増設
［利用者安全対策］

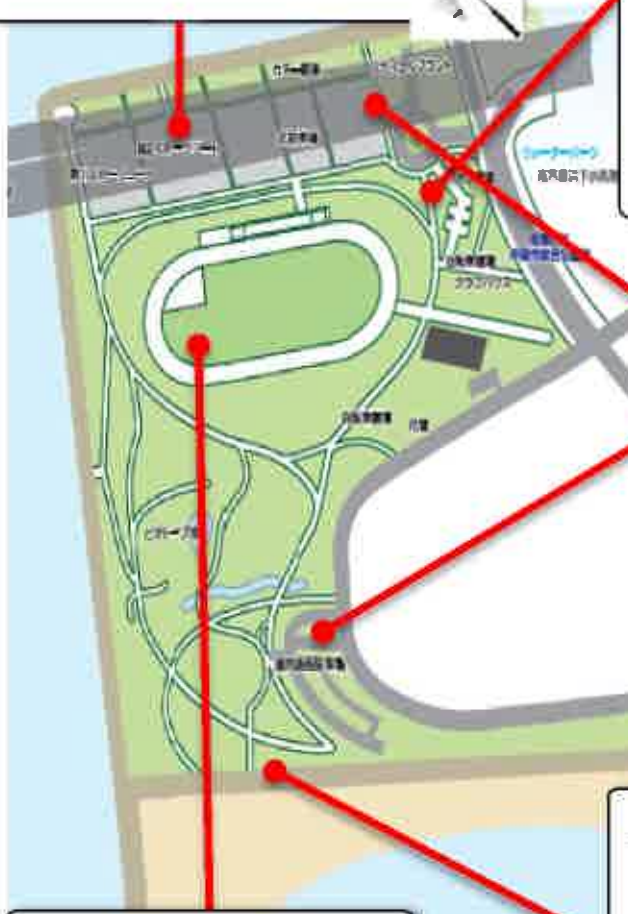


公園全体

●外灯・ガーデンライト LED 化への交換促進
［省エネ対策］
●グラウンド非常用照明LED化
［夜間視認性向上］〔防災対策〕
⇒令和 7 年度 4 基交換
●あじさい花壇の作成
［魅力的な公園演出］
⇒令和 7 年度植栽実施







駐車場（北・東・西）

●白線引き直し
［老朽化対策］
⇒令和 7 年度実施



バーベキュー施設

●無料有料レンタル備品充実
［利用活性化］





陸上競技場

●トラック上通路マット更新
［トラック保持］
●テントの追加
［熱中症対策］



